

第十四回 貴族院議事速記録第十二號

明治三十三年一月二十日(土曜日)

午前十時十一分開議

議事日程 第十二號 明治三十三年一月二十日

午前十時開議

第一 公爵毛利元昭君、侯爵醍醐忠順君、侯爵尙泰君、侯爵菊亭修季君、侯爵松平康莊君、男爵伊藤雋吉君、男爵石田英吉君請暇ノ件

第二 明治三十三年度歳入歳出總豫算案並明治三十三年度各特別會計歳入歳出豫算案(政府提出案) 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(政府提出案) 會議(豫算委員) 長報告

第三 下水法案(政府提出案) 第一讀會

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 岡山縣下郡廢置法律案(政府提出案) 第一讀會

第五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 明治三十二年法律第九十八號改正法律案(政府提出) 第一讀會

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第九 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第七 漁業法案(政府提出) 第一讀會

第八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 精神病者監護法案(政府提出) 第一讀會

第九 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 海軍造兵材料資金會計法案(政府提出) 第一讀會

第十 商法中署名スヘキ場合ニ關スル法律案(衆議院提出) 第一讀會

第十一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 未成年者喫煙禁止法案(衆議院提出) 第一讀會

第十二 貴族院議事速記録第十二號

第十八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ報告ヲ致シマス

〔小原書記官朗讀〕

去三十二年十二月二十日本院ニ於テ可決シタル左ノ議案ハ即日內閣總理大臣ヲ經由シテ裁可ヲ奉請シ及ヒ可決ノ旨衆議院ニ通知セリ

政府提出

府縣監獄費及府縣監獄建築修繕費ノ國庫支辨ニ關スル法律案

加工ノ爲輸入スル物品關稅免除ニ關スル法律案

衆議院提出

水害地方地租特別處分法案

同日本院ニ於テ修正議決シタル政府提出間接國稅犯則者處分法改正法律案

ハ即日衆議院ニ送付セリ

去十三日左ノ政府提出案ヲ受領セリ

明治三十二年法律第九十八號改正法律案

漁業法案

去十六日政府提出精神病者監護法案ヲ受領セリ

同日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル政府提出獸疫豫防法中改正法律案ヲ可決シ奏上シタル旨通牒ヲ受領セリ

同日政府ヨリ明治三十一年四月一日ヨリ同三十二年三月三十一日ニ至ル各省所管官有財産増減異動報告書ヲ受領セリ

一昨十八日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

官吏恩給法中改正法律案

官吏遺族扶助法中改正法律案

官吏恩給法及官吏遺族扶助法補則中改正法律案

同日政府提出裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案ヲ受領セリ

汚物掃除法案特別委員會ニ於テ委員長ニ侯爵久我通久君、副委員長ニ子爵山内豐誠君當選セラレタリ

去三日議員子爵松平直哉君卒去セラル依テ同五日左ノ弔辭ヲ贈レリ

貴族院ハ議員正四位子爵松平直哉君ノ長逝ヲ追悼シ恭シク弔辭ヲ呈ス

○議長(公爵近衛篤磨君) 侯爵松平康莊君ハ第九部ノ理事ヲ辭セラレマシテ

ゴザイマス、就キマシテハ其部ニ於テ補闕選舉ヲ行ハレルヤウニ致シタイト

思ヒマス、ソレカラ第九部ノ決算委員子爵松平直哉君ハ卒去ニナリマシタル
附キマシテ補闕選舉ヲ行ハレルヤウニ是モ同時ニ要求致シマス、是ヨリ本日
ノ日程ニ移リマス、公爵毛利元昭君ハ疾病ニ附キ四十日間、侯爵醍醐忠順君
ハ會期中、侯爵尙泰君會期中、侯爵菊亭修季君ハ四十日間、侯爵松平康莊君
ハ五週間、男爵伊藤雋吉君ハ二週間、男爵石田英吉君ハ三週間、何レモ病氣
ニ附イテノ請暇ガ出テ居リマス、御異議ガナクバ……

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 明治三十三年度歳入歳出總豫算案並明治三十三年
度各特別會計歳入歳出豫算案、政府提出、衆議院送付、會議、豫算委員長報
告

〔子爵岡部長職君演壇ニ登ル〕

○子爵岡部長職君 諸君、去ル十二月、豫算委員ニ付託ニ相成リマシタル所
ノ豫算案各分科ニ於キマシテソレゾレ審査ヲ遂ゲマシタル末、去ル十六日十
七日ノ兩日ヲ連ネテ豫算委員總會ヲ開キマシテ、其結果、御報告ヲ致シマシ
タ通りニ衆議院ノ決議ノ通りニ可決スベキモノト云フコトニ議決相成リマシ
テゴザイマス、是ヨリ簡單ニ議事ノ經過ヲ御報告致シマス、各省所管ニ移リ
マスル前ニ豫算大體ニ附キマシテノ一ノ修正發議ガアリマシタ、ソレハ償金
ヨリ繰替ニ相成リマスル所ノ千五百六十四萬五千圓、是ダケノ金額ヲ本年度
ノ豫算ニ於テ償金ノ方ヘ返金ヲ致スヤウニ致シタイト云フ、ソレニ附イテハ
各省ニ於テ削減ヲ加ヘナケレバナラヌ、ソレニハ委員會デソレゾレ直チニ議
スルト云フ譯ニモ行カナイカラシテ、是ハ委員長並副委員長ニ委託ナシテ政
府ノ方ト宜シク交渉ナシテ貰ヒタイト云フ發議デアリマシタ、其理由ニ附キ
マシテハ段々將來ニ向ッテ經費ノ殖エルモノモアルデアラウ、連モ政府ノ説明
スルガ如キコトデ十分ニ満足スルコトガ出來ナイカラシテ此際ニ出來得ベキ
ダケノ金ハ減少シテ置クノガ必要デアラウ、就イテハ唯今申シタ通りノ金額
ヲ先ヅ本年度ニ於テ削減スルノガ誠ニ當然デアラウト考ヘルト云フ意味デア
リマス、ソレニ對シマシテ政府委員カラハ縱令唯今ノ發議ガ委員會ニ成立ッ
テモ政府デ協議ニ應ズル譯ニハ行カナイト云フコトヲ辯ゼラレマシデアリマ
ス、此發議ハ委員會ニ於キマシテハ別ニ賛成者ガゴザイマセナカタニ附キ
マシテ其儘デ消滅ヲ致シタノデアリマス、本員ガ聞ク所ニ依リマスルト唯今
ノ御報告ヲ致シマスル所ノ發議者ハ即チ此本議場ニ於テ再ビ同様ノ發議ヲ致

サルト云フ趣デアリマスカラ其委シイ理由ニ附キマシテハ即チ其節ニ能ク
御聽取ニナリマスレバ諸君ニ宜ク御分リニナリマセウト考ヘマス、殊ニ其細
カイ理由ハ省キ置キマスデゴザイマス、其提出者ハ西村亮吉君デゴザイマス、
衆議院ガ政府ノ原案ニ對シマシテ多少ノ削減ヲ加ヘマシタ所ハ陸軍省ト海軍
省ノ所管ニ在リマスノデアリマシテ、諸君モ御承知ノ通り陸軍省ニ於テ第二
款ノ軍事費三十萬圓、海軍省ニ於テ矢張り第二款ノ軍事費十一萬五千四百十
一圓九十錢、是ダケヲ削減ニナリマシタノデゴザイマス、豫算會ニ於キマシ
テハ此衆議院ノ削減ニ附イテ政府ノ見ル所ヲ質問モアリマシタ、政府カラノ
答モアリマシタガ、陸軍省ノ方ハ別ニ異議モナク其儘議決ヲ致シマシタガ、海
軍省ノ所管ニ至リマシテハ一ノ委員ヨリ修正說ガ出マシテゴザイマス、其修
正說ハ海軍省ノ第二款第十七項艦費、是ガ衆議院ニ於キマシテハ二百六十
八萬五千四百一十一圓十六錢四厘ト云フコトニナッテ居リマス、即チ政府ノ原案
カラハ唯今申述ベマシタ通りニ十一萬五千四百一十一圓九十錢ノ減額ニナリマ
シタノデアリマス、修正說ハ之ニ若干ヲ加ヘテ二百七十萬七千七百六十一圓
十六錢四厘ト云フ額ニ致シタイト云フノデアリマス、是ハ極ク僅ノ増額ニナ
リマシテ、衆議院ノ議決ノ額カラ見マス二萬六千二百二十圓程ノ増加ニナ
リマスノデアリマス、是ハ石炭ノ價格ノ積リ方ノ少シノ差ニ依ッテ出テ參ルノ
デアリマス、ソレニ附キマシテ委シイ説明ヲ御求デアリマスレバ説明致シマ
スガ、唯今ハ極ク略シテ置キマシテ、此修正說ガ出マシタト云フコトダケヲ
申上ゲテ置キマス、此修正說ハ別ニ委員會ニ於キマシテ賛成者モナカタノ
デアリマス、ソレハドウダト云フニ國務大臣カラ此修正ヲ加ヘナイデモ矢張
リ衆議院ノ修正ノ金額デ決シテ事務ニ差支ナク遺線ガ出來ルカラ安心シテ吳
レト云フ説明ガアリマシタノデゴザイマス、ソレデアアルノデ此發議者モ實ハ
分科會ニ於キマシテハ段々討論ノ末、ドウモ甚ダ少シノ金額デアアルケレドモ、
是ハ修正シナケレバナラナイト考ヘタ、併ナガラ唯今國務大臣カラ此修正ヲ
シナイデモ差支ナク事務ガ運ベルト云フコトヲ承ッタ以上ハ此說ハ最早撤回
シテ宜シイト考ヘルカラ撤回ヲ致スト云フコトデ、直チニ撤回ニナリマシテ、
海軍省ノ分モ矢張り衆議院ノ議決通りノコトニ決了致シマシタノデアリマ
ス、其他ハ別ニ修正說ノ出マシタコトモナク、極ク議事ノ進行モ速ニ運ビマシ
テゴザイマス、先刻來申シマシタ通り十七日ノ午後ニ至リマシテ全部ヲ議了
致シマシタノデアリマス、先ヅ議事ノ進行ノ要領ヲ申上ゲマスレバ斯様ナコ
トデアリマス、又御尋ノコトガアリマスレバ出來ルダケノ答辯ヲ致シマス、併

セテ報告ヲ致シテ置キマスガ、此次ノ日程ニアリマス所ノ豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件、是モノノ異議ナク可決致シマシタノデゴザイマス、右御報告ニ及ビマス

〔西村亮吉君演壇ニ登ル〕

○西村亮吉君 諸君、私ハ此三十三年度歳出豫算ノ總額ノ中カラ減額ヲ致シタイト云フコトハ委員會申述ベマシテ唯今豫算委員長ヨリ御報告ニナリマシタ次第デアリマス、其節ニハ千五百六十五萬圓程減シタイト申述ベテ置キマシタガ、追々追加豫算ヲ提出サレテ其アトニモ償金ヲ以テ支出スルコトニ要求サレテ居ルヤウナ次第デアリマスカラ、此歳出豫算ノ中カラ大凡二千萬圓ヲ減シタイト云フ意見ヲ申述ベマスル、其意見ヲ申述ベマシテ一ノ動議ヲ提出致シマスル考デ居リマス、暫ク御清聴ヲ煩ハシマス、此三十三年度ノ豫算總額ハ三十二年度ノ豫算總額ニ比シマシテ千二百十萬三千圓餘減シテ居リマスル、其減シテ居ルモノハ經費ヲ節約シテ減額ニナッタデハナイノデアリマス、公債募集金ト償金ノ繰入金ヲ以テ支拂フベキ事業ノ費用ガ減ッテデアリマス、其公債ト償金カラ支拂フベキ事業費ガドレ程減ッテ居ルカト申シマスト一千五百四十萬千八百七十五圓バカリ減ッテ居リマス、サウスルト他ノ事業デハ矢張り三百二十九萬八千圓餘リ増加ニナッテ居リマスル譯デゴザイマス、又三十三年度ノ經常歳入ヲ三十二年度ノ經常歳入ニ比シマスルト千三百六十七萬二千六百五十圓バカリ増收入ニナッテ居リマス、此増收入ノ内ニハ即チ三十二年度ニ於テ増税ニナリマシタ、其増税ノ爲ニ増加ニナッテ居リマスル、ソレヲ差引イテ通常發達ノ爲ニ増收入ニナリマシタモノハ四百五萬三千圓餘デアリマス、又經常歳出ヲ三十二年度ノ經常歳出ニ比シマスルト七百九十九萬三千八百六十九圓ト云フモノガ増加ニナッテ居リマス、歳入ノ通常發達ノ増加ノ四百五萬三千圓トハ向合ヒニナッテ居リマセヌ、又三十二年度ト三十二年度ヲ比較致シマスルト三十二年度ノ經常歳入ノ内デ發達ノ爲ニ歳入ノ増收入ニナリマシタモノガ八百九十萬四千圓バカリデアリマス、三十二年度ノ經常歳出ノ増加ハ千三百五十三萬七千圓餘リデアリマス、矢張り是モ歳入歳出ノ増加ハ向合ヒニナッテ居リマセヌ、豫算總額ヲ比較シテ見ルト千二百十三萬圓餘ノ減額ニナッテ居リマスルナレドモ、公債募集金ト償金トヲ以テ支拂フベキ事業費ノ減シタモノニ比ベテ見ルト三百二十九萬八千圓ノ増加ニナッテ居ル譯デアリマスル、又三十三年度ノ豫算ノ歳入歳出ヲ比較シテ見マスルト二百三十六萬七千三百三十八圓餘ノ殘餘ニナッテ居リマス、然ルニ小

學教育補助費ハ未ダ豫算ニ載ッテ居リマセヌ、是ハ特別委員ニ於テ調査中ニ相成ッテ居リマスルガ、政府ノ提出ニナッタ原案通りニ通過スルトスルト百萬圓ハ追加豫算ガ出マスル譯デアリマス、又監獄費ヲ國庫支辨ニ移サレマスカラ、三十三年度ノ下半期カラ國庫ニ移リマスル故ニ是モ二百四十五萬ノ追加豫算ガ提出ニナルデアラウト思ヒマス、サウスルト最早殘餘ナキノミナラズ既ニ不足ガ見エテ居リマス、是ニハ政府モ隨分苦心セラレテ居ルコトデアラウト思ヒマス、當局者ハ繼續ノ事業ガ追々終リスル、是ガ終了シタナラバ經費ハ減ズルカラ收支ノ向合フヤウニナッテ來テ財政ハ追々整理シテ來テ鞏固ニナルデアラウト言ハレテ居リマスル、大藏大臣ハ衆議院ニ於テ演說サセラレテ居リマス、其演說ニハ歳入ハ大概順境ニ向ウタト言ハレテ居リマス、又國家ノ財政經濟ニツナガラ順境ニ向ウテ戰後ノ經營モ玆ニ一段落ヲ告ゲタト言ウテモ不可ハアルマイト思フト云フコトヲ言ハレテ居リマス、又其内ニハ來年度ノ豫算ハ歳入歳出ノ平均ヲ得セシメ財政ノ鞏固ヲ保ツノ方針ヲ以テ調製シタト斯ウ言ハレテ居リマス、併シ私ノ見ル所デハ之ト反對デアリマス、前ニモ申述ベマシタ通り通常歳入即チ發達ノ爲ニ増加シタル歳入ト經常歳出ノ増加シタル額トハ三十三年度モ三十二年度モ向合ウテ居リマセヌ、又三十二年度ニ於ケル歳入ノ増加額即チ發達ノ爲ニ増加シタル金額ト三十三年度ノ歳入ノ發達ノ爲ニ増加シタル金額トヲ比ベテ見マスルト四百八十五萬九百五十一圓餘減シテ居リマス、是デモ歳入ガ順境ニ向ウタト言ハレマセウカ、客年十二月ノ半バデアリマシタガ、金貨三百萬圓ヲ海外ニ輸出ニナッタト云ウテ大狼狽シタ有様ヲ見マスルト、經濟ガ順境ニ向ウタト云ウテ安心ハシテ居ラレマイト思ヒマス、又歳入ニ二百三十六萬七千圓餘ノ殘餘ガアルト云フコトニナッテ居リマスルケレドモ、小學校教育國庫補助法案ト監獄費國庫支辨、是ガ兩院ヲ通過シタナラバ此殘餘二百三十六萬七千圓餘ハ既ニ不足スルト云フコトハ明瞭デアリマスル、是ハ豫算提出ノ當時ニ大藏大臣モ御承知デアッタコトト思ヒマス、シテ見ルト歳入歳出ノ平均ヲ得セシメ財政鞏固ヲ保ツノ方針デ豫算ヲ調製シタト言ハレマセウカ、私ハ甚ダ驚キ入りマシタコトト思ヒマス、現今財政ノ狀況ハドウカト云フト實ニ薄弱デアルト言フノ外ハアルマイト思ヒマス、即チ借金政略ヲ取ッテ居ルノデアリマスル、三十一年度ニ於テハ府縣ノ水害ノ爲ニ國庫補助費トシテ四百萬圓借入ニナッテ居リマスル、三十二年度ノ諸經費ハ千六百六十五萬五千五百三十三圓餘、之ヲ合セマスルト千五百六十五萬五千五百七十三圓餘ノ負債ニナッテ居リマスル、又三十二

年度ノ追加豫算トシテ百二十一萬二千三百五十一圓餘ヲ唯今要求サレテ居リマス、之ヲ合セマスルト千六百八十六萬三千九百二十四圓餘ノ負債ニナリマス、是ハ皆償金カラ繰替ニナルコトニナッテ居リマス、又三十三年度ニ於ケル追加豫算モ追々提出セラレマスルハ顯然デアリマス、即チ小學校教育補助費、府縣監獄費及府縣監獄建築修繕費等、是モ亦償金ヲ借りテ支拂フヨリ外ニ致方ハアルマイト思ヒマス、既往ノ歳入歳出ノ狀況ヲ見テ將來ヲ考ヘテ見マスルト其負債ノ償還ハ増稅ヲ致サヌ限リハ迫モ償還ハ出來マイト思ヒマス、現今ノ狀況ヲ以テ三十四年度以降ニ新ニ要スル經費ヲ推測致シテ見マスルト、外務省デハ領事館ノ増設モ致サヌナラヌト思ヒマス、又馬關條約ノ結果ニ依ッテ支那ニ於ケル居留地即チ帝國人民ノ居留地タル面目ヲ保ツダケノコトハ致サヌナラヌト思ヒマス、又大使館ヲ置カルトカ何トカ云フ風說ヲ致シタコトモアリマスルガ、先ヅ是ハ風說ト致シマシテ、又京釜鐵道敷設デゴザイマス、我が人民ガ敷設權ヲ得テ居リマスル此鐵道モ敷設後直グニ利益ニナルト云フ等ハアリマセヌ、左スレバ利子ノ補給ト云フモノハ當然致サナクテハナルマイト思ヒマス、又内務省ニ在ッテハ府縣ノ經費モ是非トモ是ハ増加セネバナラヌト云フコトハ現ニ見エテ居ルト思ヒマス、又府縣ノ監獄事業ハ著々改良ヲシテ行カヌナリマセヌ、大河ノ修築工事ハ現今繼續事業ニナッテ居リマスガ、是モ繼續事業ヲ終ッタト云ウテ打道リニシテ往クコトハ出來マセヌ、引續イテ修繕ヲ怠ラズシテ行カヌナリマセヌ、北海道ノ開拓ノ事業モ是亦著々進行シテ行カヌナリマセヌ、文部省ニ於テハ大學ノ増設、高等學校ノ増設ト云フモノハ既ニ輿論ニナッテ居ルノデアリマスル、又京都ノ大學モ唯今繼續事業トシテ設備シテ居リマスルガ、是モ繼續事業ノ設備ガ終ッテソレデ宜イカト云フニ決シテ宜クナイ、矢張り年々擴張シテ行カヌナルマイト思ヒマス、東京ノ帝國大學モ今日ノ儘デ満足トハ思ヘマイト思ヒマス、諸省ニ於ケル將來ノ事業ノ擴張ヲ數ヘ立テマスレバ中ノ經費ヲ要スルコトハ多カシウト思ヒマス、其中ニ就イテ差措カレヌト云フ費用ハ必ズ出テ參リマス、サウスレバ直グニソレハシテ行カヌナラヌト云フコトガ參リマス、又鐵道ノ事業費ト云フモノハ最初豫算ヲ致シタ當時ノ物價ト近年ノ物價トハ大ニ相違シテ高價ニナッテ居リマスル、最初ノ豫算ヲ以テ此鐵道事業ヲ成功スルコトハ迎モ出來マスマイト考ヘマスル、是ハ又諸君モ左様ニ御考ヘデアラウト思ヒマス、最初ノ豫算ヲ以テ鐵道事業ガ成功ガ出來ヌト云フコトニナリマスレバ公債ノ募集額ヲ増加致サネバナリマセヌ、サテ其公債ハドウナッテ居ルカト云フ

ト此鐵道公債ハ七千三百五十五萬八千三百二十五圓、ソレカラ事業公債ガ一億四千八百九十九萬八千八百三十四圓、北海道鐵道公債ガ千八百五十六萬二千五百十圓、之ヲ合セマスルト二億四千七百七十一萬二千二百九圓ト云フモノニナリマス、右ノ中デ二十六年度以降三十二年度マデノ議會ニ於テ募集スルコト云フコトニ決定致シマシタル金高ハ一億六千六百七十八萬四百圓ト云フモノニ相成リマス、尤モ其中ニ臺灣公債ガ三百二十萬圓籠ッテ居リマス、之ヲ引キマスルト一億五千八百五十八萬四百圓ト云フモノニ相成リマス、右ノ中デ現今マデニ募集済ニナッタル高ハドレ程ニナリマスルカト云フト一億四千七百六十九萬九千五百十圓、其中デ内國デ募集ニ相成リマシタルモノガ五千六百八十萬七千三百五十圓デゴザイマス、此中ニハ是モ多ク預金デ應ジテ居リマス、其他ハ昨年倫敦デ募集ニナリマシタル一千萬磅アリマス、其一千萬磅收入ニ相成ッタモノハ日本金ニ直シマシテ八千三百九十六萬八千八百圓ニ相成リマス、サウスルト此三十二年度マデニ募集スベキ高ノ内デマデ募集未済ニナッテ居ルモノガ千七百八十一萬二千二百五十圓デアリマス、過日分科會ニ於キマシテ政府委員ノ言ハレマスル所ヲ承ッテ見マスルト少シ私ノ計算ヨリハ違ッテ居リマス、議會ニ於テ募集スルコトニ議決ニナッタル高ガ一億五千八百六十六萬二千二百三十一圓、其内デ募集済ニナッタル高ハ一億三千八百二十一萬八千六百六十二圓、募集未済ノ高ガ千九百八十五萬四千三百七十二圓デアリマスルト申スコトデアリマス、又三十二年度ニ於テ募集スルコトニナッテ居リマスル高ハドレ程デアアルカト云フト、千七百三十三萬六千五百五十圓デアリマス、之ヘ募集未済ノ千九百八十五萬四千圓餘ヲ加ヘマスルト今後三十五年度中ニ募集スベキ金高ハ三千七百八十八萬五千二百一十一圓餘ニ相成リマス、諸君モ御承知ノ通り二十九年度以來公債ヲ市場ニ募集致シタコトハアリマセヌ、尤モ二十年ノ三月ニ軍事公債ヲ一千萬募集ニナリマシタガ、市場カラ應ジタモノハ僅カ三百萬バカリデアリマシタヤウニ覺エテ居リマス、此二十九年度以來ノ市場ノ狀況ヲ以テ考ヘテ見マスルト此三千七百八十八萬五千圓餘ノ公債ヲ市場ニ募集シ得ルコトハ迎モ出來マイト思ヒマス、分科會ノ節ニ政府委員ニ承リマシタガ、一時預金等ヨリ遺繰ツツケテ、漸次ニ公債ヲ發行シテ繰回シツツケテ、詰リ内地デ募ッテ外國ヘ持出サヌ計畫ヲ致シテ居ルト云フヤウナ御答デアッタヤウニ覺エテ居リマス、私ノ考デハ二十九年度以來今日マデノ市場ノ狀況ヲ以テハ迎モ募集シ得ルコトハ出來マイト思ヒマス、到底内地デ募集シ得ラレヌト云フトキニハ外國債ヲ募集スルコトヨリ外ニ致方ハアルマイト思

ヒマス、然ルニ昨年倫敦ニ於テ募集ニ相成リマシタトキノ狀況ヲ聞ク所ニ據
リマシテ考ヘテ見マスルト、此外國債ト云フコトモ甚ダムヅカシイコトデア
ラウト思ヒマス、昨年倫敦ニ於テ募集ニナッタ金高一千萬磅ハ過日其事ハ大
藏大臣ガ衆議院デ演説セラレマシタ、其中ニ利子ハ四朱、百磅ガ九十磅、
まじけーノ手數料ガ百ニ附イテ四ト、斯ウ云フコトヲ申サレテ居ル、マダ
其外ニ公債發行ノ稅、即チ印紙稅ガ千分ノ五、五萬磅出サヌナラヌト云フコ
トデアリマス、サウスルト實際收入ニナリマシタル金高ハ八百五十五萬磅デ
アリマス、此印紙稅千分ノ五、即チ日本ノ金ニ直スト大凡五十萬圓デゴザイマ
ス、此五十萬圓モ豫算ニ認メテ居リマセヌ、故ニ追々豫算ヲ提出セラレルコ
トデアルト思ヒマス、此外國債一千萬磅ノ半額ハ日本銀行、正金銀行、其他カ
ラ應ジテ居ルト云フコトヲ承リマシタ、果シテサウデゴザイマスカ、サウ云フ
譯デアリマスルト今後外國ニ於テ公債ヲ募ルト云フコトハ迎モ思ヒモ寄ラヌ
コトデアラウト思ヒマス、スレバ先ヅ債金ノアラム限リハ債金カラ繰替拂ニ
シテ置クヨリ外、致方ハアルマイト思ヒマス、既ニ二十九年以以降各省ノ經
費ハ債金カラ繰替ヘマシタ高ハ殆ド七千萬圓デアッタト云フコトヲ承ッテ
居リマス、是ハ昨年ノ外國債ガ出來マシテ、ヤット戻シ入レニナッタト云フコ
トニ思ヒマス、外國債ヲ起シテ漸ク戻シ入レニナッタ其債金ヲ又々繰替ヘル
ノ外致方ノナイト云フ今日ノ財政ノ有様デハ實ニ薄弱ヲ極メマス、實ニ此財
政ノコトニ附イテハ憂慮ニ堪ヘラレマセヌ、サテ其繰替ヲシテアル債金モ既
ニ費途ガ定マッテ居リマス、二十八年度以降三十三年度マデニ支拂フベキ金
高ハドレ程デアルカト云フト三億三千三百二十七萬五千九百八十五圓餘デア
リマス、サウスルト債金ノ總高カラ殘ッテ三千九百九十一萬九千圓餘ニ相成リ
マス、三十四年度以降此債金ヲ支拂フコトニナッテ居リマス高ハ三十八年度
マデ二千八百五十六萬二千二百二十七圓餘デアリマス、費途ノ定マラヌ金高ハ
ドレ位カト云フト僅ニ三百三十五萬八千圓餘デアリマス、現今繰替拂ニナッ
テ居リマスル高ハ千五百六十五萬千圓餘デアリマス、マダ唯今要求セラレテ
居ル高ハ百二十一萬圓餘デアリマス、之ヲ合セマスルト前ニ申上ゲマシタ通
リ一千六百八十六萬三千圓餘デアリマス、既ニ費途ヲ定メテアル金ヲ借リテ
使ウテ、此儘デ年一年ト經過致シマシタトキハ財政ハ逐ニ如何トモ相成ラヌ
ト云フ悲境ニ陥ルダラウト思ヒマス、故ニ政府ハ大決心ヲ以テ先ヅ第一著
ニ三十三年度ノ經費ヲ凡ソ二千萬圓削減シテ、此繰替ヘテ居ル債金ノ戻入レ
ヲ致シマシテ、尙ホ政府ハ續イテ大改革ヲシテ財政ノ根本カラ鞏固ニ致サナ

クテハ相成ラヌコトト私ハ信ジマスル、依ッテ私ハ茲ニ動議ヲ提出致シマス
ル、貴族院ハ委員十五名ヲ選舉シテ歲出豫算ノ中カラ凡ソ二千萬圓ヲ削減ス
ルコトヲ政府ニ交渉セシムルト云フノ動議ヲ提出致シマス、何卒諸君ノ御贊
成ヲ希望致シマス

○男爵伊達宗敦君 チョット西村君ニ御尋シマスガ、今委員ヲ幾人カ選ンデ政
府ト交渉スルト云フ御動議デアリマシタガ、ソレハ今ノ豫算委員ノ中カラ十
五名ヲ選ンデ交渉シヤウト云フノデアリマスガ、或ハ別ニ豫算委員ノ外ノ者
ヲ十五名選ンデ交渉スルト云フノデアリマスガ、ソレヲチョット御尋シマス
○西村亮吉君 私ハ貴族院總體カラ十五名ヲ選ンデ交渉サセタイト云フ意思
デアリマスル

○男爵伊達宗敦君 尙ホモウ一ツ御尋シマスガ、サウスルト委員ニ託スル事
件ハドウ云フ事柄ニナルノデアリマスガ、何ヲ御託シニナルノデアリマスガ
○西村亮吉君 今一應伺ヒマス

○男爵伊達宗敦君 其委員ニ託スル事項、事柄、ソレハドウ云フコトヲ託ス
ルノデアリマスガ、チョット聽取リ兼ネマシタカラモウ一遍御面倒ナガラ一
應、委員十五名ヲ選ンデ何ヲ託スルノデスカ、豫算ニ對シテソレヲ削減スルト
云フコトハ御述べニナッタガ、是ニナ削減スルト云フ目的ヲ立テテ、サウシテ
政府ヘ交渉シヤウト云フノデアリマスガ、或ハ是ダケ削減シタイト云フ希望
ダカラ、ソレヲ交渉サセルト云フノデアリマスガ、ソコガ分ラヌカラ、チョッ
ト御尋シマス

○西村亮吉君 支出豫算ノ中カラ二千萬圓削減ヲシヤウト云フ見込デアリマ
ス、分リマシタカ

○男爵伊達宗敦君 分リマセヌガ、モウ宜シウゴザイマス

○久保田讓君 私ハ唯今ノ西村君ノ動議ヲ贊成シマス、ソレハ國家事業其他
國家ニ必要ノ事業ヲ擴張サレル希望ヲ以テ贊成ヲ致シマス

○谷森眞男君 私モ唯今ノ西村君ノ動議ヲ贊成シマス

○中島永元君 西村君ニ贊成

○議長(公爵近衛篤磨君) 西村君ノ動議ガ成立ッテ居リマスガ、念ノ爲ニ是
ヨリ西村君ノ動議ノ主意ヲモウ一應確メマセウ、西村君ノ動議ハ歲出豫算ノ
中ヨリ二千萬圓デスカ

○西村亮吉君 左様デス

○議長(公爵近衛篤磨君) 二千萬圓削減スルト云フ目的ヲ以テ十五名ノ交渉

委員ヲ選ンデ政府ト交渉スルト云フ動議デアリマス、之ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

〔子爵曾我祐準君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 何デスカ

○子爵曾我祐準君 直チニ御採決ニナルヤウデアリマスガ、チヨット一言西村君ノ動議ニ對シマシテ……

○議長(公爵近衛篤磨君) ドウ云フコトデスカ

○子爵曾我祐準君 唯今ノ議長ノ御宣告ハ直チニ御決裁ノヤウデアリマスカ……

○議長(公爵近衛篤磨君) サウデス

○子爵曾我祐準君 ソレニ附イテ少シ意見ヲ述ベタイコトゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ唯今ノ採決ト云フコトハ暫ク延引シマス
○子爵曾我祐準君 餘リ駿速ノヤウデゴザイマス、マダ賛成不賛成ノ聲モ餘リ聞エマセヌ、本員ハ西村君ノ動議ノ大體ニ附イテハ甚ダ賛成シタク考ヘマスガ、其賛成シタク考ヘマス所ノモノハ國債ガ年々ニ大キクナッテ來テ、此一覽表ヲ見マシテモ明治四十六年ノ如キハ八千萬圓ト云フ元利拂戻ノ金ヲ國庫ヨリ出サヌケレバナラヌト云フコトニナッテ居リマス、其他ノ年ニ於キマシテモ或ハ六千萬圓或ハ三千八百萬圓ト云フ金ヲ年々公債ノ元利拂戻トシテ出サヌケレバナラヌハ此一覽表ヲ見テモ明ニナッテ居リマス、況ヤ此他……此後尙ホ已ムヲ得ズ國庫ハ國債ヲ起サナケレバナラヌト云フコトニナリマシタナラバ或ハ歐羅巴ノ甚ダ愁ムベキ二三ノ國ノ如クニ歳入ノ三分ノ一若クハ四分ノ一ト云フモノハ年々公債ノ元利トシテ拂戻サナケレバナラヌト云フ悲境ニ陷ルデアラウト云フコトヲ氣遣フデアリマス、其精神カラ申シマスルト西村君ノ動議ニ賛成致シタク考ヘマスルケレドモ、今日ハ最早大勢モ極ッテ居リマス、又全體ニ今日ノ政府ノ執ッテ居ラル、方針、又衆議院ノ取ッテ居ル方針ハ最早分ッテ居リマスニ依ッテ、縱令此動議ガ茲ニ提出サレマシテモ殆ド成立ノ見込ハナイト思ヒマス、又西村君ノ動議ハ此席ニ出テカラ承リマシタコトデアリマスカラ、之ニ賛成シマスルナラバ果シテ如何ナル部分ヲ削減セラル、モノヤ否ヤト云フコトモ一ト通り調査ヲ致サナケレバナラヌ、私ハ豫算案算デアリマセヌダッタニ依ッテ豫算全體ニ附イテハ十分ニ攷究ヲ致シテ居リマセヌニ依ッテ、遽ニ二千萬圓ヲ減ズルガ適當デアルカ、千萬圓ガ適當

デアルカ、其調査ヲ十分ニ致シテ居リマセヌニ依ッテ西村君ノ御精神ニハ賛成ヲ致シマスガ、私ハ已ムヲ得ズ此動議ニハ賛成致シマセヌデアリマス、其賛成致シマセヌ理由ヲ一應申シテ置キマス

○三浦安君 唯今ノ御宣告ノ決議ノ採リヤウハ委員ヲ選ンデ政府ト交渉スルト云フノデゴザイマスガ

○議長(公爵近衛篤磨君) 左様デス

○三浦安君 サウ云フ例ガ是マデアリマシタノデゴザイマスガ、修正ニモアラズシテ玆デ決議……二千萬圓ナラニ千萬圓ト云フコトヲ決議セズニ政府ヘ交渉スルト云フコトハ變ナコトノヤウニ思ヒマスガ、ソレマデニ至ルニハ詮議ヲシテ議決スル方ガ寧ソ早イデアラウト斯ウ存ズルノデ、唯政府ニ交渉シテ減ズルト云フコトハドウモ不規則ナヤウデゴザイマス、デ大體ノ主意ニ於テ西村君ノ說ニハ賛成ヲ致シマスガ、其方法ニ於テハドウモ玆デ決議ヲ御採リニナルベキモノデハアルマイト思ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 三浦君ニチヨット申シマスガ、決チ採ルベキモノデナカラウト云フノハ私ハ困ルノデアリマス、既ニ動議トシテ出マシテ成規ノ賛成ガアッタ以上ハ、議長ガ勝手ニ決チ採ルベキモノデナイト云フコトハ出來マセヌ、ソレハ規則ノ上カラ出來マセヌコトデアリマスカラ、ソレダケ御斷ナシテ置キマス

○三浦安君 動議トハ申シナガラ、ドウモ甚ダ條理ノ立タヌ動議デアルト思ヒマス、縱令賛成ガアリマシテモ本員ハ議長ニ於テ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 併ナガラ條理ガ立ツ立タヌト云フコトハ……

○三浦安君 議長ニ於テ左様ナコトハ御採用ニナラヌコトヲ……

○議長(公爵近衛篤磨君) サウ云フコトハ出來マセヌ

○男爵伊達宗敦君 唯今私が西村君ニ御尋ナシタノモ今三浦君ノ御述ベニナッタ所ト同ジ意味ヲ含ンデ居リマシタ、ドウモ委員ヲ選ンデ見テモ議院ニ於テ決議ヲシテ此事ヲ政府ニ交渉セイト云フコトヲ託サヌ以上ハ委員ガ何ヲ託サレタカ何ヲシテ宜イカ分ラヌコトニナル、ソレデニ二千萬圓トカ若クハ千五百萬圓ヲ減ジタイト云フ提出者ノ希望デアルカラ其事ヲ含ンデ交渉セイト云フソナコトハ出來ナイト思フ、苟モ此議場デ千五百萬圓ナリ二千萬圓ナリヲ減ズルト云フコトヲ決議シテ、サウシテソレヲ以テ政府ニ交渉スルト云フコトナラバ順序ガ立ッテ居ルダラウト思ヒマスガ……私モ西村君ニハ反對

デアリマス

〔子爵曾我祐準君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 曾我子爵ハドウ云フ御發議デスカ

○子爵曾我祐準君 少シ御聞キ下サイ、私ハ唯今、伊達男爵、三浦安君ノ議論ニ附キマシテ餘儀ナク一言……

○議長(公爵近衛篤磨君) 餘儀ナクテモ二回ハイケマセヌ

○子爵曾我祐準君 西村君ノ動議ニ附イテデアリマセヌ、三浦君伊達君ノ發議ニ對シテ述ベルノデアリマス、若シ再ビ言ウテ惡イト云フコトナラバ三浦君杯ハ三遍モ言ウテ居リマス、ドウカ少シ御聞キ下サイ、三浦君ノ議論ト伊達君ノ論トハ少シ同一デハナイヤウニ思ヒマスガ、手順ガ惡イト仰ッシャル、私ハ其手順ノコトニ附イテ一言辯ジテ置カヌナラヌ、他日モ斯ノ如キ例ガアラウト思ヒマスカラ他日ノ爲ニ一言辯ジテ置キマス、西村君ノ削減論ニ附イテハ先刻意見ヲ辯ジテ置キマシタガ、手順論ニ附イテハ私ハ西村君ノ方ガ相當デアルト思フ、全ク相當トハ思ハヌケレドモ……何故ニ斯ノ如キ無用ノ辯チ費スカト言ヘバ議場ノ後例ノ爲ニ申置キタウゴザイマス、西村君ノ動議ハ十五人ノ委員ヲ選ンデ政府ト交渉シヤウト云フノデアリマスガ、十五人ト云フコトハ如何デアラウカ、是ハ私ナラバ豫算委員ニ託シテ政府ト交渉スルト斯ウナッタナラバ宜カラウト思フ、何トナレバ豫算委員ト申スモノハ全院ガ委託シタ豫算委員デアリマス、全院ノ多數ガ豫算委員ノ調ベテ來タ所ガ十分デナイト云フカ、或ハ外ニ新ニ發見シタコトガアッテ全院ノ意思ガ變ッタナラバ、其豫算委員ヲシテ更ニ政府ト交渉セシムルノハ頗ル當テ得タ順序デアルト思フ、十五人ヲ特ニ選ブト云フコトニ附イテハ私ハ相當デナイト思ヒマスガ、全院ガ豫算委員ノ調ベテ來タ所ノモノヲ非ナリトシテ斯ノ如キコトヲ以テ政府ト交渉スルトシテ全院ガ決シタ以上ハ豫算委員ニ再ビ付託スルコトハ出來ル、是ハ後日ノ例ニモナルニ依ッテ無用ノ辯チヤウデアリマスガ、是ハ他日先例ニ引カレテ斯ウ云フコトガ成立タヌヤウニナッタ甚ダ不都合デアルト思ヒマスカラ、私ハドコマデモ豫算委員ガ政府ト交渉シテ議決シテ來タモノヲ議場ニ報告シテ、ソレヲ議場ノ多數ガ不可トシテ更ニ政府ト交渉セシムルコトハ全ク相當ナ順序デアラウト思ヒマス、私ハ三浦君伊達君ニ反對ノ意見ヲ發表シテ置キマス

○男爵伊達宗敦君 私ハ曾我君ガ誤解シテ居ルカト思ヒマスカラ……
○議長(公爵近衛篤磨君) ソレハ餘リ必要ハナイヤウデスカ……

○男爵伊達宗敦君 併シ西村君ニ豫算委員ノ中カラ十五人選ブノデアルカ或ハ唯別ニ委員ヲ選ブノデアルカト云フコトヲ私ガ御尋シタラ、私ノ聽達デアッタカ知レマセヌガ此議場デ更ニ選ブト云フ御答デアッタヤウニ思ヒマス、サウスルト曾我君御自身ガ、ソレハ不當デアル、全部不當デハナイガ半分不當デアルト言ハレタヤウニ聽取リマシタガ、ドウモ譯ガ分ラヌト思ヒマスカラ、ソレヲ述ベテ置キマス

○渡邊洪基君 唯今御發議ノ二千萬圓ヲ減ズルト云フ……政府ト交渉シテ減ジヤウト云フ、ソレニ附イテ委員ヲ選ブト云フコトデアリマスガ、唯今又其委員ノコトニ附イテ曾我君ノ御説デ豫算委員ニ再ビ之ヲ付託スルノガ相當ナ順序デアラウト云フコトデアルガ、ソレハ併シ委員ニ託スルト云フ以上ハ新ニ委員ヲ拵ヘテモ豫算委員ニ託シテモ同ジコトダラウト思ヒマス、同ジコトダラウト思ヒマスガ、其主意ハ二千萬圓ヲ減ズルト云フコトヲ政府ト交渉スルト云フコトハサッパリ譯ノ分ラヌコトト思ヒマス、二千萬圓ヲ減ズルナラバ二千萬圓ヲ減ズルト云フ案ヲ立テ、サウシテ減ズルト云フコトヲ委員ヲ拵ヘテ其減ジ方ヲスルト云フナラバ、ソレハ又ソレデモ分ルガ、政府ト交渉スルト云フコトハ分ラヌ、交渉スル委員、ソナナ愚ナ委員ガアルモノデヤナイ、ソレカラ又今曾我君ノ御説ニ豫算委員ニ再付託スルト云フコトハ是ハ分ラヌコトト思フ、豫算委員ハ審議ノ末、即チ付託サレタ所ニ依ッテ報告シタノデアリマス、其席デモ又政府トモ交渉シ西村君ノ説ノ如キハ委員會ニ於テモ出タ説デ政府トモ十分交渉シタノデアリマス、サウシテ議決シタモノヲ同ジクソレヲ翻ヘシテ之ヲ豫算委員ニ付託スルト云フコトハサッパリ委員ノ決シタコトヲ重ンゼレナイト共ニ又無用ノ手數ヲスルト云フ意味ニナル、ソナナ漠然トシタ委員ヲ選ブナラバ別ニ御選ビニナルガ相當デアラウト思ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 曾我子爵ノハ一ノ動議ト見テ宜シウゴザイマスカラ
○子爵曾我祐準君 動議デアリマセヌ、意見デス

○三浦安君 一ノ建議ヲ致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 建議トハ何デス

○三浦安君 斯様ニ如何ハシイ條理ノ綴マス決チ御探ニナルノハ不都合ト思ヒマスカラ、此事ハ決チ探ルベキヤ否ヤト云フコトヲ先決トシテ決チ御探ニナルガ宜シイト思ヒマス、然ラザレバ變ナ例ヲ遺シマス、斯ノ如キ豫算委員ノ權利ヲ附付ニシタ……折角豫算委員ノ議決シタモノヲ唯漠然二千万圓減ズ

ルト云フコトヲ政府ト交渉サセルト云フコトヲ決議スルト云フノハ更ニ分ラヌコトデアリマス、併ナガラ豫算委員ガ若シ此議場チ一遍引イテ出シ直スト云フナラバ知ラヌコト、然ラザレバ別ニ委員ヲ立テテ……豫算委員中カラニセヨ總體カラ別ニ委員ヲ立テテナリ、漠然ト二千萬圓減ズルト云フコトハ甚ダ不條理デアル依ッテ是ハ決チ探ルベキヤ否ヤト云フ決チ先決トシテ御探ニナルガ適當ト思ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) シンナコトハ出來マセヌ

○子爵曾我祐準君 三浦君ハ御忘レニナリマシタカ、第九議會デアリマシタカ、近衛公爵ガ豫算委員長デアラタ時ト私ハ記憶シテ居リマス、是同様ナコトデアリマシテ再ビ豫算委員ニ託スルト云フ動議ガ成立チマシタ、成立ッタガ少數ヲ消エマシタガ、決ハ確ニ御探ニナリマシタ、是ハ探ル理由ガアル、私ハ此事ニ附イテハ明ニ先例ガアルト思ヒマス、必ズ議長ノ御手許ニモ分ッテ居ルト思ヒマス、正シク近衛公爵ガ豫算委員長デアッタト思ヒマス、其時ノ提出者ハ本員デアッタカモ知レヌト思ヒマス、兎モ角モ多數ヲ代表シテ私ガ提出シタノデアラウト思ヒマス、ソレ故ニ本員デアッタカモ知レヌト言フノデス、何レ一人ノ意思ノミデハゴザイマセヌカラ、或ハ別ノ人ノ名デアッタカモ知レヌガ、確ニ主張者ノ一人デアッタニハ違ヒナイ、ソレハ速記録ヲ御繰返シニナルト分ルコトデ、先例ノアルコトチ一言辯ジテ置キマス

○子爵堀田正養君 本員ハドウカ西村君ニ提出ナサレタコトハ取消サレルコトヲ希望スル、ナゼト云フト我々議員ハ例ヘバ豫算ノ中二千萬圓ナリ五千萬圓ナリヲ削減スルノ權利ガアルノデ、ソレチ唯二千萬圓位ヲ減ズル見込デ政府ニ交渉ナスル杯ト云フサウ云フ自分ノ權能ヲ削イデ政府ト交渉シナケレハ此事ハ極メラレヌト云フコトハ將來ノ例トシテ私ハ甚ダ好マヌ、故ニ二千萬圓ヲ削減スルナラバ此條此條ニ於テ二千萬圓ヲ削減スルト云フ御説ナラバ我モ隨分賛成スルカモ知レヌガ、唯其積リデ政府ニ交渉スルト云フヤウナコトデ議院自身自ラ削減スル權利ノアルモノチ政府ニ交渉シナケレバ削減ガ出來ヌト云フ例ヲ開ケバ甚ダ自分ノ權能ヲ縮ムルト云フヤウナ嫌ガアリマス、故ニ果シテ二千萬圓ヲドコソコチ減額スルト云フ御見込ガナケレバ將來ノ例ニナッテ甚ダ面白クナイカラ御取消ヲ願ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) モウ大抵議論モ盡キテ居ルヤウデアリマスカラ決チ採リマス、西村君ノ動議ニ賛成ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵近衛篤磨君) 少數デアリマス、動議ハ消滅シマシタ、是ヨリ豫算ノ逐條ニ附イテ議シマス、外務省所管、歳出經常部、全部チ問題ニ供シマス

○久保田讓君 外務省ノ豫算ニ附キマシテ政府ニ御尋ナシタイコトガアリマス、馬關條約ノ結果ニ依ッテ開カレタル所ノ清國ノ開港場ニ於ケル我國ノ商業工業等ニ附イテ如何ナル利益ヲ受ケツ、アルカト云フコトヲ承リタイ、又我國ノ商業工業ニ從事シテ居ル所ノ者ガドノ位此各ノ開港場ニ出テ居ルヤ否ヤ、且ツ此各開港場ニ於ケル居留地ガ如何ナルコトニナッテ居リマスルカ、居留地ニ我が國民ガ居住シテ商業工業ヲ營ンデ居リマス者ガアリマスルカ如何デアリマスカ、又之ニ關シテ政府ハ獎勵保護ニ附イテ如何ナル方法ヲ執ッテ居ラレマスルカ、此事ニ附イテ政府ノ御説明ヲ伺ヒタイ

〔政府委員三橋信方君演壇ニ登ル〕

○政府委員(三橋信方君) 唯今チヨット退席シテ居リマシテ御質問ノ要領ヲ聽洩シマシタカラ、モウ一應要領ヲ……

○久保田讓君 外務大臣ガ御聽ニナッタデアラウト思ヒマスカラ、御聽ニナラケレバ外務大臣カラ……

○政府委員(三橋信方君) ソレデハ外務大臣カラ御答致シマス

〔國務大臣子爵青木周藏君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵青木周藏君) 久保田君ニ御答致シマス、馬關條約ノ結果ニ依ッテ得タル清國ノ居留地ニ於テ我々ガドウ云フ利益ヲ得ツ、アルカト云フ第一ノ御尋ニ御答致シマス、私ノ答ハ久保田君チシテ満足セシメ得ラレナイ答デアリマシテ甚ダ遺憾ト思ヒマスルガ、實際ノ有様ヲ申セバ略スウ云フ譯ニナッテ居リマスルノデ、御承知ノ通りニ二十八年平和克復ノ後ニハ俄ニ日本ニ於キマシテハ朝モ野モ亞細亞ノ大陸ニ向ッテ色々ノ事ヲ考ヘタデアラウト思フノデアリマス、從ッテ商法モ擴張ヲ爲シ、或ハ日本ノふれすちニヒチ擴張シヤウト云フ考ガアルニ相違ナイ、ソレ故ニ彼此ノ居留地ニ於キマシテハ所謂專管地ナルモノチ條約ニ依ッテ取付ケ、或ハ其後條約以外ノ方マデ取付ケタノデアアル、其專管居留地ノ最モ太イ所ハ百町餘リノ太イ所モアル位ナコトデ、即チ天津、其當時ノ命令チ當該廳ヨリ受ケテ勸イタ所ノ我が領事館ハ二十萬坪以内ノ專管居留地ハ取ラナイ、二十萬以上ヲ取ルト云フ程ノ意氣込テ專管居留地ト云フモノチ設定シタノデアリマス、然ルニ不幸ニシテ今日マデハ此專管居留地ト云フモノハ十分發達シテ居ラナイデアリマス、其原因

ハト申スト私が茲デ説明ヲ致シマスル必要ハナイカモ知リマセヌガ、奈何ニセム我が商業界ノ發達ガソレマデニ出來テ居ラナイノデアッデ、彼ノ歐羅巴亞米利加ノ人が續々合資ノ力ヲ以テ自分ノ國ノ製造物ヲ彼ノ國ニ輸入シテ商賣ヲシツ、アル有様トハ違ヒマシテ、僅ニ少額ノ金員ヲ携ヘテ參ッテ仕事ヲスル人ノ數ガ多イノデ、從ッテ我が邦人ノ力ハ歐羅巴或ハ亞米利加ノ巨商ニ比較シマスルト餘程微弱ナノデアリマス、遺憾ナガラ……ソレ故或ル專管居留地ノ如キハ或ハ多分專管居留地ハマダ碌ニ道路モ出來ナイ、從ッテ家モ碌ニ出來テ居ナイ、碌ニデハナイ殆ド出來テ居ナイ場所ガ二箇所三箇所位ハアリマス、ソレデ政府ニ於テ望ミマスル所ハ何トカシテ我が商業界ノ人が合資ノ力デ我邦デ製造スル所ノ品物ヲ彼ノ國ニ輸入スルニ一日二日ニ涉ラザル……永キニ涉ッタル商賣上ノ關係ヲ清國ト付ケテ將來勸クコトヲ望ムノデアリマス、ソレガ出來ルト云フコトニナリマシタラ專管居留地ニ草モ生ヘナイ立派ナ町ガ出來ルデアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレニ附イテ政府ハ唯見テハ居リマセヌ、出來ルダケノ獎勵ハ當ニ外務省ニ於テスルノミナラズ、農商務省ニ於テモ或ハ大藏省ニ於テモ始終事ニ注意シテ彼此ノ人ヲ獎勵シテ居ルノデアリマス、此事ヲ申シマシタナラバ第二ノ御尋ニナツタ所ノ事項ニ對シテハ私ノ考デハ別ニ御答ヲスルコトハ必要デナイト考ヘマスデ是ダケヲ御答致シマス

○久保田讓君 序ニ御尋ヲ致シマス、唯今ノ御説明デ多少分リマシタガ、外務省大藏省農商務省ニ於テモ精々獎勵ヲ致シテ居ルト云フ御話デアリマスガ、是ハ相當ノ方法ガ立ッテ居リマスカ、又其保護ノ事モ如何ナモノヲ保護セラレマスカ、是モ何ハレルダケ何ヒタイ、私共ノ承ル所ニ依レバ居留地、大キナ廣イ居留地ニモ未ダ道路モナイ、下水上水ノ設ケハ勿論ナイ、サウ云フ所ニ今日本ノ商人ガ參ッテ縱令住居ヲシタイ商業ヲシタイト考ヘテモ何分道路カラ開イテ掛ラヌナラヌト云フコトデハ容易ニ出來ルモノデハナイ、斯ウ云フコトハ必ズ公共ノ力並ニ政府ノ力ニ依ッテ道路ヲ開キ、下水、上水等ノ人ノ生活ヲスベキ要用ナ大切ノ點ト云フモノハ、是非政府デ保護ヲ致サナケレバナラヌト存ズルノデアリマスガ、是等ニ附イテ御見込ガアリマセウカ、既ニソレハ御著手ニナッテ居ルデゴザイマスガ、又ソレ等ハ各人ノ經營ニ任シテ更ニ政府ハ構ハヌト云フ御考デゴザイマセウカ、ソレ等ノ邊ヲ伺ヒタウゴザイマス

○國務大臣(子爵青木周藏君) 御答致シマス、成ル程道路ヲ拵ヘル或ハ下水

ヲ拵ヘルト云フコトハ政府ニ於テモ考ヘテ居ルノデアリマス、併ナカラ場所ガ多イ坪數ノ多イ地面デアリマスカラ、隨分巨額ノ金員ヲ要スルノデアアル尋常ノ方法デハ此道路ヲ造ルコトモ橋梁ヲ架スルコトモ又ハ下水ヲ構造スルコトモ出來ナイノデゴザイマス、ソレ故ニ今日ハ明言ヲスルコトハ出來マセヌガ、政府ニ於キマシテハ今此事ニ考ヲ練ッテ居ル所デアッテ自然、考ガ熟シタ上ニハ諸君ニ御相談ヲスルコトガアルカモ知レヌト考ヘテ居ルノデゴザイマス

〔政府委員三橋信方君演壇ニ登ル〕

○政府委員(三橋信方君) 先刻申述ベマシタ通り久保田君ノ御演說ヲ聞漏シマシテゴザイマスガ、今日日本ノ商工業者ガ參ッテ居ル港ト云フノハ各港デゴザイマスカ

○久保田讓君 支那ノ開港場デ馬關條約ニ於テ得タル所ノ開港場ニ於ケル日本人民ノ商人又ハ工業者ハ幾人行ッテ居ルカ、如何ナル營業ヲシテ居ルカト云フコトヲ伺ヒタイ

○政府委員(三橋信方君) 御答致シマス、此各港ニ參ッテ居リマス日本人民ノ精確ナ調ハ今茲ニ書類ヲ持ッテ居リマセヌデ分リマセヌガ、凡ソ四五十名ト考ヘテ居リマス、其營業ハ商業、ソレカラ旅店ヲ開イテ居リマス、ソレカラ新聞ノ通信等ヲシテ居リマス、ソレカラ彼ノ船舶ヲ運轉シマシテ貨物ノ輸送ヲ致シテ居リマス、先ヅ大凡サウ云フ類ノ者デゴザイマス

○子爵曾我祐準君 唯今ノ政府委員ニ今一應承リタウゴザイマスガ、清國ニ參ッテ居ル日本人民ハ五十人シカ居リマセヌカ

○政府委員(三橋信方君) 先刻申述ベマシタ通り今茲ニ精確ナ書類ヲ持ッテ居リマセヌカラ精確ナ數ハ申上ゲラレマセヌガ、大凡ソレダケト考ヘテ居リマス

○子爵曾我祐準君 ソレダケトハ五十人デスナ

○政府委員(三橋信方君) ハイ、併シ是ハ先刻久保田君ノ御質問ニ下ノ關係約ニ依ッテ開イタ開港場ト云フコトデゴザイマシタ、サスレバ四箇所デゴザイマス、其四箇所ノ人民ヲ申上ゲマシタノデス

○子爵曾我祐準君 然ラハ御序ニ清國諸港ニ於ケル日本人民ノ有様ヲ伺ヒタ

○政府委員(三橋信方君) 取調ベテ追テ精確ノ數ヲ御答ヘ致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 外務省所管、御異議ガナクバ原案ニ決シマス、内務省所管全部ヲ問題ニ供シマス

○久保田讓君 内務省ノ所管ニ附イテチヨット伺ヒタウゴザイマスガ、本年内務省ノ府縣費ニ於テ高等官ノ俸給ヲ増加致サレテ居リマスガ、此高等官ト云フ内ニハ知事、書記官、警部長ハ無論合ンデ居リマセウガ、郡長杯モ矢張り此俸給中ニ合ンデ居ルデゴザイマセウカ如何デゴザイマスガ、其高等官ノ俸給ハドウ云フ方法ヲ以テ支給サレルカト云フコトモ大要承ルコトガ出來レバ御答ヲ願ヒタイ、ソレカラシテ此技師杯ハドウ云フコトニナッテ居リマスガ、ソレカラ判任官即チ屬官ノ俸給ト云フモノハ甚ダ不足デ困ルト云フコトヲ承ッテ居リマスガ、之ニ附イテハドウ云フ御考デアリマスガ、ソレダケノコトヲ伺ヒタイ

〔政府委員小松原英太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(小松原英太郎君) 唯今ノ御質問ニ御答致シマスガ、初ノ御尋ノ點ハ高等官ト云フ中ニ郡長ガ籠ッテ居ルカ居ラヌカト云フ御尋デゴザイマスカ

○久保田讓君 サウデス

○政府委員(小松原英太郎君) 此豫算ニ提出シテゴザイマスル高等官俸給ノ定額ノ中ニハ郡長ハ籠ッテ居ラヌ、典獄以上ニ對スル分ノ俸給額ヲ要求致シタノデゴザイマス、ソレデ此増額ガ通過致シマシタ曉、ドウ云フヤウニ支給スルカト云フ御尋デアッタヤウデゴザイマスガ、ソレハ將來ハ府縣高等官ノ俸給ハ階級制ニ致シマシテ年功ニ依リ又ハ其地方ノ事務ノ繁閑狀況ニ依リマシテ相當ノ俸給ヲ給スルヤウナコトニシタイト思ヒマス、ソレデナゼ典獄ダケニ對スル分ノ増額ヲ提出シタカト申シマスルト、全體政府ノ考ニ依リマスルト獨リ典獄以上ノミナラズ府縣官吏ノ俸給ヲバ相當ノ平均額ニ増加スルノ必要ハ認メテ居ルノデアリマス、知事ヨリ郡長ニ至ルマデ、又判任官ニ至ルマデ今日ノ俸給ハ甚ダ低キニ過ギマシテ甚ダ不足ヲ訴ヘテ居ル、判任官ノ如キハ十八圓五十錢平均ニナッテ居ル、然ルニ尙ホ其中カラ必要ニ應ジマシテ技衛官ノ如キハ判任俸給ノ定額内ヲ以テ支辨シテ居ルト云フヤウナ次第デアリマス、又警察官ノ如キハ今日署長或ハ分署長ト申ス如キ者ハ十五圓位ノ俸給デハ位置ヲ保ツコト體面ヲ保ツコトモムヅカシイト云フヤウナ譯デ、自然此

十八圓五十錢ノ平均ノ中デ警察官ノ方ヘハ多ク給スルヤウニナッテ居リマスノデ、郡長、内務部ノ判任官ノ俸給ト云フモノハ甚ダ低イ俸給ニナッテ居リマス、ソレ故ニ此判任官ノ俸給平均額ノ如キモ二十五圓位ニハ増加致シタイト云フ希望ヲ持ッテ居ルノデアリマス、又郡長ノ如キモ今日ハ多クハ六百圓、指定地ハ八百圓ト云フコトニナッテ居リマスガ、是モ其位置其職務ニ對シマシテ甚ダ俸給ガ低イノデ十分ナル好キ人ヲ得テヤルト云フコトモ困難デアリマスルシ、是モ九百圓位ノ平均ニハ昇セタイト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、然ルニ御承知ノ通り郡長ハ多人數デアリマス、之ヲ九百圓平均ニ致スト十萬圓餘ノ金額ヲ要スル、府縣判任官ノ如キモ定員凡ソ七千人デゴザイマスカラ、之ヲ二十五圓平均ニ致シマスルト大凡五十四萬圓ヲ要スルト云フヤウナ次第デ、何分本年ノ豫算ニ於キマシテハ政府財政上ノ都合此多額ヲ要スル俸給平均額ヲ昇スト云フコトハ困難デ、遂ニ豫算ニ入レテ提出スルコトガ出來ナカッタノデアリマス、ソレデ典獄以上ニ屬シマスル分ハ金額ハ少イ、僅カ三萬圓餘リノ金額デアリマスカラ、必要ヲ感ジテ居リマスル其必要中ノ一部分ダケ即チ本年ノ豫算編製ノ場合ニ於キマシテ財政ノ許ス限リ少額ノ分ダケヲ編入ヲ致シテ提出シタ次次デアリマス、ソレデ此郡長ノ俸給ナリ或ハ府縣判任官ノ俸給ナリハ是ハドウシテモ増加スル必要ハ認メテ居ルノデアリマス、政府ハ財政ノ許ス限リ何トカ都合ヲ附ケマシテ提出致スヤウニシタイ考デゴザイマス、本年府縣判任官ノ俸給定額ノ増加、郡長ノ俸給平均額ノ増加ヲ要求スルコトハ出來ナカッタ理由ハ右申上ゲマシタ通りデアリマス

○久保田讓君 チヨット唯今ノ御説明デ……内務省政府委員ノ御説明デ分リマシタガ、私モ御同感デアリマスガ、其中カラ郡長ヲ御除ニナルコトハ甚ダ遺憾デアリマスガ、私杯ノ最モ一番政費ノ不足ヲ感ジテ居ルノハ知事ト郡長デハナイカト思ヒマス、是ハ皆地方ニ當ッテ大小ハアリマスルガ、郡長ハ即チ知事ノ小サイモノ、又一郡ノ郡長ニナッテ居リマス者ガ是ハ六百圓七百圓デハ不足ヲ生ジテ居ルト思フ、ソレカラ鈞合ヲ考ヘマシテモ師範學校ノ校長ノ如キモノモ千圓カラ千二百圓位ニナッテ居ル、中學校ノ校長デモ八百圓位ニナッテ居ル、或ハ千圓以上ニ昇ッテ居ル、斯ウ云フ不鈞合ノコトデ行政ノ事が甚ダ敏活ニナルコトハムヅカシクハナイカト思フ、知事ト郡長、寧ロ他ノ高等官ハ御省ニナッテモ郡長ト知事ト云フモノニ十分俸給ヲ支給スルト云フコトハ至當ノコトデハナイカト考ヘマスガ、ソレニ附イテノ政府ノ考ヲ伺ヒタイ、ソレカラモウ一ツハ判任官、是ハ俸給ガ少イ、人數モ足りナイ、故ニ縣治ノ

事が擧リニクイト云フコトハ各地方長官ヨリ屢々伺ッテ居リマス、是モ尤ノコトト思ヒマス、近年中央政府カラ府縣ニ下付サレタ事業ト云フモノハ非常ニ數が多クナルノデアリマス、サウシテ判任官ノ俸給ハ殖エヌ人數モ殖エヌ、地方ノ大事ナ事業ノ基ニナル所ノ費用ハ是モ何トカ御工夫ガ附クナラバヤッタラ宜カラウ、若シ財政ガ許サヌナラバ例ヘバ中央ノ各省ノ平均……

○議長(公爵近衛篤磨君)久保田君ハ質問デスカ

○久保田讓君 サウデス、平均三十圓位ニナッテ居ルカト思ヒマスガ、三十圓デスカ、ソレガ地方ノ屬官ガ十八圓ト云フコトデアルト大變ニ隔絶ヲ致シテ居ルガ是ハ孰モ違ハナイカト思ヒマス、其外生活上ノ問題モ地方ノ屬官モ中央ノ屬官モ左程違ハナイカト思ヒマス、ソレ等平均ナサレタラ地方ノ屬官ヲ殖ヤスト云フコトモ出來ハシマイカト思ヒマス、サウ云フコトハ出來ヌモノデアリマス、一ツ伺ヒタイ

○政府委員(小松原英太郎君) 郡長ノ俸給ヲ相當ノ額ニ昇セテ其人ヲ得ルヤウニ又其事務ヲ擧ゲルヤウニセヌケレバナラヌ、地方行政ニ於テ郡長ニ重キヲ置カナケレバナラヌト云フコトハ如何ニモ御同感デアリマス、唯先キニモ申上デマシタ通り郡長ハ人數が多い、此俸給平均額ヲ多少上スニ致シマシテモ隨分金額ガ昇ルト云フヤウナ次第デ、本年ノ豫算ニ於テハ郡長俸給ヲ昇スコトヲ要求スルコトガ出來ナカッタデアリマス、判任官ノ府縣判任官ノ俸給ノ甚ダ低クシテ其人ヲ得ルニ困難、又其職務ヲ擧ゲテ行ク上ニ於テモ地方ノ行政ヲ整理シテ行ク上ニ於テモ甚ダ困難ヲ感ジテ居ルト云フコトモ先キニ申上デタ通りデアリマス、是ハ來年ノ豫算ニ於テハ何トカ繰合ヲ附ケマシテ財政ノ許ス限り俸給増加ノ豫算ヲ提出致シタイト考ヘテ居リマス、各省ノ平均ナシテ之ヲ上ポスト云フコトハ一ツト是ハ御答致シ兼ねマスヨ、左様御承知ナ……

○子爵曾我祐準君 チョット序ニ御尋致シタイ、唯今ノ俸給ノ論デアリマスガ、諸官省ノ判任ハ別デアリマスガ、府縣ノハ十八圓トカ云フコトデゴザイマスガ、ソレカラ今一ツハ通譯官ヲ新ニ置カレルヤウニ見エマスガ、ソレハ重ニ府縣ニ於キマシテ、開港場ノ如キハ別デアリマセウガ、其他ハ何人トカ人員ハ極ッテ居リマセウカ、ドウ云フ風ニナッテ居リマスカ

○政府委員(小松原英太郎君) 通譯官ハ各府縣ニ一人ツ、置キマス積リニナッテ居リマス、ソレカラ内務省……各省ノハ御答サスルコトハムツカシウゴザリマスガ内務省ノ判任官ノ俸給平均ハ三十圓ニナッテ居ルト思ヒマス

○子爵内藤政共君 チョット序ニ質問致シマス、内務省所管第八款海港檢疫所ノ費用ガ茲ニ出テ居リマス、此海港檢疫所ト云フモノハ大凡何箇所ニナッテ居リマシテ、ドウ云フ人員ガアリマスカ、又其檢疫スル所ノ檢疫官ノ大凡俸給ヤ何カドノ位ニナッテ居リマスカ、實ハ些少ノ金額ノヤウニ考ヘテレマスカ、本員ノ考ヘル所デハ既ニ横濱杯モ檢疫ヲシテ居ッテモ、ソレニ拘ラズ横濱トカ或ハ神戸ノ如キハ亞米利加カラシテ矢張り檢疫官ト云フモノヲ横濱或ハ神戸ニ置イテ居ッテ、サウシテ日本カラ出ル所ノ移住民其他三等ノ乘客ニ至ッテハ上等客ハ別デ、三等客杯ニ至ッテハ總テ日本ノ檢疫官ノ検査ヲ受ケルニ拘ラズ又亞米利加ノ檢疫官ノ検査ヲ受ケテ健康證書ヲ持ッテ行カナケレバ米國或ハ布哇ノ地ニ上陸ヲ許サヌト云フヤウナ譯ニナッテ居リマス、是ハ如何ニモ不見識ノ譯ダラウト考ヘマスガ、或ハ日本ノ檢疫官ト云フ者ノ或ハ俸給ガ少イトカ何トカ云フコトデ非常ニ信用ヲ得ラレヌカラ、サウ云フコトナスルト云フヤウナ結果デハアルマイカト考ヘマスカラ、チョット御尋致シマス

○政府委員(小松原英太郎君) 檢疫官ノ人員俸給等ハチョット今委シク存ジテ居リマセヌカラ他ノ政府委員カラ御答致シマス

○男爵千家尊福君 唯今曾我子爵カラノ御質問ニ對シテ政府委員ノ御答辯ガアッタヤウデアリマスガ、私ハ豫算委員ノ一人トシテ記憶致シテ居ル所ニ依リマス、府縣ノ判任官ノ俸給ノ平均額ハ十八圓五十錢デアッテ内務省ノ判任官ハ俸給ノ平均額ハ確カ三十三圓ニナッテ居ルヤウニ記憶致シテ居ルヤウデゴザイマス、少シ先刻内務次官ノ説明ニナッタ所トハ違ウテ居リマスデ私ノ記憶スル所ヲ申上ゲテ、尙ホ間違ヒマシタナラバ政府委員カラ御正シナラムコトヲ私ハ望ミマス

○子爵曾我祐準君 有難ウゴザイマス

〔政府委員長谷川泰君演壇ニ登ル〕

○政府委員(長谷川泰君) 唯今ノ御問ニ對シマシテ御答ヲ申上ゲマスル、海港檢疫所ノ人員ハ今總數確實ナル數ハ實ハ爰デ申上ゲ兼ねマスルカラ是ハ追ッテ申上ゲマス、ソレカラ第二ノ御尋ニ神戸横濱等ヲ出マスルトキ、例ヘバ米國ノ船デアリマシタナラバ米國ノ領事ガ何カ健康證書ヲ與フルト云フ御話デアリマシタガ、是ハ右様ノコトガアルカハ存ジマセヌデゴザイマスルガ、日本政府ニ於キマシテハサウ云フコトハ……アチラノ自分ノ方デ健康證書ヲ與フルト云フコトハゴザイマセヌ、ソレデ現行ノ規則ニ依リマスルト、健康證

書ヲ外國船が出航ナスル砌ニ、例ヘバ横濱ガ健康地デアアルカ若クハ神戸ガ健康地デアアルカ、或ハ長崎ガ健康地デアアルカト云フコトニ附キマシテ彼ノ方カラ請求ヲ致シマスルト五圓ノ手数料ヲ取りマシテ健康證書ヲ與フルコトニナツテ居リマス、ソレハ各國ノ領事ガ皆承知致シテ彼カラ請求致シマセヌケレバ別ニコチカラ健康證書ヲヤラヌコトニナツテ居リマス、右様御承知アラムコトナリ……

○子爵内藤政共君 甚ダ驚イタ御答デ實ニ驚キマシタ、横濱神戸ニ於テ亞米利加ノ領事即チ布哇ノ領事ナンド云フモノガアリマスガ、ソレガ健康證書ヲ與フルトカ或ハソレガ檢疫ナスルカ知ラヌト云フ御答ハ甚ダ驚イタ話デ、是ハ毎航海下ノ船デモ亞米利加、布哇アタリニ向ケテ出ル船ハ必ず神戸ニ於テ檢疫ヲ受ケタニモ拘ラズ横濱ニ於テ又布哇ノ出張員ノ檢疫ヲ受ケナケレバ向フヘ行ッテ上陸スルコトノ出來ヌノハ知レ切ッテ居ル、ソレハ船舶ニ關係シタ者ハ一人モ知ラヌ者ハナイ話デゴザイマス、日本ニ檢疫官ガアッテ日本ノ檢疫官ガ検査ナスルニモ拘ラズ外國ノ地ナレバ格別、内地ニ於テ亞米利加ノ者ガ檢疫ナスルト云フコトハ如何ナ譯デアリマセウカ、實ニ權利上如何ナモノデアラウカト考ヘタ故ニ質問ナシタノデ……

○政府委員(長谷川泰君) 御答申上ゲルデスガ、其出帆ノ際ニ外國ノ領事等ハ檢疫ヲ致サヌト存ジテ居リマス

○子爵内藤政共君 決シテサウ云フコトハゴザイマセヌ、領事ハ檢疫ハ致シマセヌガ醫者ト云フモノガ居ルノデアアル、即チ私ハ神戸ノハ覺エヌケレドモ横濱ノハ即チとくどる、えるどるヒト云フ人間ガ居ルノデ、其人間ノ名マデ私ハ申上ゲマス

○子爵曾我祐準君 内務省ノ政府委員ニ今少シ質問ヲ致シタウゴザイマス、北海道ノ拓殖事業ノ増進ニ伴ウテ警察若クハ戸長役場杯ヲ増サレル趣デアリマスガ、ソレハドウ云フ風ニ増シテ行キマスカ、或ハ開ケタ田地ガ何町歩ニナレバ戸長役場ヲ置クトカ、或ハ人口ガ幾人ニナレバ置クトカ云フヤウナ何ゾ標準ガアリマスカ、如何ナ増シ工合デ御扱ニナルカ、唯單ニ目分量デアアルカ、若クハ標準ガアルカト云フコトガ一ツノ問、ソレカラ此年度ニ於テ幾ツバカリ増スト云フ見込デアアルカ、ソレガ第二ノ問、ソレカラ同ジク北海道ノコトデアリマスガ、道路新築、道路新開、橋梁架設、原野排水杯ト云フコトガアリマスガ、サウシテ金高ハ僅ニ五十萬圓デアリマスガ、是デドレダケノ道路ガ出來ル見込デアリマスカ、道路ノ長サハドウ位出來ル見込デアリマスカ、

橋梁ガ幾ツ出來ルカ、御見込ガ附イテ居ルナラバ承リタウゴザイマス

〔政府委員白仁武君演壇ニ登ル〕

○政府委員(白仁武君) 初ノ御尋ニ御答致シマスルガ、役場ヲ置キ或ハ警察分署ヲ置キマスルニハ標準ハゴザイマセヌ、併ナガラ大凡一戸長役場デ所管シマスル戸數ト云フモノハ唯今マデノ比例ガ大凡二百戸カラ五百戸、多イ所ハ七八百戸マデノ間ニ出入致シテ居リマスルカラ、段々戸數ガ殖エマシテ七八百戸以上千戸ニモ達シマスレバ分村ナリ或ハ新村設置ノコトヲ致シマシテ從ッテ役場ヲ置クトコトニ致シマスル、警察分署設置等ノ如キモ亦然リ、其當年ノ新設致シマスル戸數ハ十四箇所デゴザイマス、其十四箇所ノ場所ノコトヲ御尋ニナツタヤウニ……

〔子爵曾我祐準君「イエ、場所ハ尋ネマセヌ」ト述フ〕

左様デスガ、ソレカラ第二ノ御尋ハ道路橋梁排水ノ長サ並ニ箇數デアリマスルガ、ソレハ此處デ其數ヲ縣道何里、里道ガ何里、又其排水ガ何里、之ニ伴ヒマスル橋梁ガ幾ツト云フコトヲ確ニ其數ヲ申上ゲル譯ニ行キマセヌ、ソレガ強ヒテ御必要デゴザイマスレバ取調ベマシテ後デ御答致スコトニ致シマス

○子爵曾我祐準君 チヨイト序ニ此土人保護ノコトガ今年カラ實行サレルヤウニ見エマスガ、是デ全ク終ルト云フコトデアアリマスマイガ、何年カニ割ッテ本年ハ五千圓ト云フコトニ見エテ居リマス、何年カニ割ッテ本年ハ一部分即チ半分トカ三分ノ一トカ云フコトニナツテ居ルカト思ヒマスガ、是ハドウ云フモノデアリマスカ、序ニ御尋シマス

○政府委員(白仁武君) 御答致シマスガ、其救助……土人保護方法ハ幾ツモ御承知ノ通りゴザイマス、其内ノ此勸業ノ方ノ事柄、農業ニ使ヒマスル方ノ救助ニ附キマシテハ此處ニ農具ト種子ヲ與レルト云フコトニナツテ居リマス、サウシテ其戸數ハ僅ニ二百戸バカリデゴザイマスガ、是ハ御説ノ通りニ其二百戸デモッテ完全致スト云フ譯デアリマセヌ、差當リ取調ベマシテ必要ナ見當ヲ付ケマシタ分ダケヲ豫算致シテ居リマス、又此教育ノ方デアリマスガ、此方ハ法律案ヲ提出致シマシタ時分ニモ説明致シテ置キマシタガ、學校ヲ建テマシテ彼等ノ子弟ノミチ集メテ教授ヲ致スト云フ設計デアリマスガ、學校ヲ建テルコトハマダ當年マデハ設計ガ出來マセヌノデ、ソレ故ニ此豫算ニ於キマシテ僅ニ授業料ヲ給スルト云フコトダケニ致シテ居リマス、特ニ學校ヲ設置致シマスルノハ後年ノ仕事ニ讓リマスル積リデゴザイマス

○子爵曾我祐準君 土人ノ學校デアアルガ、普通日本人ノ學校ニ土人ノ子弟ガ

行ッテ居ルコトが澤山アルノデアリマス、今アナタノ學校ト仰ッシヤルノハ
土人ノ爲ニ特ニ置ク學校ノ話デスナ

○政府委員(白仁武君) 左様デアリマス

○子爵内藤政共君 唯今本員が此前ニ質問ヲ致シマシタ所が一言ノ御答モナ
カッタ、要領ヲ得ナカッタトモ少シ言ヒ兼ネル、一モ御答ガナカッタカト云
フ位ノ實ハ話デアッテ、僅ニ本員が唯今横濱ニ在ル所ノ現在ノ有様ヲ申シマ
スルト演壇カラ笑ッテ御退キニナッテ、ソレಕ್ಕリ更ニ何モ御答ガナカッタカラ、
ドウカ是ハ一ツ御答ヲ願ヒタイ

〔政府委員小松原英太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(小松原英太郎君) 先刻海港檢疫所ノ俸給人員等ノコトニ附イテ
御尋ガゴザイマシタガ、海港檢疫所ハ横濱、神戸、長崎、門司等デヤッテ居
リマス、ソレデ横濱、神戸、長崎ニ於キマシテ海港檢疫官ガ一人ヅ、此俸
給平均千二百圓デアリマス、其外海港檢疫官補ト云フモノガゴザイマ
ス、是ハ判任官デゴザイマス、是デ二人若クハ三人配置致シデアリマス、斯
ウ云フヤウナ人員配置ニナッテ居リマス、ソレカラ横濱ニ於キマシテ亞米利
加ヘ參リマスル船ハ海港檢疫官ガ檢疫ナスルカノ如キ御尋ガアッタヤウデゴ
ザイマスガ、サウ云フコトハ決シテナカラウト思ヒマス、或ハ健康證書ヲ與
ヘルトカ何トカ云フコトハ船ニ乗ッテ居ル醫者ガヤルカモ知レマセヌガ、其
他ニ海港檢疫所ニ於テ檢疫スルガ如キ檢疫ヲ致スト云フコトハナイ筈ト思ッ
テ居リマス、御分リニナリマシタカ

○子爵内藤政共君 成ル程、檢疫所ヲ置イデヤッテ居ルト云フ私ハ意味デハ
ナク唯今申上デマシタ、併シ每港出港前ニ於テ米國ノ醫者ト云フ者ガ必ズ船
ヘ來テ一人一人乘客ナリ乗組員マデ必ズ一人一人検査ヲシナイ以上ハ健康證
書ヲ與ヘナイ、其健康證書ヲ持ッテ行カナケレバ布哇或ハ亞米利加ヘ行ッテ
上陸ヲ許サヌト云フノハ事實デアル、是等ハ御調ニナッテアリサウナモノデ
ゴザイマス、今日此處デ豫算案ニ附イテ私ハ其事ヲ質問スル譯デハゴザイマ
セヌカラ、是ハモウ是デ止メテ置キマス、ケレドモ是ハ一ツ政府ニ於テ御注
意下ッテ一ツ十分ニ御取調アラムコトヲ希望スルダケノコトデゴザイマス
○政府委員(小松原英太郎君) 成ル程ソレハ船ノ中デ適宜ニヤッテ居ルコト
ダラウト思ヒマス

○子爵内藤政共君 ソレハ左様デハゴザイマセヌ

○政府委員(小松原英太郎君) 日本政府カラ健康證書ト云フモノヲ船ニ與ヘ
マス、ソコデ船内ニ於テ適宜ニ亞米利加ノ醫者ガ銘々ニ就イテ健康ヲ診斷ヲ
シ其結果、證書ヲ渡スト云フヤウナコトヲ致スノデアラウト思ヒマス、デスガ
尙ホソレハ能ク調査致シマスルデゴザイマス

○子爵内藤政共君 唯今申上デタ通り豫算案ノ時デアリマスカラ申上ゲマセ
ヌガ、或ハ他ノ時ナリ色々申上ゲル御話ヲシタイ事實モアリマスカラ又他ノ
時ニ此御話ヲスルコトニ致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 内務省所管、御異議ガナケレバ原案ニ決シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ是デ暫時休憩致シマス

午後零時九分休憩

午後一時八分開議

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ午前ニ引續イテ會議ヲ開キマス、大藏省所
管全部ヲ問題ニ供シマス……御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ原案ニ決シマス、陸軍省所管全部ヲ問題ニ
供シマス

○子爵曾我祐準君 陸軍省ノ部ニ附キマシテ少シバカリ質問ヲ致シマス、此
陸地測量事業ノコトデアリマスガ、五箇年ノ繼續費デアッタノナ更ニ延ビタ
ヤウニ趣意書が見エテ居リマスガ、今度ノ延ビマシタ期限デ終ルヤウニナリ
マスカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 曾我子爵ニ御注意致シマスガ、ソレハ豫算ノ中デ
ハナイデハアリマセヌカ

○子爵曾我祐準君 私ハ何ト申シマスカ初ノ主意書ニ依ッテ御尋シマスガ、
此場合ニ繼續費ノ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 繼續費ノ方デアリマスカラ其時ニ願ヒマス

○子爵曾我祐準君 ソレナラバ其時ニ致シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナケレバ原案ニ決シマス、海軍省所管……
御異議ガナケレバ原案ニ決シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ原案ニ決シマス、文部省所管

○久保田讓君 文部省ノ所管ニ附イテ四箇條バカリ質問ヲ致シタイ、第一ニ承リタイノハ此豫算ノ中ニ師範學校ノ改築費ト云フモノガ見エマセヌガ、是ハ昨年カラノ關係ニ於テ當年ハ是非豫算ニ載セルモノト信ジテ居リマシタガ、私ノ見ル所デハ一向見エナイ、是ハ如何ナルモノデアリマスカ、第二ニ國語調査會ガ昨年ノ豫算ノ時ニモ喧マシイ問題デアッテ、本年ハ是非豫算ニ編製セラレルコトダラウト思ヒマシタガ、是モ見エマセヌガ、如何ナコトデアリマスカ、ソレカラ四箇條ト申シマシタガ、三箇條デアリマス、大學及高等學校ノ増設ト云フコトハ昨年本院ヨリ全會一致ヲ以テ政府ニ建議シテ政府モ同意ヲ表セラレタコトデアリマス、是モ豫算ニ一ツモ見エマセヌ、是ハ如何ナル理由デアリマスカ、政府ノ御説明ヲ請ヒタイ、尙ホアリマスガ先ヅ此事ニ附イテ大體伺ヒマス

〔國務大臣伯爵樺山資紀君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(伯爵樺山資紀君) 唯今久保田君ヨリノ御質問ニ御答ヲ致シマスガ、最初ノ御質問ハ能ク判明ニ聽取レマセザツタカラハ是ハ措キマシテ、第二ノ御質問ニ御答ヘ致シマス、國語調査費ノ本豫算ニ請求ガ見エナイト云フ御問ノヤウニ承リマシタガ、此三十三年度ノ豫算内ニハ名義ハゴザイマセヌケレドモ、編書費ノ中デ國語調査シマスル積リデ、即チ編纂費ノ中ニ含有シテ居ルノデアリマス、名義ハゴザイマセヌカラ定メテ御疑義モ御無理デナイ譯ト考ヘマス、ソレカラ高等學校等ノ増設ノコトノ御質問デゴザイマスガ、是ハ近來兎角此教育ノ發達上、増設ト云フコトハ已ムヲ得マセヌ譯デ、本官ニ於キマシテモ經畫シタコトモゴザイマスガ、如何セム目下ノ財政ノ整理上ヨリシマシテ本官ガ意見通り行ハレナイヤウナ場合デ、甚ダ本官ニ於テモ是ニハ遺憾デモゴザイマス、又從來學校増設等ノコトニ附キマシテ、ソレゾレ御意思ヲ持ッテ居ル御方モサザ御失望デアラセラルト思ヒマス、サリナガラ昨年ノ議會ニ於キマシテ段々文部省ノ豫算ノ削減上ヨリ何カ必要ナル事項ヲ此削減ノ代リニ提出シタナラバ宜シカラウト云フ御注意モ受ケマシタガ、即チ高等學校ハ今日増設ヲ必要ト認メマシテ岡山ニ一箇所増設ヲ請求シマシタガ、幸ニ議院ノ承諾ヲ得マシテ誠ニ本官ニ於テモ先ヅ種々ナ削減ノ中デ、ソレダケノコトニ附キマシテハ大キニ職務上ニ取ッテ仕合ノコトデアリマス、是ガ先ヅ今日ハ折角建築ノ最中デゴザイマス、強チ唯高等學校ノコトナソレナリ無

頗著ニシテ置クト云フコトデアリマセヌ、モウ一ツ聊ノコトデアリマスガ、山口高等學校ガ是マデ人員二百名デゴザイマシタ、之チ三百名ニ擴張シタイト云フ意見ヲ起シマシタ、サウシテ即チ本豫算ニ請求致シマシテ出テ居リマス、九千ナンボダト思ヒマシタガ請求シテゴザイマス、ソレデ此諸種ノ學校ニ附キマシテハ誠ニ今日ハ必要ナル緩急順序ヲ遂ゲテソレゾレ設備ナシナケレバナラヌト云フ本官ハ意向ヲ持チマス、今ノヤウニ高等學校ハ先ヅ岡山ト山口ノ高等學校ガ擴張ニナリマスカラ、本年九月ニナリマスト先ヅ多少幾部分カ凌ギガ附キマシテ、二百五十名位ハ中學校生徒ヲ收容スルコトガ出來ラウト考ヘマス、然ルニ獨リ高等學校バカリデハナイ、實ニ今日ハ諸君モ御承知アラセラル、通リ此國家ノ進運發達上ニ附キマシテ最モ國ノ富強ノ基礎トナル實業學校ト云フモノガ大層缺乏シテ居ルコトハ御互ニ是ハ歎息ノ至リデゴザイマス、因ッテ財政上ノ都合モゴザイマシタケレドモ政府ニ於キマシテモ先ヅ多少繰合ヲ附ケマシテ此實業學校ヲ増設シ、且ツ新設スルト云フコトヲ經畫シマシテ、本年三十三年度ノ豫算ニ追ッテ追加豫算デ提出スル積リデゴザイマス、ソレカラ今日ノ諸種ノ教育上ニ附キマシテ本官ガ第一ニ嘆息ニ堪ヘマセヌノハ教員ノ不足デゴザイマス、教員ノ不足ハ教員ガ不十分デゴザイマス、段々今日ハ教育上ニ附キマシテハ學校ノ系統トカ學科ノ調査トカ種々ナ研究モセネバナラヌ際デゴザイマス、ソレニ附キマシテ丁度今ノ國語調査等ガ即チ教育ノ根本タルモノデゴザイマスカラ、根本的ヨリシテ改善發達ヲ圖ルト云フ私ハ意思ヲ持ッテ居ルノデアリマス、依ッテ此教員ノ不足ヲ補ヒマスルニハ高等師範學校ガ最モ必要デゴザイマス、依ッテ高等師範學校ヲ一校増設シタイト云フノデ是モ漸クニシマシテ財源ヲ求メマシタカラ其財源ニ依ッテ追加豫算デ提出ヲ致シマスル積リデゴザイマスカラ、是亦何レ御協賛ヲ願ヒタイト云フ考デ居ルノデゴザイマス、誠ニ高等學校ノコトニ附キマシテハ此三十三年度デハ丁度今ノヤウナ幾部分ヲ要求スル、ソレカラ實業學校ニ附キマシテハ高等商業學校、高等工業學校、高等農林學校、此三校ヲ増設致シマスル積リデ、是モ追加豫算デ提出シマスル今日ハ順序ニナッテ居リマスカラ不日御協賛ヲ得タイト考ヘルノデゴザイマス、段々此學校ノ増設ニ附キマシテハ各地方頗ル熱心勃興ノ場合ニナリマシテ、皆地方地方ニ依リマシテ有志ナリ地方ノ縣會ナリ府會ナリ皆増設ヲ土地其他ノ寄附ヲ以テヤリタイト云フ希望デアリマス、誠ニ本官ニ於キマシテハ幸ニ思フノデゴザイマス、又中央國庫ニ於キマシテモ今ノヤウナ際デゴザイマスカラ誠ニ幸ナコトデゴ

ザイマス、此三十三年度ニ於キマシテハ創設費杯ハ全ク國庫ヨリ支出ニナリ
マセヌデ、總テ寄附金ナリ土地ノ寄附ナリニ依ッテヤリマス、三十二年度三十
三年度マデハ大抵寄附テ創立シマスカラハ政府ノ支出ニナラヌコトデゴザ
イマス、今ノヤウナ譯デゴザイマシテ高等學校ニ附キマシテモ各地方ヨリ請
求モゴザイマシテ、寄附金等ノ申出モゴザイマスガ、是モ此兩三年ノ間、國
庫ノ支出ニ及バヌ譯デ、ソレゾレ増設經費ヲシマシタナラバ宜カラウト考ヘ
マシタケレドモ、如何ニセム將來ニ於テソレゾレ維持費ガイルコトデゴザイ
マスカラ必ズ三十五六年度ヨリハ段々國庫ノ支出ニナラナケレバナラヌ、ソ
レデゴザイマスル故ニ縱令此兩三年ノ間、國庫ノ支出ハ要セズトモ前途ノ維
持上ニ關係ヲ持チマスカラ、財政上今日ハ見込ガ立チマセヌ故ニ、實ニ遺憾ナ
ガラモ各地方ノ要求通り應ジ兼ネルト云フヤウナ有様デ、誠ニ本官ニ於テモ
遺憾デハゴザイマスルガ、今ノヤウナ財政上ガ第一根本ニナル譯デゴザイマ
スカラ出來マセヌ、ソレデ高等學校ハ丁度、山口ノ擴張、岡山ノ創設中デゴザ
イマスガ、定メテ是デハ不十分デアル、甚ダ今日教育上ノ發達ニ附イテモモウ
少シ奮發シテ政府ガヤッタナラバ宜カラウト云フ御意見ガアルカモ知レマセ
ヌケレドモ、前途ノコトノ即チ財政上ニ關係ヲ致ス譯デゴザイマスカラ已ム
ナ得マセヌ、ソレダケノコトヲ概略申述ベテ置キマスル、第一ノ御質問ハ何デ
ゴザイマシタカ、チヨットモウ一應承リタウゴザイマス

○久保田讓君 是ハ師範學校ノ改築ノコトデゴザイマシタガ、唯今ノ御答ノ
中ニ師範學校ノコトガアリマシタカラソレデ分リマシタ、尙ホ續イテモウ少
シ伺ヒマス、唯今ノ御答デ師範學校ノ改築ハ追加豫算デ出スト云フコトハ分
リマシタガ、國語調査會ノ科目ハナイケレドモ修身書ノ編纂ノ中ニ於テ調査
ナスルト云フコトデゴザイマシタガ、是ハ私ハ甚ダ了解チ致シ兼ネル、修身書
ノ編纂ト云フコトハ小學校デ用ヒル修身書ノ書物ヲ持ヘルコトト考ヘマスカ
ラ、玆ニ於テ此國語ノ調査ナスルト云フコトハドウ云フ方法ヲ以テ調査ガ出
來マスルデゴザイマセウカ、甚ダ私ニハ了解チ致シ兼ネルノデアリマス、ソ
レカラ此説明ニ於テモ左様ナコトハ少シモナイ、始メテ唯今文部大臣ニ伺ヒ
マシタガ、ドウ云フ方法デ修身書ヲ編纂シ及國語ヲ調査スルコト云フコトヲ
委シク御説明ヲ請ヒタイ、ソレカラ大學及高等學校ノ増設ニ附キマシテ、高等
學校ノコトハ唯今ノ御答デ分リマシタガ、大學ノコトニ附イテハ未ダ御答ガ
ナイケレドモ、多分高等學校ト同ジ理由ヲ以テセラル、ノデアラウト存ジマ
ス、ソコデ高等學校ハ岡山ニ一校ヲ設ケ、山口ニ人數ヲ増ス、之ヲ以テ當分目

下ノ急ニ應ズルト云フ御答デアリマシタガ、今日ノ學事ノ進歩ヲ致シタ有様
ハ如何デアリマセウ、中學校ノ卒業生、小學ヲ卒業致ス者ハ非常ナ數デアリ
マス、連モ一校ヲ増設シ僅ニ人數ヲ増シタ位ノコトデハ此要求ニ應ズルコト
ハ出來マイト考ヘマス、併ナガラ財政ガ許サヌケレバ致シ方ガナイト云フ御
答デアリマスルガ、是モ財政上ノコトデアレバ強ヒテ彌縫シテ立テロト云フ
コトハ出來マセヌガ、私共財政上ノコトデ考ヘテ見マスルニハ、丁度文部大
臣カラ唯今御答ノアツタ通りニ創立費ハ地方カラ寄附ヲ致ス、ソレカラ或ル縣
ニ於テハ經常費マデモ寄附ヲ致ス、斯ウ云フコトデアリマスカラ、今兩三年ノ
所ハ政府ノ支出金ニハ聊カ影響ハナイノデアリマス、ソレデ三十五六年度以來
ハドウ云フコトニナルカト申シマスルト、昨年度大藏大臣ヨリ……

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレハ質問デスカ

○久保田讓君 ハイ、此財政上ノコトニ附キテ委シイコトヲ申述ベルノデア
リマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 申述ベルト云フノハ質問デスカ

○久保田讓君 サウデゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 質問ノ理由デスカ

○久保田讓君 ハイ

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ質問ノ要點ヲ御述チ願ヒタイ

○久保田讓君 勿論要點ヲ述ベル積リデゴザイマス、十年ノ財政經畫ト云フ
モノヲ昨年度大藏大臣カラ出サレテアリマスガ、ソレニ依リマスルト三十三年
度ニ於テ新事業費及償金償却等ト云フ科目ガアツデ、ソコニ於テ五百萬圓ノ金
ガ財政上デ充テアル、ソレカラ三十四年度ニ於キマシテハ千三百萬圓ノ金
ガアリマス、ソレカラ五年度ニ於テハ二千萬圓ノ金ガアル、六年度ニ於テハ
二千二百萬圓ノ金ガアル、斯ウ云フコトニナツテ、即チ是ガ新事業費ニ充テ
ル財政上ノ經畫ガ出來テ居ルノデアリマス、サスレバ今日必要ナル所ノ高等
學校ヲ地方ノ寄附金デ御立テニナツテモ二十五年以後ハ之ヲ維持シテ行ク
上ニ差支アルマイ、一學校ニ附イテ五萬圓カ六萬圓ノ金デアアルカラ左程困ル
ヤウナコトハアルマイト考ヘマスガ、ソレデモ矢張り此教育ノ事業ニハ是等
ノ金ハ使フコトハ出來ヌト云フ理由ガアルナラバ其理由ヲ御示ニナルヤウニ
致シタイ、是ダケサ……

〔國務大臣伯爵樺山資紀君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(伯爵樺山資紀君) 唯今修身教科書費ノ中デ此國語調査ヲヤルノ

ハドウデアアルヂヤラウト云フ御質問デゴザイマシタガ、修身教科書費ノ中デハゴザイマセヌ、是ハ丁度編纂費ノ中デ修身教科書トソレカラ國語調査費ト區別シテアルノデゴザイマス、サウ云フコトガ能ク豫算上ニ明瞭ニ見エマセヌカラ定メテ御疑モアルデゴザイマセウガ、決シテ修身教科書費ノ中デアルノデハゴザイマセヌ、別デゴザイマス、ソレカラ今ノ大學増設ノコトデゴザイマスガ、是モ高等學校ト同一ニ今日ノ場合デゴザイマスカラ、ドウモ増設シマスルト云フコトモ甚ダ本官ニ於テ見込モ附キマセヌデ此年度ニハ請求シマセヌデヤッタ、ソレカラ高等學校ノ設立等ニ附キマシテ創立費維持費マデモ地方ヨリ支辨スルト云フコトモアルト云フ御話モゴザイマシタ、是モ私モ承ツテヨルコトモゴザイマス、是ハ兎角サウシマスルト云フト殆ド縣立ト云フ場合ノ高等學校ニナルノデ、ソレニ附キマシテハ未ダ政府ニ於テモ別段詮議モシマセヌカラ今日ハドウドウト云フ見込ノコトヲ御答スルコトハ出來マセヌ、ソレダケヲ申シテ置キマス

○久保田讓君 唯今御尋申シタ財政經畫ノコトニ附イテ御答ガナイヤウデアリマスガ……

〔政府委員阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(阪谷芳郎君) 財政經畫ノ御尋デゴザイマスルガ、將來金之餘ッタラバドウスルカト云フ御尋デゴザイマスガ、ソレハ借入金ノ償却ニ充テマシ、又相當年度ニ於キマシテ必要ナル事業ニ充テテ行ク積リデゴザイマシテ、今日ニ於テ未ダ是ニ充テルト云フコトハ定ッテ居リマセヌ

○久保田讓君 サウ云フコトヲ聞イタノデハアリマセヌ、新事業費ニ充テルト云フコトガアリマスカラ、ソレヲ一切此必要ナル教育費ニ充テルトコトガ出來ヌト云フノハドウ云フ譯カト云フコトヲ文部大臣ニ御尋申シタノデアリマス

〔國務大臣伯爵樺山資紀君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(伯爵樺山資紀君) 今教育費ニ附イテ何カ財政上ノコトノ御尋ガアッタト云フコトデスガ、ドウ云フ御意向ノ御問カ、モウ一應伺ヒタウゴザイマス

○久保田讓君 先刻議長カラ差止メラレル程委シク申シマシタガ、又再ビ申シマスガ……

○國務大臣(伯爵樺山資紀君) ソレハ承ツタ所デハ大藏省カラ何カ歳入歳出ノ表ガアッテ、ソレニ依ッテ見ルト云々ト云フ御意見デアアルヤウデゴザイマ

シタガ……

〔久保田讓君「モウ一應述べマスカ」ト述フ〕

ソレハ財政上ノコトニ附キマシテハ到底大藏ノ當局者デゴザイマセヌト本官カラソレヲ辯明シマスルト云フ譯ニハ行キマセヌ

○久保田讓君 文部大臣カラ御辯明ガ出來ナケレバ、ソレハ儲措イテ更ニ一箇條伺ヒタイノハ、先刻文部大臣カラノ御説明ノ中ニ在リマシタガ、山口ノ高等學校ノ規模ヲ擴張スルト云フコトデ、即チ八千九百圓バカリ此豫算ニ載ッテ居リマスガ、是ハ當年始メテ此豫算ニ載リマシタノデ、金額ハ甚ダ少イコトデアリマスガ其關係ハ隨分大キナ關係デアラウト思ヒマス、今日ノ現在ノ制度ニ依リマスレバ山口防長私立教育會カラシテ此學校ヲ維持スルニ足ルダケノ金額ヲ政府ニ寄附シテ、サウシテソレヲ官立學校ト同様ニ認メラレテ居ルノデアアル、尙ホソレニ附イテ文部省カラモ訓令ヲ出サレテ斯ウ云フ學校ハ其學校ヲ設立維持スルニ十分ナル利子ヲ生ズル所ノ確實ナル基本金ヲ寄附シナケレバ之ヲ許可スルコトハナラヌト云フ訓令ガ地方ヘ一般ニ出テ居リマスノデ、即チ此學校ハ一切寄附金ヲ以テ支辨スルト云フコトニナッテ居ルノデ、ソレナ此度國庫カラシテ此學校ニ金ヲ支給サレルト云フコトハ現行ノ法令トハ矛盾ヲ致シテ居ル、是ハドウ云フ御詮議デ斯様ナコトニナルノデアラウカ、委シク御辯明ヲ請ヒタイ

○政府委員(奥田義人君) 御答ヲ致シマスルガ、唯今久保田様ノ御質問ニナリマシタ通りニ現今ノ法令トハ矛盾ヲ致シテ居リマス、此豫算ガ通過スレバ現行ノ法令ヲ改正スル積リデアリマス

○子爵曾我祐準君 チョット承リタウゴザイマスガ、豫算ガ通過スレバ法令ヲ改正スルト云フノデアリマスガ

○政府委員(奥田義人君) 勅令デ出テ居リマスデ、此豫算ノ通過ヲ俟チマシテ法令ヲ改メルト云フ……

○久保田讓君 其法令ヲ改メルト云フノハ、ドウ云フコトニ御改ニナルノカ、此豫算ノ説明ニハ少シモサウ云フコトハ見エテ居リマセヌ、唯通例ノ官立學校ノ擴張ニ政府ガ金ヲ出スノト同ジコトデ少シモ説明ハナイ、ソレデドウ云フコトニ改メルノカ、其改方ヲ承ラヌト是ニハ色々關係ガアラウト思ヒマス、例ヘバ山口高等學校ハ全ク一ノ私立デアアル、山口ノ私立防長教育會カラ寄附金ヲシテ山口人ヲ養成スルト云フ目的デ立ッテ居ル、從ッテ財産杯モ一旦寄附ニナッテ居ルガ、此學校ヲ廢スルトキニハ山口ニ返スベキモノデアアル、ソレカ

ヲ山口高等學校ニハ評議員ト云フモノガアリマシテ、一體學校長ハ文部大臣
ガ選ブモノデアアルノニ評議員カラ推選シテ、サウシテ政府デ任命スルト云フ
コトニナツテ居ル、ソレカラ生徒ノ特權トシテ山口人ハ授業料ヲ拂ハズ或ハ
減ジテ其他ノ費用モ少クシテヤルト云フヤウナコトガ出來テ居ル、是等ノコ
トモ一切改正ニナルデアリマス、改正ニナレバドウ云フ風ニナリマス
カ、ソレカラ官金ト私金ト相混ズルト云フコトニナリマシタナラバ財産ノ處
分權ハ會計法ニ於テドウ云フコトニナルデアアルカ、ソレ等ノコトヲドウ
委シテ御説明ヲ得タイ

〔政府委員奥田義人君演壇ニ登ル〕

○政府委員(奥田義人君) 此山口ノ高等學校ハ御承知ノ通りニ費用ハ此防長
教育會ノ資金ノ利子カラ出テ居リマス、ケレドモ官立ト云フコトニナツテ居リ
マシテ以前ニ於テハ山口縣人ニシテ生徒タル者ニハ一種ノ特權ガアリマシタ
ノデアリマス、今日ニ於テハ他縣カラ這入リマシタ所ノ生徒ト山口縣人
ニシテ生徒タル者ト少シモ變リハアリマセヌ、同ジク同様ナル授業料ヲ納メ
同様ナル教授ヲ受ケテ居ルコトニナツテ居リマス、ソレカラ此資金ヲ以テ仕拂
ヒマシタ財産上ノ分離杯ノコトニ附イテ御質問デアリマシタガ、是ハ殘餘ガ
アリマシタ時ニハ其殘餘ト云フモノハ即チ政府支出金デアアル、ト云ヒマス
ノハ先ヅ第一ニ授業料ノ經費ニ使ヒマシテ、ソレカラ資金ヨリ生ジマシタ所
ノ利子ヲ使ヒ、然ル後ニ政府ノ支出金ヲ使フ、斯ウ云フ順序ニナツテ居リマ
ス、若シ年々ノ經費ノ上ニ萬一ニモ殘餘ガ生ジマシタ時ニハ其殘餘金ト云フ
モノハ政府ノ資金デアアル、ソレハ勿論學校ノ維持資金ニ編入ナ致シマスル
デアリマス、ケレドモ、萬一此學校ト云フモノヲ解散デモ致シマスヤウナコ
トニナリマスレバ其殘餘テ居ル所ノ維持資金ハ政府ニ歸屬スルコトニナリマ
ス、ソレカラ此勅令ヲ改正スルノハ如何ナル工合ニ改正スルデアアルカト云
フ御質問デアリマスガ、是ハ或ル場合ニ於テハ政府ヨリ幾分カノ支出金ヲ爲
シテ此經費ヲ補足スルコトノ出來得ルヤウニ改正ナ致ス積リデアリマス
○久保田讓君 尙ホチヨット伺ヒマス、サウスルト政府ノ支出金ト云フモノ
ハ補助金ト云フモノノ性質ニナルモノデアアルカ、或ハ寄附金ト云フモノヲ今
日マデノヤウナ條件ナシニ全ク無條件デ政府デ支給スルト云フコトニナル
デアアルカ、ソレハドウ云フコトデアリマスカ
○政府委員(奥田義人君) 其條件ハ今マデノ通りニ今日ノ所デハナツテ居
ルデアアル、マダ變ヘデアリマセヌ

○久保田讓君 今度變ヘラレタ上ドウナル

○政府委員(奥田義人君) 變ヘマシタ上ニハ從來寄附ニナリマシタノガ即チ
指定寄附ニナツテ居リマス故ニ、從來寄附ニナリマシタモノニ附イテハ向フ
ニ返サナケレバナラヌコトニナルデアラウ、併ナガラ政府ノ支出金ヲ以テ買
上ダマシタモノハ矢張り政府ニ歸屬スルコトニナル

○久保田讓君 サウスルト政府デ出シタ金トソレカラ山口ノ教育會カラ出シ
タモノト區別ノ明ナラヌモノハ……

○政府委員(奥田義人君) 明ナラヌ分ハ致方ハアリマセヌカラ政府ノ損失ニ
歸スル

○久保田讓君 豫算ヲ見ルト豫算ニハサウ云フ區別ハ決シテ附イテ居リマセ
ヌ、政府ノ支出金ト山口縣ノ寄附金トソレチ一様ニサレルデアアルカラ、此品
ハ政府ノ支出金デ買ツタカ、此品ハ寄附金デ買ツタト云フ區別ハ出來得ナイコ
トト思ヒマスガ、若シ是ガ補助金ト云フ性質デアアルナラバ、ソレハソレデ差
支ナイ、併ナガラ補助金デハナイ、政府ノ支出金ト指定寄附金トハ別ダト云
フト財産ノ區分ハハツカシカラウト思フ

○政府委員(奥田義人君) ソレ等ノコトニ附キマシテハ雙方ノ契約ニ依ッテ
委シク條件ヲ定メル積リデアリマス、ソレ等ノ不都合ハナイヤウニ當局
者ニ於テ致ス考デゴザイマスカラ其御積リデ……

○久保田讓君 是ハ先ヅ私ハムツカシカラウト思ヒマスガ、政府デ出來ルナ
ラバ宜カラウト思ヒマス、モウ一ツ伺ヒタイコトハ、山口ノ學校ヲ擴張スル
爲ニ即チ高等學校ヲ増設スル爲ニ、山口ノ學校ヲ擴張サレルト云フコトハ、
ソレモ宜シウゴザイマセウガ、併シ此豫算ヲ見ルト山口カラ寄附スル所ノ
金ハ減ツテ居ル、昨年ハ三萬圓寄附ナ致シタ、ソレガ今年ハ五千圓減ツテ居
ル、ソレカラ前年度繰入金モ二千五百圓デアッタノガ當年ハ千圓減ツテ居
ル、詰リ六千圓山口縣カラ出ス金ハ減ツテ居ル、一方ニハ減ジテ置イテ、向
フカラ出ス金ハ減ジテ置イテ、サウシテ政府カラ之ヲ是非補給ナシナケレバ
ナラヌト云フコトノ理由ハ、先刻文部大臣ノ御話ニナツタ所ノ生徒ヲ多ク養
テ擴張ナシヤウト云フコトノ理由トハ少シ矛盾ナシテ居ルヤウニ思ヒマス、
ソレハ如何デアリマセウカ、尙ホサウ云フ方ノ側カラ申セバ、例ヘバ今日高等
學校ヲ設ケルニシテモ政府ノ財政ノ許サヌガ爲ニ地方カラ寄附金ヲ致ス、師
範學校ヲ建テルニシテモ、實業學校ヲ建テルニシテモ、政府ノ財政ノ困難ノ
爲ニ地方カラ寄附金ヲ致シテ居ル、然ルニ山口縣ノ高等學校ニ限ッテハ山口

縣ヨリハ少シモ金ハ出サナイ、サウシテ國庫ヨリハ是非此金ヲ出シテヤルト云フコトハ少シ他ノ縣ト權衡ヲ失シテ居リハシナイカト私ハ考ヘル、ソレハ如何ナモノデアラウカ、ソレカラ今一ツ山口ノ高等學校ト鹿兒島ノ造士館ト云フモノハ是ハ相並ンデ同時ニ出來タモノデ、同ジ事情ノ下ニ出來タモノデア、然ルニ鹿兒島造士館ハ折角發達シテ居ル際ニ臨ミ文部省カラ高等學校令ノ改正ニ遇ウテ、其爲ニ文部省カラ潰サレテシマッタ、鹿兒島造士館ノ教員生徒ニ於テハ非常ナ不幸ヲ被ッテ居ル、山口ノ高等學校ハ其時ニ高等學校ノ規則ヲ遵奉シナカッタ、即チ專門學科ト云フモノヲ置クベキデア、ルヲ置カズニ置イテ、サウシテ延期ヲ請ウテ居リマシタ、ソレデ今日マデ段々續イテ來タ所ガ、又此高等學校ノ主義ガ變ッテ來テ、山口學校ヲ潰サナカッタノガ甚ダ得策デアッタ、教育ノ爲ニ得策デアッタ、ソレカラ全國ノ教育ノ爲ニモ宜カッタ、鹿兒島ハ文部省ノ命令ニ從ッテ廢シタ爲ニ大變ナ不幸ヲ被ッタ、ソレデ鹿兒島デハ今度更ニ造士館ヲ置クト云フ經畫ヲ承ッテ居ル、サウ云フ次第デアリマスカラ鹿兒島造士館ヲ共ニ補給ナシテ、サウシテ高等學校ヲ起スノガ必要ト思フガ、山口ノミニ補給ナサレテ鹿兒島造士館ハ其儘ニシテ置クノハ如何ナルコトデア、ルカ、ソレ等ノ所ヲ委シテ御説明ヲ請ヒタイ

〔政府委員奥田義人君演壇ニ登ル〕

○政府委員(奥田義人君) 此山口高等學校ノ資金ノコトハ多分久保田サンニ於テモ御承知アラセラルコトデアリマセウガ、從來諸種ノ株券杯デ是ハ成立ッテ居リマシタノデアリマスガ、其財産ヲ確實ニ致シマスルガ爲ニ悉ク公債證書ニ致シマシタ、ソレ故ニ防長教育會ノ資金ヨリ生ジマスル所ノ利子ト云フモノニ減額ヲ生ジテ參リマシタ、ソコデ從來ハ三萬圓其利子ヨリ寄附ニナッテ居リマシタノガ其減額ノ爲ニ二萬五千圓ヨリホカ寄附スルコトガ出來ヌト云フコトニナリマシタノデゴザイマス、ソレデ此減額ヲ補足致シマスルノト、ソレカラ又一方ニ於テ從來三百人ノ定員ノ生徒ヲ五百人ニ増シマスルノト、今度ノ支出金ヲ要スル譯ニ相成ッテ居ルノデアリマス、ソレカラ今日ノ場合諸府縣カラ高等學校設置ノコトハソレゾレ申出モアル、然ルニソレ等ノコトハ一向許可ナセズニ置イテ獨リ山口ノ高等學校ニノミ此支出金ヲ爲スノハ權衡ヲ得ヌト云フ御質問ト承リマシタガ、左様デアリマシタカ

○久保田讓君 左様デアリマス、政府カラ支出金ヲスルニ拘ラズ山口縣カラハ金ガ出テ居ラヌ、山口縣カラ金ヲ出シテ居ラヌノニ文部省カラ直チニ金ヲ

出スト云フノハ他ノ府縣ニ比シテ權衡ヲ得ヌト思フ

○政府委員(奥田義人君) ソレハ強ヒテコチカラ寄附金ハ出サセルコトハ出來ヌ性質ノモノデアリマスカラ、山口縣ヨリ致シマシテ此山口高等學校ノ爲ニ斯ク斯クノ寄附ナスルト云フ申出ガアリマスルナラバ無論政府ハ許可ナスルデアラウト思ヒマスガ、今日マデハ左様ナ申出ガアリマセヌニ依ッテ、其事ガナラズニ居ル譯デアリマス、デ其寄附金ヲ爲ス場合ニ於テハ無論又政府ヨリ支出ナシテ補足ナシナケレバナラヌ必要ハナイカモ知レマセヌケレドモ、目下ハ左様ナコトガアリマセヌニ依ッテ此學校ヲ維持シテ、サウシテ尙又之ヲ擴張シテ行クニハ是ダケノ費額ノ支出ヲシナケレバナラヌト云フ主意ヨリ之ヲ提出致シタノデアリマス

○久保田讓君 縣ニ政府カラ交渉ニナッテ居リマスカ、金ヲ出スコトガ出來ルカ出來ヌカト云フコトナ……

○政府委員(奥田義人君) シタコトハアリマセヌ

○久保田讓君 併シ是マデ段々交渉ニナツタコトガアリマセウ

○政府委員(奥田義人君) シタコトハアリマセヌ、寄附金ト云フモノハ向フカラ申出ニナッテ、ソレカラ政府ノ方デ交渉ヲ致シマスノデアッテ、コチラカラ交渉ナシテ掛ルト云フコトハ是マデアリマセヌ

○久保田讓君 ソレカラ鹿兒島ノ造士館ハ……

○政府委員(奥田義人君) ソレカラ鹿兒島ノ造士館ノコトハ當局者ニ於テモ再興ノ經畫ヲ致シマシタノデアリマスガ、實ハ此高等學校ノコトニ附キマシテハ御承知ノ通り今度岡山ニモ新ニ立チマスルシ、彼是今日ノ二ツノ大學ニ之ヲ收容致シマスルニハ此上、高等學校バカリ殖ヤシマシテハ其權衡ヲ得ナイコトガ起リマス、今日ノ二ツノ大學ニ收容致シマスルニハ今度ノ岡山ト山口ノ高等學校ガ擴張シテ參リマスル、其生徒ヲ收容スルニハ足ルデアラウト云フ見込デ出來テ居リマスノデ、此上新ニ高等學校ヲ立テマシテ、ソレヨリ卒業シタ者ガ續々出テ參リマスルト、一方ニ大學ノ増設カ出來マセヌト云フト其卒業生徒ヲ收容スル途ガアリマセヌニ依ッテ、此事ハ後トニ廻スコトニ致シマシタノデアリマス

○久保田讓君 チョット御尋シマスガ、サウスルト此上大學校モ高等學校モ立テヌト云フコトナラバ其上ハ議論ニナリマスカラ是ハ申シマセヌガ、鹿兒島ノ造士館其他高等學校ノコトニ附イテハ此頃衆議院ニ於テ段々方々ヨリ建議ガ出テ居マス、ソレカラ九州並ニ東北大學ニ附イテモ遠カラズ建議ガ出ル

趣デアリマス、尙ホ大學校ニ附イテモ本議院カラ建議案ガ出ル答デ賛成ヲ致シテ居ル譯デアリマス、サウ云フ幾多ノ建議ガアツテモ必要ガアツテモ今後ハ斷然……當年ハ設立スルコトハシナイト云フ御決心デアリマスカ、モウ一應

○政府委員(奥田義人君) 當年ハ財政上ノ都合ガアリマスルノデ、前途財政上ノ目途ガ立チマセヌケレバ提出シナイ積リデアリマス、ト云フモノハ御承知ノ通り今日ノ所デ高等學校ヲ設立致シマスルニハ凡ソ三年掛ル、鹿兒島ノハ形ダケハ出來テ居リマスルガ、到底現在ノ有様デハイキマセヌ不完全デ……ドチラニシテモ新ニ立テルト云フトキニハ少クモ三年掛ル、ソレカラ又三年ノ科程ヲ經テ高等學校卒業生ヲ得ルノデアリマスカ、六箇年後ニハ卒業生ト云フ者ガ出ル、其卒業生ト云フ者ヲ入レマスルダケノ大學校ト云フモノガ一方ニ立チマセヌト云フト其連絡ガ附カヌコトニナリマス、故ニ是カラ五六箇年先キマデ財政上ノ目途ヲ立テテ、ソレソレノ經畫ヲ立テマシタ曉デアリマセヌト容易ニ此高等學校ノ増設ニ著手スルコトハ出來マセヌノデ、政府ノ見込デハ先ヅ其前途ノ財政上ノ目途ノ附クマデハ見合セル積リデアリマス、ソレトモ又來年度ニ於キマシテハソレソレノ財政上ノ取調ガ附キマシタ上デハ分リマセヌガ、三十三年度ニ於テハソレ等ノ豫算ハ提出シナイ見込デアリマス

○久保田讓君 分リマシタ

○議長(公爵近衛篤磨君) 文部省所管、御異議ガナケレバ原案ノ通りニ決シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 農商務省所管……御異議ガナケレバ原案ニ決シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 逓信省所管

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナケレバ原案ニ決シマス、是デ歳出經常部ハ終リマシタ、歳出臨時部、外務省所管……御異議ガナクバ原案ニ決シマス、内務省所管……御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ原案ニ決シマス、大藏省所管……御異議ガ

ナクバ原案ニ決シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 陸軍省所管、海軍省所管ヲ併セテ問題ニ供シマス

○子爵曾我祐準君 先刻ノ測量費ノコトハ此部分ニアリマスカ

○議長(公爵近衛篤磨君) チョイト御待下サイ、左様デゴザイマス

○子爵曾我祐準君 測量ノ進歩並ニ後來ノ見込ノ大要ヲ伺ヒマス

〔政府委員中村雄次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(中村雄次郎君) 唯今測量費ノコトニ附イテ御尋デゴザイマシタガ、此測量ノコトハ全國ノ測量ヲ明治二十八年カラ三十年間ニ測量シ終ルノ經畫デゴザイマス、ソレデ始ヨリ三十年間ノ繼續費トシテ提出致シマスルノガ當リ前デゴザイマシタラウト思ヒマスルケレドモ、三十年間ニ互ルノハ長イ日月ニナルコトデゴザイマス故ニ之ヲ五箇年毎ニ切ツテ繼續ノ事業ト致シテ御協賛ヲ經ル方ガ便利デアラウト考ヘマシタノデ、二十八年度ノ豫算デ二十八ヨリ三十二年度マデノ繼續費トシテ御協賛ヲ經マシタノデゴザイマス、其事業ガ本年度デ終リマシタ故ニ三十三年度ヨリ三十八年マデ五箇年間ノ繼續費ヲ請求致シマシタノデゴザイマス、ソレデ此五箇年間ニハ一年ニ八百五十平方里宛測量ヲ致シマス、サウシテ此五箇年ノ事業御協賛ヲ經マシタ繼續費ニ於テソレダケノ測量ヲ終リマス、終リマシタナラバ再ビ五箇年間ノ繼續費トシテ提出致シマスル積リデ、ソレデ日本全國ノ臺灣ヲ除キマシテ明治五十九年ニ至リマシテ全ク内地全國ノ測量ヲ終ルト云フ斯ウ云フ經畫ニナツテ居リマス

○子爵曾我祐準君 其定尺ハ……

○政府委員(中村雄次郎君) 定尺ハ五萬分ノ一、最モ其中デ大キナ都府トカ市ノ大キナ所ノ如キ殊更大キナ定尺ノ必要ナ所ハ二千分ノ一ニシテゴザイマス

〔子爵曾我祐準君「臺灣ハ」ト述フ〕

臺灣ハ此繼續即チ内地ヲ終リマシタナラバ即チ臺灣ニ著手シマスル順序デゴザイマス、ケレドモ或ハ臺灣ハ又此次ノトキニ先ニ持ツテ出マスルカモ知レマセヌ、臺灣ハ凡ソ三箇年間ニ測量シ終ルノ見込デゴザイマス

○子爵曾我祐準君 臺灣ハ此五箇年間ニヤル必要ハナイカ知ラヌト思フノガ一ノ疑、サウスレバ人ガアツテ測量費サヘアッタナラバ別ニ開イテヤル必要ハナイカト斯ウ云フ疑ガアルノデスガ、ドウデスカ

○政府委員(中村雄次郎君) 本當ニ測量シマスニハ三角測量カラ餘程順序ガ入リマス、臺灣ニ直チニ此五箇年間ニ著手シテ其事ヲ致シテ居リマスト内地ノ是マデ致シテ居ル事業ニ大變響ヲ致シマス、若シ之ヲ人カラ養成シテヤッタナラバ臺灣ノ測量モ同時ニ出來マセウガ、唯今ノ經畫デハ此五箇年間ニ測量スルト云フコトハ這入ッテ居リマセヌ

○子爵曾我祐準君 内國ノ或ル部分ヨリ却テ臺灣ノ方ガ急ガナケレバナラヌ事實ガアリハセヌカ

○政府委員(中村雄次郎君) 臺灣ノ測圖モ誠ニ必要デゴザイマス、必要デゴザイマスガ是ハ大體ノ測量ト云フモノニ附イテハ臺灣總督府ノ方デ入用ト云フダケハ取調ベテ即チ著手ニナッテ居リマス、ソレデ正式ノコトヲ致シマスルニハ機關カラ備ヘテ……餘程困難デゴザイマスカラ、ソレデ唯今ハ先ヅ著手ハ後ニ廻シテゴザイマス

○子爵曾我祐準君 此場所ニアリマスカ、何ガ少シ疑ハシウゴザイマスガ、下瀬火藥ノコトガ年々議場ニ現レルヤウデゴザイマス、海軍ノ部デゴザイマス、未ダ是ハ結了セヌノデゴザイマスカ、承リタウゴザイマス

〔政府委員齋藤實君演壇ニ登ル〕

○政府委員(齋藤實君) 下瀬火藥ノ製造ハ本年度カラ……本年度ノ終ニ於テ著手スルコトガ出來ルヤウニナリマシタ

○子爵曾我祐準君 マダ著手ニナッテ居ラヌデスカ、モウ三五年前カラ此爲ニハ國庫カラ毎年拂ッテ居ル

○政府委員(齋藤實君) 新シイ製造場デヤリマスノガ唯今申シマシタノデ、今日マデ實驗ヲ致シマシタリ種々ヤッテ居リマスノハ造ッテ居リマスノデゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 陸軍省所管、海軍省所管、御異議ガナクバ原案ニ決シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 次ニ司法省所管……御異議ガナクバ原案ニ決シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 文部省所管……御異議ガナクバ原案ニ決シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 農商務省所管、逓信省所管、併セテ問題ニ供シマス

○子爵曾我祐準君 農商務省ノ部ニ製鐵所ノコトガアルカト思ヒマス、ソレハドウ云フ運ビニナッテ居リマスカ、抑、此製鐵所ト云フモノハ政府ガ始メテ提出セラレタ所ノ金額デハ甚シキ不足デアッテ段々追加ニナッテ居ルヤウナ次第ニ覺エテ居リマスガ、現在ノ有様並ニ後來ノ大略ノ見込ヲ承ッテ置キタウゴザイマス、今日デハ鐵ノ必要ハ益々感ジテ來マシタノニ此製鐵所ノ拂リガ思ハシクナイハ國家ノ爲ニ憂フベキコトデアル、抑、此案ハ本院カラ建議ニモナッタコトデゴザイマスシ旁々承リタウゴザイマスカラ説明ヲ請ヒマス

〔政府委員和田維四郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(和田維四郎君) 私カラ御答シマスルガ、製鐵所ノ創立ノ工事ハ三十四年度マデノ繼續費デ唯今丁度其半デゴザイマス、併シ本年度カラハ工場ノ一部分ガ落成シマスルカラ次年度ノ初カラ一部分作業ニ移ル積リデアリマス、其作業ニ移リマス部分ハ鑛鑛爐ニ基ノ中一基ダケハ現今既ニ略々工事ヲ終リマシテゴザイマスカラ、是ハ五六月頃カラ火ヲ入レ始メマスカラ、其結果ニ依リマシテハ引續イテ作業シテ行ク積リデゴザイマス、次ニ鋼ノ製造場モ一部分ハ六七七月頃ニ成功シマスル見込デゴザイマスカラ成功次第ニ其部分ハ始メル積リデアリマス、ソレト同時ニ……ノ工場ノ中一部分、丁度本年始メマスル部分ハ小サナれ……ノソレカラト棒トカ板トカ云フ部分ダケデ、大キナ鐵道ノれ……ハ本年ノ終ニナラウト思ヒマス、兎ニ角一小部分ハ六七八月頃ニ出來マスルカラ是モ同時ニ始メマスル積リデアリマス、今日ノ豫定デハ遅クモ八月ノ半後ニ至リマスレバ製鐵所ノ各部ノ仕事ノ一部分ダケハ作業ニ移ッテ居ルダラウト云フ見込デゴザイマス、先ヅ現在ノ有様ハソコニ運ンデ居リマス

○子爵曾我祐準君 本年末ニ至ルトれ……モ出來ルト仰ッシャルノデスカ

○政府委員(和田維四郎君) れ……モ本年末ニ出來ヤウト思ヒマス、遅クモ來春ニハ出來マス

○子爵曾我祐準君 而シテ其れ……ナリ鐵板ナリ今日ノ歐羅巴ノ價ニ比シテドンナコトニナリマスカ、サウシテ尙ホ一箇條御尋スルノハ、鐵ノ原料ト云フモノハドウシテ得ラレマスカ、内地ノ物デアルカ、或ハ外國ニ仰グカ、外國ナラバ何所デアルカ

○政府委員(和田維四郎君) 品物ノ中デ出來マスルモノハ先程チヨット申上ゲマシタ通り工場ノ都合ニ依リマシテ初ニ出來マスルノハ小れ……ト棒板ノ

ヤウナ物ハ却ッテ先ニ出來マスケレドモ、鐵道ノレハ製鐵所ノ工場ノ中、一番大キナ工場デゴザイマスデ少シ時ヲ費シマスルガ現今ノ有様デゴザイマスカラ精々急イデ居リマスカラ本年度ノ末ニハ落成スル積リデゴザイマス、其價格ハ無論、作業事業デゴザイマスカラ外國ノ輸入品ノ比較ヲ以テ定メル積リデゴザイマス、デ先ツ外國ノ輸入品ヨリハ高クハ賣ラナイ幾ラカ安ク賣ルト云フ積リデ拵ヘテ居リマスガ、其經濟上ニ至リマシテハ此頃餘程鐵ノ材料が高ウゴザイマスカラ無論、創立ノ際豫算シマシタヨリモ製鐵所ノ利益ハ從ッテ多カラウト思ヒマス、原料ノ御尋デゴザイマスガ、原料ハ主トシテ内地ノ材料ヲ取ル積リデゴザイマス、其中石炭ノ方ハ製鐵所自ラガ既ニ山ヲ買入レマシタカラ自分ノ山カラ買入レルノガ大部分デ、殊ニこゝろノ方ノ石炭ハ皆自分ノ山カラ採掘シマス、鐵鑛ニ至リマシテモ製鐵所ノ山ハアリマスケレドモ尙ホ其他ニモ民間所有ノモノヲ買入レル、其重ナルモノハ東北地方デゴザイマシテ、一方ハ新潟港ニ依ッテ輸出スルモノ、一方ハ巖手縣ガ重ナル産地デアリマスカラ、ソレハアノ附近ノ港カラ輸出スルヤウナ都合ニナラウト思ヒマス、現在既ニ約束シテ居リマスノガ釜石一箇所デゴザイマス、外國ノ材料ハ支那ノ漢口ノ製鐵所附屬ノ大冶ノ鐵山ノヲ買フ約束ヲ昨年結ビ、此頃實ハ實行スル積リデ態々官吏上海ヘ派出シテ居ル有様デゴザイマスルガ、是ハ始終支那内地ノ困難モゴザイマスルカラ主トシテ之ニ依ルト云フ考ハゴザイマセヌ、ソレハ取得ラレルダケハ取ル積リデゴザイマス、尙ホ概略五萬噸バカリヲ支那カラ取ル積リデゴザイマス、今日ノ有様デハ先ヅ其狀況ニナッテ居リマス

○子爵曾我祐準君 何萬噸バカリノ中ノ五萬噸デアリマスカ、凡ソノ見込デハ土地ニ依ッテ違ヒマセウガ、今カラ五萬……内地デドノ位、サウシテ隨分御見込デハ原料ニ窮スルヤウナコトガナイカ否ヤト云フコトモ併セテ伺ヒタイ
○政府委員(和田維四郎君) 三十四年度ノ作業ガ終リマスルマデハ鐵鑛ノ原料ハ十一二萬噸一箇年宜カラウト思ヒマス、支那ノガ約定ノ都合モゴザイマスルシ其中五萬噸ノ積リデアリマス、ソレカラ三十四年度ノ作業ガ終リマシタナラバ其量ハ少クモ倍ニナル、先ヅ二十萬噸以上デゴザイマスルガ、其間ニハ鑛鑛爐ノ作業ガ熟練シテ來マセウト思ヒマスカラ、サウスルト從ッテ材料ヲ餘計即チ製造高ナ殖スコトニナリマシテ、モウ少シ殖エヤウト思ヒマス、ソレハ材料ノ供給ハ内地ダケデモ十分ノ見込デゴザイマスルガ、唯御承知ノ通り鐵鑛ハ重ニ古イ地質ノ中ニ在ルモノデゴザイマスルカラ、其古イ地質ト云

フ奴ハ兎角海岸カラ遠イデアリマス、ソレ故ニ鐵道道路等ノ便利ガ開ケルニ從ッテ鐵鑛ノ供給ハ益々殖エテ來ル有様デゴザイマスルノデ、今日ハ自ラ鐵道ヲ敷クカ或ハ他ノ鐵道ヲ延長セシメナケレバ鐵鑛ノ採掘ガ出來ナイト云フ場所ハ殆ド皆其有様デアリマス、ソレ故ニソレ等ノ準備ニ一二年、時ヲ費シマスカラ此兩三年ノ所ガ最モ供給ノ不便ナ時デゴザイマス、丁度其時期ハ製造所ノ方ノ工事モ半分ノ作業デアリマスカラ丁度相俟ッテ差支ナカラウト云フ見込デゴザイマス、作業ノ始マリマス時分ニハ十分ニソレ等ノコトハ出來ヤウト思ヒマス

○子爵曾我祐準君 モウ一ツ伺ヒマス、支那ノ大冶ノ鐵ハ新聞紙杯デ見ルト日本ノこゝろスツ換ヘルト云フヤウナコトニナッテ居リマスガ、サウデスカ
○政府委員(和田維四郎君) 初支那ノ當局者カラノ申出ハ日本ノこゝろスツ大冶ノ鐵鑛若クハ銑鐵ト交換シタイト云フ見込デアリマス、然ルニ銑鐵ハ内地デハ即チ製鐵所デ拵ヘル方ガ安ク出來マスカラ無論交換ノ材料ニナリマセヌ、ソレカラ内地ノこゝろスツ支那ヘヤルト云フコトハ内地ニ於テ材料ハ供給ハ出來マスルケレドモ大體ノ上ニ附イテ現在ノ所デハ協議ガ調ハナイノデアリマス、其譯ハ支那ノ漢口ノ製鐵所ハ今日デハ開平ノこゝろスツモウ一ツピンシャント云フ所ノこゝろスツ使ッテ居リマス、所ガピンシャントこゝろスツハ大變安ク出ル見込デ支那ノ製鐵所ハ居リマス、故ニ日本カラ持ッテ行キマスこゝろスツデハ直段ガ高クナリ過ギル、ソレデ先ヅこゝろスツ交換ト云フ問題ハ他日ノ評議ニ讓ッテ今日ノ所デハ鑛石ヲ買フト云フコトガ主ニナッテ居リマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 農商務省所管……御異議ナクバ原案ニ決シマス
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○子爵内藤政共君 チョットマダ伺ヒタイコトガアリマス、マダ質問シタイコトガアリマスカラ質問シテ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵近衛篤磨君) モウ決メマシタ、質問ナシテ惡ルイト云フコトハナイデスガ、モウ決議ニナッテ居ル

○子爵内藤政共君 今質問シヤウト存ジマシタ所ガ、議長ガ御宣告ニナリマシタカラ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 別ニ規程ニ觸レルト云フ譯デハナイガ唯少シ時機デハアリマセヌカラ……

○子爵内藤政共君 遞信省所管ノ第一款第一項ノ八十八萬圓ト云フモノハ是

ハ何時カラ何時マデノ分デアリマスカ、チヨットソレダケナ何ヒタイ

〔政府委員古市公威君演壇ニ登ル〕

○政府委員(古市公威君) 御答申シマス、是ハ三十二年ノ十月カラ三十三年ノ九月一パイノ分デアリマス

○子爵内藤政共君 サウ致シマスルト三十二年ノ十月カラ今年ノ……三十二年ノ四月マデノハ昨年ノ豫算書ニ這入ッテ居リマセヌカ

○政府委員(古市公威君) 居ラヌノデアリマス、半季宛後レテ居リマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 次ニ歳入經常部、歳入臨時部、併セテ問題ニ供シマス

○子爵曾我祐準君 郵便税ノ結果ハ政府ガ豫期シタノト、ドンナモノデアリマスカ、竝ニ煙草ノ專賣、此二ツノ政府ノ初メ出シタニ對スル結果ヲ承リタウゴザイマス

〔政府委員久米金彌君演壇ニ登ル〕

○政府委員(久米金彌君) チヨット御尋ノ主意ガ能ク分リマセナダガ……

○子爵曾我祐準君 三十三年度ノ豫算ヲ御組ミニナッタノハ三十二年度ノ何時マデカ現計ニ依ッテ御出シニナッタデアラウト信ジマス、郵便税即チ増シタデアリマスガ、今日マデノ實驗ニ據レバ其増シタ高ハ政府ノ期圖サレタモノニ對シテ如何デアルカ、之チ一ツ、煙草モ同様

○政府委員(久米金彌君) 御尋ハ三十二年度ニ於ケル實況ハドンナモノデアッタカト云フコトデアリマスカ

○子爵曾我祐準君 ハイ

○政府委員(久米金彌君) 極ク大體ヲ申上ゲルト云フト、郵便税ヲ引上ゲマシタ結果ハ當初政府が見込シテ居リマシタ所トエライ相違ハナイノデアリマス、勿論税率ヲ改正致シマシタ其當時ノ所ニ於キマシテハ多少減額ハ致シテ居リマスル、實ハ月々ノ既ニ調ニナッタ分、即チ昨年ノ十二月マデノ分ハ月々ノ收入ノ取調ベタモノモゴザイマスルデゴザイマスルガ、之チ一々申上ゲルノモエライ混雜デアラウト思ヒマスルガ、矢張り……

○子爵曾我祐準君 イヤ一々承ランデモ宜シイ、大體ニ附イデノ差ヲ……或ハ増シタトカ減ッタトカト云フコトノ大體ヲ承リタイ

○政府委員(久米金彌君) 詰リ此郵便ノ收入ヲ唯今マデ計リマスルニハ凡ソ此三十二年度ニ致シマシテモガ四月カラ翌年ノ三月マデ月々凡ソ是ダケノモノハ這入ルダラウト云フ即チ月々ノ見込額ト云フモノガ出來テ居リマス、其

見込額ト對照致シテ見マスルト、初ノ四月五月六月ト云フ改正ニ近イ時分デゴザイマスルト初メ見込ミマシタ高ヨリハ稍、減ッテ居リマス、然ルニ七八月頃カラ致シマシテ追々反對ニナッテ參リマシテ殖エル傾向ヲ示シテ參リマシタ、ソレデ十二月ノ分デハ初メ見込ミマシタ高ト比較致シテ見マスルト稍、見込ヨリ減ッテ居リマスガ、此先キ一月カラ三月マデノ間ニ於テ其減リマシタモノハ取戻ノ大體出來マス見込ガ附イテ居リマス

○久保田讓君 私モ歳入ニ附イテ何ヒタイ、海關稅ハ昨年ヨリ減ジテ居ルヤウデアリマスガ、是ハ説明ニ依ルト輸出稅ヲ免除シタ等デ減ッテ居ルト云フコトデアリマスガ、此輸出稅免除ノ他ニ何カ減ズル事情ガアリマスカ

〔政府委員阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(阪谷芳郎君) 海關稅ノ減リマシタハ矢張り輸出稅ノ廢止トソレカラ輸入稅ノ中ニ免除ニナリマシタノガゴザイマス、ソレヲ除キマシタ結果カラ減ジマシタ大體ガ算出ノ基礎ハ前年度ノ豫算ヲ基礎トシテ居リマス、其前年度ノ豫算ト申シマスモノハ明治三十年ノ輸入稅チ一々協定稅率ニ依ッテ計算致シマシテ、サウシテ明治三十二年度ノ豫算ハ出來テ居リマス、ソコデ明治三十三年度ハマダ其近イ所ノ數ガ得ラレマセヌ、即チ協定稅率ト云フモノハ三十一年カラ實施ニナリマシタカラ極ク近イ統計ガ得ラレマセヌカラ矢張り三十年ノ實收ヲ押ヘテ置ケバ確デアルト云フ見込デ、即チ三十二年ノ豫算ヲ基礎ト致シマシテ三十二年度ノ豫算ノ中デ廢稅ニナリマシタ所ノ輸出稅、輸入稅ノ一二ヲ除キマシタ其差デゴザイマス

○久保田讓君 實際ハ是ヨリマダ増スコトニナリマスカ

○政府委員(阪谷芳郎君) 實際今日ノ所デハ矢張り月割カラ計算致シマスルト豫算ニ略 近イモノニナッテ居リマス、三月マデニナリマセヌト確ナコトハ得ラレマセヌガ、大體ハ豫算ト大差ゴザイマセヌ

○久保田讓君 本年ノ輸出入ハ前年ト比較シテ増減ハドンナモノデゴザイマスカ

○政府委員(阪谷芳郎君) 本年ノ輸出入ハ大概前年ト同ジ位デゴザイマス、唯輸入ガ少シ減ジテ居リマス

○久保田讓君 ドノ位

○政府委員(阪谷芳郎君) チヨット今、數ハ覺エマセヌ

○久保田讓君 僅デスカ

○政府委員(阪谷芳郎君) 後デ調ベテ御答致シマス

○子爵曾我祐準君 阪谷君ニ序ニ伺ヒマスガ、所得税ノ方ニ五百三萬ト見込
ンデアリマス、是モ三十二年度ニ於テ多少増スヤウニ改正サレタデスガ、
是ハドウデゴザイマスカ

○政府委員(阪谷芳郎君) 所得税ハ大變ニ景況ガ宜ウゴザイマス、法律ヲ制
定致シマシタ年ヨリモ實際所得税調査委員ト云フモノガ決議致シマシタ額ノ
方ガ殖エテ居リマス、即チ七十何萬モ増シテ居リマス

〔政府委員仁尾惟茂君演壇ニ登ル〕

○政府委員(仁尾惟茂君) 曾我子爵ヨリ煙草ノコトニ附イテ御尋ガゴザイマ
シタガ、先ヅ本年度ハ至ッテ良好ナル有様、豫算ガ本年ノ所ハ一千四百萬貫位
ノ豫算デゴザイマス、既ニ十二月マデ收納ヲ致シマシタル所ノ額ガ八百三十
萬程收納ヲ致シマシタ、之ヲ前年即チ昨年ニ比シマスルト、昨年ハ丁度全額
デ八百二十萬貫、本年ハ十二月マデ既ニ八百三十萬貫ノ額ニ達シテ居リマ
ス又賣渡ノ狀況ハ如何デアアルカト云フト、既ニ本年賣渡シマシタ高ガ六百四
十餘萬貫デアリマス、ソレデ昨年ニ比較致シマスレバ本年ハ收納高ニ對シテ
七割五分ノ餘デゴザイマス、昨年ハ六割餘デゴザイマシタ、餘程本年ノ方ガ
結果ガ宜イノデゴザイマス、先ヅ唯今ノ所ヲ以テ推シマスレバ昨年ニ比シマ
シテ總テノコトガ順ニ運ニ參ツテ居リマス、略ニ豫算ノ目的モ達シマセウ
カト思ッテ居リマス、兎ニ角唯今ハ此事業ト致シマシテハ後ニ殘ッテ居リマ
ス一月二月三月ト云フノガ餘程收入ナリ賣渡ナリ多イ時期デアリマス、所謂
收入賣渡事業ニシテ半ノ事業デゴザイマスカラ確言ハ致シ兼ねマスガ、先ヅ
今日マデノ所ヨリ申スト宜イ方デゴザイマス

〔政府委員阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(阪谷芳郎君) 久保田君ノ御問ニ御答シテ置キマスガ、三十二年
ノ輸入ノ全計ガ二億二千萬三十一一年ガ二億七千七百萬、即チ五千七百萬バカ
リ減ジテ居リマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 他ニ御發議ガナクバ採決致シマス、歳入經常部、
歳入臨時部、御異議ガナクバ原案ニ決シマス、次ハ乙號全部ヲ問題ニ供シマ
ス

〔異議ナシ〕ト呼フ者多シ

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクバ原案ニ決シマス、次ハ丙號……御
異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者多シ

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ是モ原案ニ決シマス、次ハ此「豫算」ト云フ
所デス、之ヲ問題ニ供シマス……御異議ガナクバ原案ニ決シマス、是デ總豫
算ハ終リマシタ、次ハ明治三十三年度各特別會計歳入歳出甲號、全部ヲ問題
ニ供シマス……御異議ガナクバ原案ニ決シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 次ハ乙號……御異議ガナクバ原案ニ決シマス……
御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 丙號……御異議ガナクバ原案ニ決シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル
モノ……全部ヲ問題ニ供シマス……御異議ガナクバ原案ニ決シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 下水法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

〔小原書記官朗讀〕

下水法案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付
候也

明治三十二年十二月十九日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲玆ニ載録ス以下之ニ同シ〕

下水道法

第一條 本法ニ於テ下水道ト稱スルハ土地ノ清潔ヲ保持スル爲汚水雨水疏
通ノ目的ヲ以テ布設スル排水管其ノ他ノ排水線路及其ノ附屬裝置ヲ謂
フ

本法ニ於テ築造ト稱スルハ新築改築及増築ヲ包含ス

第二條 市ニ於テ下水道ヲ築造セムトスルトキハ其ノ設計工費ノ收支豫算
及起工竣竣工ノ期限ヲ定メ内務大臣ノ認可ヲ受クヘシ但シ命令ヲ以テ定
ムル種類ノ改築又ハ増築工事ニ關シテハ此ノ限ニ在ラス

第三條 下水道ヲ設ケタル地ニ於テハ命令ノ定ムル所ニ依リ市又ハ土地ノ
所有者使用者若ハ占有者ハ汚水雨水ヲ下水道ニ疏通スル爲必要ナル施設

ヲ爲シ及之ヲ管理スルノ義務ヲ負フ

市ニ於テ前項ノ施設ヲ爲シ及之ヲ管理スル場合ニ於テハ市條例ノ定ムル所ニ依リ其ノ費用ヲ土地ノ所有者使用者又ハ占有者ヨリ徵收スルコトヲ得

第四條 前條ノ場合ニ於テ甲地ノ汚水雨水ヲ疏通スル爲必要アルトキハ乙地ニ汚水雨水ヲ通過セシメ又ハ乙地ノ汚水雨水ヲ通過セシムル爲設ケタル工作物ヲ使用スルコトヲ得但シ乙地ノ爲ニ損害最少キ場所及方法ヲ選ムヘシ

前項ニ依リ他人ノ工作物ヲ使用スル者ハ其ノ利益ヲ受クル割合ニ應シテ工作物ノ施設及管理ノ費用ヲ負擔スヘシ

第五條 下水道ヲ築造シ若ハ之ヲ管理シ又ハ第三條ノ施設ヲ爲シ若ハ之ヲ管理スル爲必要アルトキハ他人ノ占有スル土地ヲ使用スルコトヲ得但シ之ヲ爲他人ノ受ケタル損害ニ對シ償金ヲ拂フコトヲ要ス

第六條 當該吏員ハ下水道又ハ第三條ノ施設ノ實況ヲ監視スル爲其ノ事由ヲ告知シテ私人ノ占有スル土地ニ立入ルコトヲ得

第七條 下水道ノ用地ニ必要ナル國有ノ土地ハ之ヲ市ニ讓與シ又ハ無償ニテ使用セシムルコトヲ得

第八條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ私人ニ於テ履行スヘキ事項ヲ履行セス又ハ之ヲ履行スルモ充分ナラスト認ムルトキハ當該吏員ニ於テ之ヲ施行シ其ノ費用ハ市ニ於テ之ヲ支辨スヘシ

前項ノ處分ハ豫メ履行期間ヲ指定シテ戒告スルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得但シ必要ノ時限内ニ履行シ得スト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第九條 前條ノ處分ヲ爲シタルトキハ市ハ市稅ノ例ニ依リ其ノ費用ヲ義務者ヨリ徵收スルコトヲ得

第十條 市ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ町村ノ委託ヲ受ケ町村ノ全部又ハ一部ノ爲ニ其ノ下水道ヲ築造スルコトヲ得

第十一條 內務大臣ハ必要ト認ムルトキハ下水道ノ築造ヲ市ニ命スルコトヲ得

附則

第十二條 本法ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十三條 本法ハ東京市區改正ニ關スル規定ノ效力ヲ妨ケス

第十四條 本法ノ規定ハ之ヲ區町村ニ準用ス

〔政府委員小松原英太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(小松原英太郎君) 本案提出ノ理由ヲ簡單ニ申上ゲテ置キマス、下水ヲ改良致シマシテ之ヲ完全ニ致シマスルコトハ水道ノ改良ト相俟ッテ公衆衛生上、最モ必要ナルモノデアリト申スコトハ申上ゲルマデモナイ、御承知ニナッテ居ル通りデアリマス、然ルニ水道ハ改良ニ附キマシテハ明治二十三年水道條例ガ發布ニナリマシテ、爾來開港場ヲ始メ其他ノ場所ニ於キマシテモ、完全ナル水道ガ出來ルコトニナッテ居リマスデゴザイマス、追々實際ニ完全ナル水道ガ出來テ致シテ居ルノデアリマスガ、下水ノ方ニ附キマシテハ未ダ何等法制ノ據ルベキモノモゴザリマセズ、近來多少改良ヲ施シマシタ所ハゴザリマスルガ、未ダ完全ナル下水ヲ見ルコトハ出來ナイノデアリマス、然ルニ我邦ノ如ク傳染病流行地方即チ支那印度香港ノ如キ地方ト接近致シマシテ、ソレト交通ノ頻繁ナル國ニ於キマシテハ、下水ヲ改良致シマシテ完全ナル下水ヲ設ケマスルコトハ傳染病豫防ニ於キマシテ最モ必要ヲ感ズルノデアリマス左様ナ次第デアリマスカラ、何卒速ニ本案ニ向ッテ協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望致シマス

○田中芳男君 チヨット御尋致シタウゴザリマス、此案ガ出來マスルノハ至極結構ナコトト考ヘマスルガ、就キマシテ一ツ御尋致シテ置キマスルノハ重ニ是ヲハ東京市ノ如キ大キイ所ノ市ニ於テ最モ必要ノコトデアラウト考ヘル、東京市ノ如キモノハ現今ノ如クアリマスレバ下水ト云フモノハ、即チ掃溜ト云フヤウナモノニナッテ居リマスカラ、何レソレノ改良ノ法案ト思ヒマスガ、然ルニ下水ノ如キモノハ外ニ顯レテ居リマスカラシテ誰ガ見テモ不行届ト云フコトハ一目瞭然ト分ルガ、潰レ井戸ヲ下水ニシテ居ルトカ若クハ家ト家トノ間ニ土ヲ探ツタ四ミ場所ガアッタ、ソレヘ始終汚水ガ這入り或ハ塵芥ガ這入ッテ居リマシテ、チヨット外見ニハ知レマセヌ所ガ都會ニ往々アリマスル、其邊ノ所ハドウ云フ風ニ御取締ガ附ク譯デアリマスカ、或ハソレ等ハ此問題外ニナリマスルカ、詰リ外觀ニハチヨット分リマセヌ所ニ隨分穴ガ澤山アルヤウニアリマスカラシテ其取締上ハ如何ナリマスルカト云フコトヲ御尋致シマス

〔政府委員小松原英太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(小松原英太郎君) 唯今ノ御質問ニ御答致シマスルガ、此法案ハ下水ニ關シマシタ法案デゴザイマス、專ラ下水ニ屬スル事柄ヲ規定致シテアリマス、デ下水ニ關係ノナイ唯地面ヲ掘ッタ所ハ其儘ニシテ置イテ其所ニ汚

水が溜ルトカ何トカ云フコトハ是ハ別ナ問題デアリマス、ソコニ塵が溜ルトカ塵ヲ勝手ニ溝ニ棄テルコトハ出来ヌト云フコトハ汚物掃除法案ト云フモノガ提出ニナツテ唯今特別委員ノ審査中デゴザイマスガ、若シ塵ヲ勝手ニ打遣ルトカ云フヤウナコトデゴザイマスレバ此汚物掃除法案ニ依ッテ取締ヲ附ケテ參ルコトニナラウト思ヒマス

○田中芳男君 モウ一ツ御尋致シマス、成ル程汚物掃除ノ方ニ唯今申シマシタ問題ハ牽附ケラル、カハ知レマセヌケレドモ、全クノ塵芥ノ類デゴザイマスレバ汚物ノ方カラ持ッテ參ルコトモ出来マセウ、所謂大道ノ溝ニ塵芥ガアリマスレバ汚物掃除ノ方カラシテ掃除モ出来マセウケレドモ、全ク流動體デ這入リマスルモノハ始末ト云フコトハ出来ヌ、唯今何所ニハ斯様ナ不都合ガアルト云フコトハ私が明言致スコトナ憚リマスルカラ申シマセヌガ、都會ノ中ニハ随分古井戸ヲ下水ニシテ居ル所ガアルコトハ今申ス通り穴ヲ掘ッテソレガ詰リ下水デ皆ソコヘ流レル、其穴ニ這入リマシタ以上ハ各地方ノ水源ヲ大ニ汚ゴスト云フコトニナリマシテ衛生上甚ダ宜シカラヌコトト思ヒマス、都會ニハ往々ソレガアリマスカラ、ソレ抔ト云フモノハ汚物法ノ方デモ手ガ届カヌ、下水法デモ手ガ届カヌ、誰モ世話スル者ハナイト云フト、折角ノ法律ヲ立テマシテモ知ラヌ所ニ穴ガアルト云フヤウナコトデ、ソレ等ガ此法デ取締ガ附クカト云フコトヲ御質問ヲ致シマス

○政府委員(小松原英太郎君) 御質問ノ主意ハ能ク分リマシタ、唯今御尋ニナルヤウナモノデゴザイマスレバ、下水法案ニ依ッテ完全ナ下水ヲ設ケマシタ場合ニハ皆下水法ニ依ッテ始末ガ附イテ行クコトニナルダラウト思ヒマス、井戸ミタヤウナモノニ下水ヲ脱カシテ置クト云フコトノナイヤウニ完全ノ系統ヲ有スル下水道ヲ設ケマシテ、ソレニ依ッテ下水ノ始末ヲ附ケルコトニナツテ此法案デ參リマスルノデアリマスカラ、唯今ノ御質問ノ如キモノデアリマスルナラバ無論、下水法案ノ中ニ在リマス是ニ依ッテ取締ガ附ク等デアリマス

○三宅秀君 先刻ノ政府委員ノ説明ニ據ルト衆議院デ澤山修正ガアッタヤウデアリマスルガ、此衆議院ノ修正ガ政府デハ御同意ニナッタデアリマスルカ、尤モ讀ンデ見マスルト修正ガ朱クナツテ居リマスケレドモ多クハ字句ノ修正デアッテ格別意味ヲ變更シタ所ガナイヤウデアリマスルガ、就中大キナ變更ダト思ヒマスルノハ第一條ノ二項ニシテ「及大修繕」ト云フコトヲ削リマシタ、ソレカラ末條二十一條ノ「又ハ修繕」ト云フ字ヲ削ッテアリマスノハ

大變違ガアルヤウデアリマスガ、是ハ衆議院ノ赤筋ヲ引キマシタノニ全ク御同意ヲ致サレタノデアリマスカ

○政府委員(小松原英太郎君) 御答ヲ致シマスルガ、格別ノ修正デモアリマセヌノデ政府ニ於テハ衆議院ノ修正デ差支ナイ、同意ヲ致シマスルノデ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 他ニ御發議ガゴザイマセヌケレバ委員ノ選定ニ移リマス、其委員ノ選定ハ道路法案ノ委員ト同一ノ委員ニシタモノデゴザイマセウカ、又ハ如何デゴザイマセウカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 岡山縣下郡廢置法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

〔小原書記官朗讀〕

岡山縣下郡廢置法律案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十二年十二月十九日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

岡山縣下郡廢置及郡界變更法律案

第一條 岡山縣下郡廢置及郡界變更ヲ爲スコト左ノ如シ

一 岡山縣美作國眞島郡及大庭郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ眞庭郡ヲ置ク

一 岡山縣美作國西條郡、西北條郡、東南條郡及東北條郡ヲ廢シ其ノ區域

ヲ以テ吉田郡ヲ置ク

一 岡山縣美作國勝北郡及勝南郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ勝田郡ヲ置ク

一 岡山縣美作國英田郡及吉野郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ英田郡ヲ置ク

一 岡山縣美作國久米北條郡及久米南條郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ久米郡ヲ置ク

一 岡山縣備前國御野郡及津高郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ御津郡ヲ置ク

一 岡山縣備前國赤阪郡及磐梨郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ赤磐郡ヲ置ク

一 岡山縣備前國都宇郡及窪屋郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ都窪郡ヲ置ク

一 岡山縣備前國下道郡及賀陽郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ吉備郡ヲ置ク

一岡山縣備中國阿賀郡ヲ廢シ其ノ區域ノ一部(中井村、中津井村、上水田村、水田村、皆部村)ヲ同縣同國上房郡ニ編入ス

一岡山縣備中國哲多郡ヲ廢シ其ノ區域ト阿賀郡ニ屬スル區域ノ一部(新見町、美穀村、草間村、豐永村、刑部村、丹治部村、上刑部村、千屋村、菅生村、熊谷村)トヲ以テ阿賀郡ヲ置ク

附則

第二條 本法ニ依リ廢スル郡ノ區域ニ依レル選舉區ヨリ選舉セラレタル縣會議員ハ其ノ各新ニ置ク郡ノ區域ニ依レル選舉區ヨリ選舉セラレタルモノト看做ス

第三條 本法施行ノ爲選舉區ニ於ケル縣會議員ノ數ヲ増減スル必要アルト

キハ府縣制第七條及第八條ノ規定ニ依ル

第四條 本法ハ明治三十三年四月一日ヨリ施行ス

〔政府委員小松原英太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(小松原英太郎君) 本案提出ノ理由ヲ簡短ニ申上ゲマス、郡制施行ノ爲ニ必要ナル郡ノ廢置處分ニ附キマシテハ岡山縣ヲ除ク外、總テ其處分ヲ了シマシテ郡制ヲ施行致シテ居ルノデアリマス、唯リ岡山縣ニ於キマシテハ郡ノ廢置處分ヲ了シマセヌガ爲ニ郡制ヲ施行スルコトガ出來ヌノデ今日ニ至ッテ居リマス、誠ニ遺憾ニ堪ヘナイノデアリマス、依ッテ今日重ネテ此法律案ヲ提出致シマシテ議會ノ協贊ヲ求ムル次第デアリマス、此法律案ガ通過致シマスレバ最早郡制施行ノ爲ニ致シマスル郡ノ廢置處分ハ悉皆了了ナラゲマシテ茲ニ始メテ全國一般ニ郡制ヲ施行スルコトガ出來ルノデアリマス、左様ナ次第デアリマスカラ何卒速ニ本案ニ向ッテ協贊ヲ與ヘラレムコトヲ希望致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 他ニ御發議ガナクバ委員ノ選定ニ移リマス、委員ノ選定ハ大抵……

〔子爵小笠原壽長君「議長、委員ノ……」ト述フ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 小笠原子爵ハ何デゴザイマスカ

○子爵小笠原壽長君 議長ニ御委託致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 如何デゴザイマセウ、是マデ先例ハ常ニ議長ニ於テ選定スルト云フコトノヤウニナッテ居リマスガ、ソレノ方ヲ正則ニ致シテ、若シモ或ル場合ニ選舉ヲ致シタ方が宜カラウト云フ時ニ御發言下スッタラ如

何デゴザイマセウ

〔「異議ナシ」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ議長ニ於テ選定スルニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 明治三十二年法律第九十八號改正法律案、政府提出、第一讀會、朗讀ハ省略致シマス

明治三十二年法律第九十八號改正法律案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十三年一月十三日

内閣總理大臣侯爵山縣有朋

大藏大臣伯爵松方正義

明治三十二年法律第九十八號改正法律案

間接國稅犯則者處分法ハ葉煙草專賣法違犯事件ニ準用ス

間接國稅犯則者處分法中收稅官吏ニ屬スル職務ハ葉煙草專賣事務ニ從事ス

ル官吏、收稅官吏、稅關官吏又ハ警察官吏之ヲ行ヒ稅務管理局長ニ屬スル職務ハ違犯事件發見地ヲ管轄スル專賣支局長之ヲ行フ

專賣局長ノ直轄スル區域内ニ在リテハ前項專賣支局長ニ屬スル職務ハ專賣局長之ヲ行フ

局長之ヲ行フ

〔政府委員仁尾惟茂君演壇ニ登ル〕

○政府委員(仁尾惟茂君) 本案九十八號ハ豫テ間接國稅犯則者處分法ヲ準用致シテ居リマシタ所ガ、此準用ノ本タル犯則者處分法ガ改正セラル、コトニナリマシテ、過日本院ノ協贊ヲ經マシテ衆議院ニ廻ッテ居リマスニ附キマシ

テハ此八十九號モ是マデノ通り矢張り犯則者處分法ヲ準用致シマスルト云フ

コトニ過ギナイノデアリマス、速ニ御協贊ヲ請ヒマス

○田中芳男君 チョット御質問致シマス、唯今ノ本案ハ誠ニチットバカリ

ノモノガ駄目埋メニ出テ參ッタヤウデアリマス、是ハ唯今衆議院ノ方ニ提出

ニナッテ居リマス所ノ間接國稅犯則者云々ノ法律ノ中ニ加ヘラレヌモノデア

リマスガ、餘程相近イヤウナ氣ガ致シマス、此方ハアレトハ、マルデ別ニシテ

單行ノ法律ニシナケレバナラヌヤウニ見エマスガ、私共ノ考デ見マスルト、衆

議院ノ方ニ御提出ニナツテ居ル中ニ加ヘテシマフト誠ニ世話ナク處分ガ出來ヤウト考ヘマス、サウハ行カヌ理由ガゴザイマスカ

○政府委員(仁尾惟茂君) 別ニ行カヌノデハゴザイマセヌガ元ノ成立ガ既ニ昨年ノ議會ニ於キマシテ間接國稅犯則者處分法ヲ適用スルト云フコトニナツテ居リマスルノデ、ソレデ此度モ矢張り前ノ法ニ倣ヒマシテ此法案ヲ提出シタ譯合デゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 他ニ御發議ガナクバ委員ノ選定ニ移リマス、議長ノ選定ニ御異議ハゴザイマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 漁業法案、政府提出、第一讀會
漁業法案

右
勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス
明治三十三年一月十三日

內閣總理大臣侯爵山縣有朋
內務大臣侯爵西鄉從道
農商務大臣 曾禰荒助

漁業法

第一條 本法ニ於テ漁業ト稱スルハ營利ノ目的ヲ以テ水產動物ノ採捕又ハ養殖ヲ業トスルヲ謂フ

本法ニ於テ漁業者ト稱スルハ漁業ヲ爲ス者及免許ヲ受ケタル漁業權ヲ享有スル者ヲ謂フ

第二條 私有水面ニ於テハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外本法ノ規定ヲ適用セス

私有水面トハ官有水面ニシテ公共ノ用ニ供セサルモノ及公共團體並私人ノ所有ニ屬スル水面ヲ謂フ

第三條 左ニ掲ケタル漁具又ハ方法ヲ以テ漁業ヲ爲サムトスル者ハ行政廳ノ免許ヲ受クヘシ

一 建網、臺網又ハ壺網ニシテ碇、支柱又ハ浮子及沈子ヲ以テ身網及垣網ヲ設クルモノ(鰈建網、鮪臺網、鰺臺網、鮭建網、鰯建網、根拵網、大數

網、四艘張網、三艘張網、越中網、壺網、瓢箪網、地獄網、器械網、掛網ノ類)

二 地引網、瀬引網又ハ地漕網ニシテ引揚場又ハ繰寄場ヲ一定スルモノ
三 簀立、「エリ」、羽瀬又ハ八重簀ニシテ網、簀又ハ竹木ヲ以テ垣及魚溜ヲ設クルモノ

四 簀、鮭留、鰯留又ハ仕切網ニシテ堰堤、簀又ハ網ヲ以テ河川ノ全部若ハ一部ヲ遮斷スルモノ

五 水面ヲ區劃シテ餌蒔、「スクヒ」又ハ立切ヲ爲スモノ

六 沿海ニ於テ漁場ヲ一定シテ捕鯨ヲ爲スモノ

七 種取場、種蒔場又ハ生育場ヲ一定シテ魚介ヲ養殖スルモノ

八 簀立ヲ爲シテ海苔ヲ採取スルモノ

九 前各號ノ外勅令ヲ以テ指定シタル漁業

第四條 區域ヲ限リタル根付磯付漁業又ハ種川ノ設置ヲ爲サムトスル者ハ行政廳ノ免許ヲ受クヘシ

前項ノ免許ハ地元漁業組合ニ非サレハ之ヲ受クルコトヲ得ス

根付磯付漁業ノ種類ハ主務大臣之ヲ指定ス

第五條 漁業免許ノ期間ハ二十箇年以下トス但シ第八條第一項ニ依リ免許ヲ停止シタル期間ハ免許期間ニ算入セス

免許期間ハ之ヲ更新スルコトヲ得

第六條 免許ヲ受ケタル漁業權ハ行政廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ處分スルコトヲ得ス

漁業組合ニ於テ第四條ノ免許ヲ受ケタルトキハ其ノ漁業權ヲ處分スルコトヲ得ス

相續ニ因リテ漁業權ヲ取得シタル者ハ其ノ旨ヲ行政廳ニ届出ツヘシ

第七條 免許ヲ受ケタル漁業權ハ免許ノ日ヨリ一箇年間之ヲ行使セサルトキハ消滅ス引續キ二箇年間之ヲ行使セサルトキ亦同シ

漁業權ノ讓渡、貸付又ハ相續アリタル場合ニ於テハ其ノ前後ノ期間ハ之ヲ通算ス

第八條 行政廳ハ水產動物ノ蕃殖保護其ノ他公益上必要アリト認ムルトキハ免許ヲ制限シ若ハ停止シ又ハ之ヲ取消スコトヲ得

免許ヲ受ケタル漁業者ニシテ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違背シ又ハ公益ヲ害スルノ所爲アリト認ムル場合亦前項ニ同シ

第九條 漁場ノ區域又ハ方位ヲ標示スル爲標識ノ建設ヲ必要トスルトキハ他人ノ占有スル土地ニ立入り又ハ之ヲ使用スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ漁業者ハ行政廳ノ認可ヲ受クヘシ

第十條 行政廳ハ必要ト認ムルトキハ漁業者ニ漁場ノ標識ノ建設ヲ命スルコトヲ得

第十一條 前二條ノ場合ニ於テ他人ノ占有スル土地ニ立入り又ハ之ヲ使用スルトキハ之ニ因リテ生シタル損害ニ對シ償金ヲ拂フヘシ

第十二條 行政廳ハ水產動植物ノ蕃殖保護又ハ漁業取締ノ爲必要ト認ムルトキハ左ノ命令ヲ發スルコトヲ得

一 水產動植物ノ採捕若ハ販賣ニ關スル制限又ハ禁止

二 漁具、漁船若ハ採捕ノ方法ニ關スル制限又ハ禁止

三 漁業者ノ數又ハ其ノ資格ノ制限

前項ノ命令ニハ漁具及漁獲物ノ沒收ニ關スル罰則ヲ設クルコトヲ得

第十三條 前條ノ規定ニ依ル命令ハ漁業者ニ非サル者ニモ之ヲ適用スルコトヲ得

第十四條 主務大臣ハ遡河魚類ノ通路ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ一定ノ區域内ニ於ケル工作物設置ノ制限又ハ禁止ニ關スル命令ヲ發スルコトヲ得

工作物ハ遡河魚類ノ通路ヲ害スルモノト認ムルトキハ主務大臣ハ其ノ所有者ニ除害工事ヲ命スルコトヲ得

第十五條 前條第二項ニ依リ除害工事ヲ命シタルトキハ主務大臣ハ工作物ノ所有者ニ對シ相當ノ金額ヲ補償スヘシ但シ利害關係人ノ申請ニ依リ除害工事ヲ命シタルトキハ其ノ補償金ハ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ申請者之ヲ負擔スヘシ

第十六條 行政廳ハ水產動植物ノ蕃殖保護ニ必要アリト認ムルトキハ公有水面ニ通スル私有水面ニ前四條ノ規定ヲ適用スルコトヲ得

第十七條 漁夫及雇主ノ取締ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十八條 一定ノ區域内ニ住所ヲ有スル漁業者ハ水產動植物ノ蕃殖保護及共同ノ利益ノ爲漁業組合ヲ設置スルコトヲ得

第十九條 從來ヨリ一定ノ區域アル濱、浦、漁村其ノ他漁業者ノ部落ニ於テハ其ノ區域ニ依リ漁業組合ノ地區ヲ定ムヘシ

前項ノ場合ヲ除クノ外漁業組合ハ市町村又ハ之ニ準スヘキモノノ區域以

内ニ於テ其ノ地區ヲ定ムヘシ但シ特別ノ事由ニ因リ其ノ區域ニ依リ難キトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十條 漁業組合ヲ設置セムトスルトキハ其ノ地區内ニ於テ組合員タルヘキ者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ定款ヲ議定シ行政廳ノ認可ヲ受クヘシ

第二十一條 組合地區内ニ住所ヲ有スル漁業者ハ總テ其ノ組合ニ加入スヘシ但シ行政廳ニ於テ漁業ノ種類ニ依リ組合ニ加入スルノ必要ナシト認メタル者ハ此ノ限ニ在ラス

行政廳ニ於テ必要ト認ムルトキハ左ノ各號ニ該當スル者ヲシテ組合ニ加入セシムルコトヲ得

一 組合地區内ニ住所ヲ有シ漁業ト密接ノ關係アル營業ヲ爲ス者

二 組合地區内ニ漁業ノ根據地ヲ有スル組合地區外ノ漁業者

三 組合ノ地先水面ニ於テ免許漁業ヲ爲ス組合地區外ノ漁業者

第二十二條 漁業組合ハ漁業ノ免許ヲ受クルコトヲ得但シ自ラ漁業ヲ爲スコトヲ得ス

第二十三條 漁業組合ニ於テ漁業ノ免許ヲ受ケタルトキハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ組合員ヲシテ漁業ヲ爲サシムヘシ

第二十四條 漁業組合ニ關シテハ前數條ニ掲ケタルモノヲ除クノ外重要輸出品同業組合法ノ規定ヲ準用ス但シ同法中農商務大臣ニ屬スル職權ハ行政廳之ヲ行フ

第二十五條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ義務者ニ於テ履行スヘキ事項ヲ履行セス又ハ之ヲ履行スルモ充分ナラスト認ムルトキハ行政廳ニ於テ自ラ之ヲ施行シ又ハ第三者ヲシテ之ヲ施行セシメ其ノ費用ハ國稅徵收法ノ例ニ依リ義務者ヨリ徵收スルコトヲ得

前項ノ費用ニ付行政廳ハ國稅ニ次キ先取特權ヲ有ス

第二十六條 漁業免許ノ許否ニ關シ利害ノ關係ヲ有スル者又ハ第六條第八條若ハ第十四條第二項ノ行政處分ニ對シテ不服アル者ハ訴願ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ行政廳ノ違法處分ニ依リ權利ヲ傷害セラレタリトスル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二十七條 第十五條ノ補償金額ニ對シ不服アル者ハ補償金額ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二十八條 免許ヲ受ケス又ハ免許ノ條件若ハ制限ニ違背シテ第三條又ハ第四條ノ漁業ヲ爲シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス免許ノ停止中漁業ヲ爲シタル者亦同シ

前項ノ場合ニ於テハ漁具及漁獲物ヲ沒收ス

第二十九條 漁場ノ標識ヲ移轉シ又ハ毀壞シタル者ハ三十圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

第三十條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十一條 本法ノ規定ハ臘虎臘獸獵法ノ效力ヲ妨ケス

第三十二條 本法施行前ニ受ケタル漁業ノ免許又ハ公有水面使用免許ニ因リ第三條ノ漁業ヲ爲ス者本法施行ノ日ヨリ六箇月以内ニ出願スルトキハ

之ニ免許ヲ與フヘシ

前項ニ依リ免許ヲ出願シタル者ハ其ノ免許ヲ受クル迄ノ間仍從前ノ例ニ依リ漁業ヲ爲スコトヲ得

第一項ノ期間内ニ免許ヲ出願セサルトキハ出願期間満了ノ日ニ於テ從前ノ免許ハ其ノ效力ヲ失フ

本法施行前北海道ニ於テ漁業ノ免許ヲ受ケ第三條ノ漁業ヲ爲ス者ハ本法ニ依リ免許ヲ受ケタル者ト看做シ其ノ免許期間ハ第五條ノ期間内ニ於テ北海道廳長官之ヲ定ム

第三十三條 從來ノ慣行ニ因リ本法施行前ヨリ第三條又ハ第四條ノ漁業ヲ爲ス者本法施行ノ日ヨリ六箇月以内ニ出願スルトキハ之ニ免許ヲ與フヘシ

前項ニ依リ免許ヲ出願シタル者ハ其ノ免許ヲ受クル迄ノ間仍從前ノ例ニ依リ漁業ヲ爲スコトヲ得

第一項ノ期間内ニ免許ヲ出願セサルトキハ出願期間満了ノ日ニ於テ其ノ漁業權ハ消滅ス

○馬屋原彰君 チョット……定員數ニ缺ケテハ居リマセヌカ、隨分是ハ重大ナ案デゴザイマスカラ御調ヲ願ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) マダ宜シイサウデス

〔政府委員牧朴眞君演壇ニ登ル〕

○政府委員(牧朴眞君) 漁業法ハ昨年帝國議會ニ提出サレマシテ既ニ本院ニ於テハ御審議ノ末、可決ニナリマシタノデゴザイマス、然ル所ガ衆議院ニ

於キマシテハ段々審議ノ末、不完備ノ點ガアルニ附イテ暫ク見合セテ尙ホ能ク調査シタ方ガ宜カラウト云フコトヲ以テ否決ニナリマシタコトデゴザイマス、其後農商務省ニ於キマシテハ各地方官ノ意見等モ詢ネ其他種々取調ヲ致シマシタ末、此法案ヲ取調ベマシタコトデゴザイマスガ、此節ノハ昨年ノトハ違ヒマシテ餘程精密ニ鄭重ニ取調ベマシタ積リデゴザイマス、併ナガラ昨年ノ法案大體ノ主意ニ於キマシテハ決シテ變更ヲ致シテ居ルコトハゴザイマセヌデゴザイマス、ドウカ本案ヲ御協賛アラムコトヲ願ヒマス

○村田保君 少々御尋ヲ致シタイノデ、私ノ見マスル所デハ、昨年ノ法案トハ餘程變ッテ居リマス、昨年ノ漁業法案トハ餘程精神ガ變ッテ居ルコトガアル、ソレデ第一、質問ヲ致シタイノハ、此法案デ見マスルト此度ハ定置漁具、例ヘテ見ルト臺網トカ置著ケテ居ル所ノ常設シテ居ル所ノ漁具ニ免許ヲ與ヘルト云フコトニナッテ居ル、所ガ是ハ大分二條ヲ御覽ニナリマスレバ分リマスガ、臺網トカ何網トカ九マデアリマスガ、ソレハ多ク一ト所デ漁業チスル所ノ漁業者ニ免許ヲ與フルト云フコトニナッテ居ル、所ガ漁具ハ常設漁業バカリデハナイ、或ハ此節農商務省デ調ベテ獎勵シテ居ル所ノ巾著網或ハ揚練網或ハ其他「ボーケ」網ト云フヤウナ種類ガ澤山アル、或ハ地引網ト云フモノモアル、サウ云フ運轉ヲシテ漁業ヲ致シテ居リマスルモノハ免許ト云フモノガナイ、サウシテ見マスルト是ハ無免許デ以テ此常設漁具ノ外ハ誰デモ出來ルト云フコトデ除カレマシタノデアリマスガ、ソレチ第一ニ伺ヒタイ、後ニハ續々マダ伺ヒタイコトガアリマス

○政府委員(牧朴眞君) 唯今ノ御質問ニ對シテ御答申シマスルガ、ソレハ昨年ノ法案トチョットモ其主意ニ至リマシテハ變リマセヌノデゴザイマス、昨年ノ法案ノ第一條ニ如何ナルコトガ書イテゴザイマスカタ云フト、「漁具ヲ定置シ又ハ場所ヲ區劃シテ漁業ヲ爲ス者ハ行政廳ノ免許ヲ受クルコトヲ要ス」、此節ハ其漁具ヲ定置シ場所ヲ區劃スルト云フノハ如何ナルコトデアルカト云フ其漁具ヲ定置スル種類、場所ヲ區劃スル所ノ漁業ノ種類ヲ總テ第三條ニ列記致シマシタノニ過ギマセヌ、昨年ノ法案ノ主意ト變リマセヌ、其條ニ至リマシテ委シクナリマシタノデ決シテ變ッテハ居リマセヌ、昨年モ即チ漁具ヲ定置シ場所ヲ區劃スル漁業ハ免許ヲ受ケル、其他ニハ免許ノ條件ハゴザイマセヌ、當年モ矢張り同様デゴザイマス

○村田保君 所ガソレガ議論ノアルコトデ、議論ノコトハ私ハ御尋シマセヌ、サウシマスルトソレハ構ハズ許スト云フ主義デゴザイマスナ、唯今ノ御話デ

アリマス……、サウシテ見マスルト例へハ船ヲ持チ網ヲ持ッテ人ノ漁場ニ這入ッテモソレハ差支ナイト云フコトニナリマス、ソコハドウデゴザイマス

○政府委員(牧朴眞君) 御答致シマス、是ハ入會若クハ專用ノ慣行權ヲ以テ、即チ慣行ノ漁業權ヲ持ッテ居リマス者ハ矢張り其慣行ニ依ッテ漁業ヲスルコトハ差支ナイ、殊更ニ行政廳ノ免許ヲ受ケルノ必要ガナイト云フコトデゴザイマス

○村田保君 慣行ハ差支ナイト云フノハ此法案ノドコニ見エテ居リマス、ソレハ許可ナクシテモ宜イ、慣行漁業ハ免許ヲ受ケルト云フコトガアリマスカラ外ノハ無免許デ差支ナイト云フヤウニ見エル、サウシテ見マスルト今日漁場ノ争ガ起ル、昨年出マシタ所ノ二條ノヤウニ漁業區劃ノ慣行アルモノハ慣行ニ依ルト云フ、サウ云フコトガアレバ宜イガ今度ノニハサウ云フコトガナイ、サウシテ見マスレバ人ノ漁場ニ行ッテ勝手ニ漁業ガ出來ルト云フヤウニ裏カラ見ルト、ドウシテモ見エル、ソレハドウデゴザイマス

○政府委員(牧朴眞君) 御答致シマス、昨年ノ法案ニ於キマシテハ丁度第三條ノ入會又ハ專用漁業權ノ争ヲ裁決スルコトガ書イテゴザイマス、若シ此争ガ起レバ地方長官ガ裁決スル、二府縣ニ涉ルモノハ二府縣ノ地方長官ガ協議ノ上、其争ヲ裁決スル、若シ裁決ニ不服ガアルナラバ内務大臣ガソレヲ決定スルト云フコトガ三條ニ書イテゴザイマシタ、本年ノ案ニ之ヲ除キマシタノハ不日行政裁判權限法ト云フ如キモノガ提出サレマス積リデゴザイマス、ソレデ此漁業法ニ於キマシテハ昨年ノ法案ノ第一條ニ書イテゴザイマシタ即チ定置漁具、區劃漁業ト云フコトヲ規定シ、其他入會漁場專用漁業ノ漁業權ノコトニ附キマシテ争ガ起リマシタナラバ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ許スト斯ウ云フコトニ他ノ法律ヲ以テ規定スル、即チ行政裁判權限法ヲ以テ規定サレマスカラ殊更ニ是ハ裁判權限法ニ依リマシテ此漁業法案ニ載セマセヌデゴザイマシタ、唯今其事ガ何カ茲ニゴザイマセヌカラチヨット分リ兼ねマスルヤウデアリマス、ソレハ全ク行政裁判權限法ニ依リマシテ不日提出サレマスカラ之ヲ以テ御承知ヲ願ヒマス

○村田保君 ソレハ本員ガ御尋スルノデ、ソレガ最モ昨年ノ案ト違フノハソコカト思ヒマス、ソレハ大變違フカト思ヒマス、抑々漁業法案ニ附イテハ本員ハ二回程モ提出シタコトガゴザイマス、ソレカラ政府カラモ提出ニナリマシタト云フモノハ畢竟漁業法ノ今日必要ト云フコトハ殆ド全國到ル處ニ此漁場

ノ争ノナイ所ハナイ、實ニ漁場ノ争ハ非常ナモノデアル、之ヲ通常ノ裁判所ヘ持ッテ來ルト容易ナコトデハ片ガ付カヌ、二年モ三年モ掛ル、其上費用モ容易ナラヌ費用ガ掛ルコトデアリマス、是ハ是非此裁判ハ特別ノ裁判ニシテナケレバイカヌト云フノデ、若シ行政處分デ他ノ方ハ郡長デ處分スル、ソレデイケナケレバ知事ガ裁判スル、其上ハ農商務大臣ガ處分スルト云フコトニナッテ居リマス、既ニ昨年政府カラ提出ニナッタ案ハ其主意デ提出ニナッテ居リマス、此事ハ漁業法ニ設ケテアッタと思ヒマス、ソレト此蕃殖ヲ圖ルト云フコト、到ル處今日此濫獲ヲスルト云フノハ御存ジノ通りヒドイ、其蕃殖保護ヲ圖ル此二ツヲ漁業法ニ設ケルノガ最モ必要ダと思ヒマス、其肝腎ナル裁判法ガ唯今仰ッシャル通り脱ケテ居ル、漁業法ニ脱ケテ居ル、ソレハ是カラ出ス行政裁判權限法ニ讓ルト云フノハソレハ間違ッタコトダト本員ハ思ヒマス、最モ此事ハ此法案ニ定メテ貰ヒタイと思ヒマス、所ガ昨年ト今日トハ同シダト言ハレマスガ其點ハ大變ニ違フカト思ヒマス、昨年ハ行政處分ニシテ今年ハ行政裁判所ニ持ッテ行ク、ソコハドウデゴザイマス、ソレトモ同シダト仰ッシヤイマス

○政府委員(牧朴眞君) 御返事ヲ致シマス、行政裁判權限法ハマダ發表致シマセヌガ、先ヅ第一行政ノ裁決ヲ受ケテ然ル後ニ不服ガアルトキハ行政裁判所ニ持ッテ行ク組立ニナッテ居リマスカラ格別相違致スコトハゴザイマセヌ

○村田保君 ソレデ如何デゴザイマセウ、斯ウ云フ今ノ漁具漁業ハ免許ヲ受ケルト云フコトニ見ルト、其他ニ網ヲ持ッテ人ノ漁場へ行クトカ又ハ釣ヲシニ行クト云フコトハ構ハヌト云フコトナレバ殆ド今日漁場ノ争ハ一層之ガ爲ニ殖エルト云フコトニナリハセヌカ、實ニ漁場ノ争ハヒドイ、今日燧灘ノ争ハヒドイ、又私共ハ之ガ爲ニ漁場ノ争ヲ一層殖ヤスコトニナルと思ヒマス、ナゼト云フニ今日ハ大概海岸カラ何里、或ハ六百間、七百間區畫ヲ定メテアル所ノ其漁場ノ中ニ入ッテ漁ヲシテモ構ハナイ、釣ヲスルノモ構ハヌト云フコトニナッタラバ必ズ漁場ノ争ヲ來タスト思ヒマス、其邊ハドウ云フ御考デゴザイマス

○政府委員(牧朴眞君) 御答ヲ致シマス、昨年ノ精神トチヨットモ其邊ハ變リマセヌノデゴザイマス、故ニ是マデノ慣行ガゴザイマシテ漁業ヲ致シテ居リマスル網ニシマセウ、釣ニシマセウ、其慣行ノ權利ニハ決シテ關係シマセヌ積リデゴザイマス、其慣行ノ權ニ依ッテ争ガ起リマスレバ即チ行政ノ裁決ヲ受ケテ尙ホ不服アレバ行政裁判所ノ裁決ヲ受ケル、裁判ヲ受ケルト斯ウ云

フ譯ニナリマス、矢張り昨年ト主意ニ於テハ些トモ變リマセヌ、決シテ此法律ニソレガ書イテゴザイマセヌトモ之ガ爲ニ紛議ヲ増長セシメルト云フコトハアリマス、マイト思ヒマス

○男爵船越衛君 本案ノ大體ニ附キマシテハ唯今政府委員カラ御述ニナリマシタ通り昨年ノヨリハ精密ニナリ居リマス、其中質問シタイト思ヒマスノハ唯今村田君カラ御質問ガゴザイマシテ其第二條ニ慣行ノ漁業ハ其慣行ニ依ルト云フコトガゴザイマスル、是ハ唯今ノ御説明デ能ク分リマシテゴザイマスガ、此第三條ニ網ノ種類杯ガ餘程擧ゲテゴザイマスガ、第九號ニ「前各號ノ外勅令ヲ以テ指定シタル漁業」トアリマス、ソレデ無論是ダケノモノデハ全國ノ幾多ノ漁具ヲ網羅シテ擧ゲルコトハ出來ヌカラ勅令ヲ以テ云々ト云フコトガ書イテアルノデアラウト思ヒマスガ、如何デアリマセウカ、此法律デ擧ゲタ漁具ヲ勅令デ又別ニ擧ゲルト云フコトハ各箇ニナリマスガ、一體ノ行政上ニ於テ御差支ハナイ御積リデアリマスカ、其邊チ一ツ……

○政府委員(牧朴眞君) 是ハ丁度御尋ノ通り悉ク今日ゴザイマス所ノ漁具所謂漁法ト云フモノハ總テ第八マデノ中ニ拾上ゲマシテ網羅シマシタ積リデゴザイマスケレドモ、尙ホ今後新ニ發明シタ漁具ガ起リ、若クハ又今日ノ調ニ漏レテ居ルモノガ起リマシテ此八マデノ漁具ノ種類、若クハ同様ナモノノ種類ガ出テ來マシタ場合ニ於テ、又其一箇條ノ爲ニ法律ヲ制定スルト云フコトヨリモ其場合ニハ寧ロ勅令ヲ以テ定メラレタ方が、宜シカラウト云フコトノ主意デ、即チ此八號マデニ掲ゲタモノノ外ニ於テ物ガ起ッテ來タノハ即チ勅令ヲ以テ定メルト云フ意味デゴザイマスガ、是ハ是マデモ一二斯ノ如キ例ガゴザイマス

○男爵船越衛君 唯今ノ御辯明デ能ク分リマシタガ、私ハマア此案ノ大體ハ贊成ナノデ、是マデノ漁業法ヨリハ失禮ナガラ餘程能ク出來テ居リマスガ、唯今ノ御辯明ハ分ッタガ、是ハ勅令デ以テ定メテモ差支ナイト思ヒマスガ、矢張り是ダケ擧ゲテ置カナケレバナラヌノデアリマスカ、モウ一應御尋致シマス

○政府委員(牧朴眞君) 御答致シマスガ、勅令ニ悉クナリマシテモ強ヒテ差支ハゴザイマス、マイケレドモ、兎ニ角此免許ノ種類ヲ定メマスコトデゴザイマスカラ法律ノ方が至當デアラウト云フコトヲ以テ斯ク種類ヲ擧ゲテ列記致シマシタコトデアリマス

○馬屋原彰君 本員モ少シ質問ヲ致シマス、先ヅ本案ノ第十二條ノ上ニ附イ

テ御尋ヲ致シマス、此法案デハ第三條ニ附イテ考ヘマスト云フト、網漁ノ如キモノハ此規定外ニ置クト云フ方針デアルヤウニ見エマスガ、併ナガラ此十二條ニアル通り行政廳カラ命令ヲ發スル場合ガアルノデアリマスガ、其場合デハ或ハ釣漁ニモ及ブカト云フ疑ガアリマス、果シテ此十二條ノ場合デハ行政官ノ命令ヲ發スル時ニ當ッテ土地ノ事情ニ依ッテハ釣漁ヲ以テ僅ニ營業トシテ居ル所ノ細民ノ上ニマデ矢張り制限ヲ附ケルト云フガ如クニ見エマスデゴザイマスガ、其通りデアリマスカ、ソレチ……

○政府委員(牧朴眞君) 御答ヲ申シマス、是ハ一般ニ所謂水產動植物ノ蕃殖保護ヲ必要トスルノ場合、又ハ漁業ノ取締上必要トスル場合ニ限ッテゴザイマス、此場合ニ於キマシテ即チ第十三條ニ書イテゴザイマスヤウニ漁業者以外ノ遊漁者ニモ適用スル、即チ遊漁者マデモ守ラナケレバナラヌ、斯ウ云フ主意デゴザイマス、總テ漁業シマス者ハ釣ヲシマスコトデモ孰モ水產動植物ヲ採リマスモノニハ總テ行ヒマス積リデゴザイマス

○馬屋原彰君 或ル場合ニ依ッテハ釣營業ナスル者ニ及ボシテ之ヲ禁止スルコトガアルノデスカ

○政府委員(牧朴眞君) 御答ヲ致シマス、釣ヲ禁止スルト云フコトハ決シテゴザイマセヌ、唯或ハ漁業ヲシマスニ蕃殖保護ニ害ガアルトカ或ハ毒流シタルコトハナラヌトカ、或ハ爆發物ヲ以テ魚ヲ捕ルコトハナラヌトカ云フコトヲ禁止制限スルノデ、一般ニ及ボシマス

○馬屋原彰君 釣ヲ垂レテ魚ヲ捕ルコトハ禁止スルノデスカ

○政府委員(牧朴眞君) サウ云フコトハ禁止スルコトハゴザイマセヌ

○馬屋原彰君 ナイノデスカ

○政府委員(牧朴眞君) ゴザイマセヌ

○馬屋原彰君 分リマシタ、其次ニ伺ヒマスノハ、第二十條ニ於テ漁業組合ヲ設置セムトスルトキハ創立總會ヲ開キ、ソレカラ定款ヲ定議シ行政廳ノ認可ヲ受ケネバナラヌト云フコトニナッテ居リマス、而シテ其組合ノ目的タル水產動植物ノ蕃殖保護ニ關シマシテ必ズ斯ノ如キ組合ノ起ル上ニ附キマシテハ種々ナ規則ヲ設ケテ、ソレゾレ便利ヲ謀ラネバナラヌコトニナラウト思ヒマスガ、其組合ニ於テ設ケル所ノ諸規則ノ如キモノデアリマス、此事ニ對シテハ此法案中ニハ何等ノ制限モ附ケテナイ、總テ組合限リテ勝手ニ之ヲ設ケ得ルガ如ク見エルノデアリマス、然ルニ其組合ノ規則ト申シマスモノノ當否ト云フモノニ付キマシテハ本員等ガ考ヘマス所デハ隨分此組合外ノ漁業者ノ利害

ニ關係スルヤウナ場合が多クアラウト思ヒマス、然ルニ此法文デハソレノ規則ヲ設ケル場合、即チ其規則ト云フモノノ上ニ附イテハ何等ノ制限ヲ設ケテナイ、此點ニ附イテハ本員大イニ疑ッテ居リマスガ是ハ政府ニ於テ制限ヲ設ケナクテモ實際何等ノ弊モナイト云フ御見込デアリマスガ、念ノ爲ニ伺ッテ置キマス

○政府委員(牧朴眞君) 御答致シマスガ、此組合ノコトハ第二十條第二十一條第二十二條第二十三條第二十四條ト此二十三條マデノ間ニ規定シテゴザイマス、特ニ是ダケノコトガ規定シテゴザイマスガ、其他是ニ規定シテゴザイマセヌ所謂組合規則規約等ヲ監督スル方法ニ於キマシテハ總テ重要輸出品同業組合法ノ規定ヲ準用シマスル積リデ、是ハ即チ第二十四條ニ其事ガ明ニ書イテゴザイマス、ソレデ重要輸出品同業組合法ニ據レナイ、ソレヨリモット必要ナコトヲセネバナラヌト云フコトガ即チ二十條ヨリ二十三條マデニ書加ヘテゴザイマス、其他ノ方法ハ總テ重要輸出品同業組合法ニ據リマスル積リデゴザイマスカラ、決シテ御懸念ノ如キ心配ハナイ積リデゴザイマス

○村田保君 私ハモウ一ツ、此三條ニ常設漁業チスル者ハ行政廳ノ免許ヲ受クベシトアル、例ヘテ見レバ北海道アタリハ是ハ何デスガ、石川アタリノ海岸ハ殆ド子孫代々漁業權ヲ持ッテ居ルコトニナッテ居ル、ソレデ永代アノ漁權ヲ持ッテ居ルヤウナモノデ、現在サウ云フコトニナッテ居ル、所ガ今度ハサウ云フ者ニモ矢張り免許ヲ受ケサセル結果ニナル、是ハ代々漁業權ヲ持ッテ居ル者ニ更ニ免許ヲ受ケサセル、是ガ六箇月以内ニ出サナケレバモウ其漁業權ヲ失フト云フコトハ餘程ヒドイコトデアラウト思ヒマスガ、成ル程机上デ論ズルコトハ何デモナイガ、六箇月内ニ申出セト云フコトハ、中々一々數萬ノ漁業者ガ代々持ッテ居ル漁業權ヲ更ニ受ケサセルト云フコトハ容易ナラヌコトト考ヘマスガ、是ハ何ノ必要ガアッテ斯ウ云フ譯ニナルノデアリマスカ

○政府委員(牧朴眞君) 御答ヘ申シマス、是モ矢張り昨年ト格別變リマシタコトハゴザイマセヌ、即チ此法律ヲ行ヒマスルト總テ各地ノ漁場ノ整理チシ、漁業ノ臺帳ヲ作り圖面ヲ持ヘテ各地ノ漁場ノ整理ヲ致シマス積リデゴザイマス、ソレデ又或ル縣ニ於キマシテハ整理シテアル所モゴザイマスシ、或ル縣ニ於テハ全ク整理シテゴザイマセヌ、故ニ是ハ一般ニ總テ悉ク北海道ヲ除クノ外ハ總テ一旦整理チスルガ爲ニ必要デゴザイマスルカラ、兎ニ角第三條ノ漁業チ爲ス者ハ總テ行政廳ノ免許ヲ一體ニ受ケサセル、整理上必要ナルガ爲ニ願チ出サセマスル積リデゴザイマス

○村田保君 ソレカラ先程ノ裁判所ノコトデスガ、之ヲ行政官ニ任セマスレバ漁業ノ爭ハ容易ニ片附キマスガ、之ヲ行政裁判所ヘ持ッテ行クト云フコトニナッテ容易ナラヌコトデ、中々漁業者ガ行政裁判所ヘ出ルト云フコトニナリマスルト容易ナラヌコトデ、費用モ掛リ時日モ費スカラ據ナク腕力デ掛ルヨリ仕方ガナイヤウニナル、ソレデ昨年ノ案デハ是ハ地方官ガ直グト決定スルト云フコトニナッテ居リマスカラ容易ニ行キマスガ、之ヲ行政裁判所ヘ持ッテ行クト云フコトニナルト容易ナラヌコトデアリマスガ、ソレデモ差支ナイト云フ御考デアリマスカ伺ッテ置キマス

○政府委員(牧朴眞君) 御答致シマスガ、其アタリノコトハ先刻申上ゲマシタ通りニ昨年ノ法律トハ一向變リマセヌ、昨年ハ地方官デ裁決スル、ソレニ不服ガアッタトキニハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ト云フコトガアリマス

○村田保君 ソレハ不服ナトキノ話デ、初ハ地方官ガ直チニ決スル、行政裁判所ヘ行クト云フノトハ大變ナ違デ……

○政府委員(牧朴眞君) チヨット申上ゲマスガ、地方官ガ初ニ裁決チシテ、其裁決ハ不服ガアッタトキハ行政裁判所ニ持ッテ行クノデ、マダ未發ノ法令デアリマスガ、主意ニ於テハ變リマセヌ

○村田保君 未發ノ法令デハ變リマセヌガ、モウ議論ニナルカラ止シマセウ

○政府委員(牧朴眞君) 矢張り行政廳デ一旦裁決致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 他ニ御質問ハゴザイマセヌカ……御發議ガナクハ委員ノ選定ニ移リマス

〔田中芳男君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 何デスカ、田中君ハ……

○田中芳男君 此案ノ特別委員ハ議長ノ御指名ヲ願ヒマスルケレドモ、本員ノ少シ希望ガゴザイマスノハ、此案ハ議場ヘ屢々出マシテ隨分種々ノ議論ノアリマシタ結果デアリマスカラ、此度ハ特別委員ノ數ヲ十五名ニ致シテ成ルタケ種々ナル技術ノアル御方々ヲ御選チ願ヒタイ、委員ノ數ヲ十五名ニシテ下サルコトヲ希望致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 十五名説が出マシタガ賛成ガ一向アリマセヌ

○伯爵吉井幸藏君 賛成

○關義臣君 賛成

○兒玉淳一郎君 賛成

○議長(公爵近衛篤磨君) 此委員ナ十五名ニスルト云フ説が出マシテ、段々賛成ガアリマスガ、御異議ガナクバ十五名ト致シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデ議長ノ選定ト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者ナリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 精神病者監護法案、政府提出、第一讀會

精神病者監護法案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十三年一月十六日

内閣總理大臣侯爵山縣有朋

内務大臣侯爵西郷從道

精神病者監護法

第一條 精神病者ハ其ノ後見人配偶者四親等内ノ親族又ハ戸主ニ於テ之ヲ監護スルノ義務ヲ負フ但シ民法第九百八條ニ依リ後見人タルコトヲ得サル者ハ此ノ限ニ在ラス

監護義務者數人アル場合ニ於テ其ノ義務ヲ履行スヘキ者ノ順位ハ左ノ如シ

第一 後見人

第二 配偶者

第三 親權ヲ行フ父又ハ母

第四 戸主

第五 前各號ニ掲ケタル者ニ非サル四親等内ノ親族中ヨリ親族會ノ選任

シタル者

第二條 監護義務者ニ非サレハ精神病者ヲ監置スルコトヲ得ス

第三條 精神病者ヲ監置セムトスルトキハ行政廳ノ許可ヲ受クヘシ但シ急

迫ノ事情アルトキハ假リニ之ヲ監置スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ二十

四時間内ニ行政廳ニ届出ツヘシ

前項假監置ノ期間ハ五日ヲ超ユルコトヲ得ス

行政廳ノ許可ヲ受ケテ監置シタル精神病者ノ監置ヲ廢止シタル後三箇年

内ニ更ニ之ヲ監置セムトスルトキ又ハ民法第九百二十二條ニ依リ禁治產者ヲ監置セムトスルトキハ行政廳ニ届出ツヘシ

第四條 精神病者ノ監置ノ方法又ハ場所ヲ變更シタルトキハ二十四時間内ニ行政廳ニ届出ツヘシ

第五條 監置シタル精神病者治癒シ死亡シ若ハ行方不明ト爲リタルトキ又ハ其ノ監置ヲ廢止シタルトキハ五日内ニ行政廳ニ届出ツヘシ

第六條 精神病者ヲ監置スルノ必要アルモ監護義務者ナキ場合又ハ監護義務者其ノ義務ヲ履行セス若ハ履行スルコト能ハサル事由アルトキハ精神病者ノ住所、住所地ナキトキ又ハ不明ナルトキハ其ノ所在地市町村長ハ勅令ノ定ムル所ニ從ヒ之ヲ監護スヘシ

第七條 行政廳ハ精神病者ノ監護ニ關シ必要ト認ムルトキハ監置ノ許可ヲ取消シ監置ノ廢止ヲ命シ又ハ監置ノ方法若ハ場所ノ變更ヲ命スルコトヲ得

監置ノ許可ヲ取消サレ又ハ其ノ廢止ヲ命セラレタル者監置ヲ廢止セサルトキハ行政廳ハ直接ニ監置ヲ廢止スルコトヲ得

第八條 精神病者監置ノ必要アルトキ又ハ監置不適當ト認ムルトキハ行政廳ハ第一條第二項ノ順位ニ拘ラス監護義務者ヲ指定シ之ヲ監置ヲ命スルコトヲ得但シ急迫ノ事情アルトキハ行政廳ハ假リニ其ノ精神病者ヲ監置スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第三條第二項ノ規定ヲ準用ス

市町村長ニ於テ監護スル精神病者ノ監護義務者ヲ發見シ又ハ監護義務者其ノ義務ヲ履行シ得ルニ至リタルトキ亦前項ニ同シ

本條ニ依リ監護義務者ノ監置シタル精神病者ニ關シテハ行政廳ノ許可ヲ受ルニ非サレハ其ノ監置ヲ廢止シ又ハ監置ノ方法若ハ場所ヲ變更スルコトヲ得ス

第九條 私宅監置室、公私立精神病院及公私立病院ノ精神病室ハ行政廳ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

私宅監置室、公私立精神病院及公私立病院ノ精神病室ノ構造設備及管理方法ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條 監護ニ要シタル費用ハ被監置者ノ負擔トシ被監置者ヨリ辨償ヲ得サルトキハ其ノ扶養義務者ノ負擔トス

市町村長ニ於テ監護スル場合ニ於テ之ヲ爲要スル費用ノ支辨方法及其ノ追徴方法ハ行旅病人及行旅死亡人取扱法ノ規定ヲ準用ス

第十一條 行政廳ハ必要ト認ムルトキハ其ノ指定シタル醫師ヲシテ精神病患者ノ檢診ヲ爲サシメ又ハ官吏若ハ醫師ヲシテ精神病患者ニ關シ必要ナル尋問ヲ爲サシメ又ハ精神病患者在ル家宅病院其ノ他ノ場所ニ臨檢セシムルコトヲ得

第十二條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ執行ニ關シ行政廳ノ違法處分ニ由リ權利ヲ傷害セラレタリトスル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第十三條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ執行ニ關スル行政廳ノ處分ニ不服アル者ハ訴願ヲ提起スルコトヲ得

第十四條 官吏公吏又ハ行政廳ノ命ヲ受ケテ公務ヲ行フ醫師本法ノ執行ニ關シ不正ノ所爲ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ重禁錮ニ處シ百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第十五條 官吏公吏又ハ行政廳ノ命ヲ受ケテ公務ヲ行フ醫師本法ノ執行ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ刑法第二百八十六條ノ例ニ照ラシテ處斷ス

第十六條 左ニ掲グル者ハ一年以下ノ重禁錮ニ處シ百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

一 詐僞ノ所爲ヲ以テ行政廳ノ許可ヲ受ケ若ハ虛僞ノ届出ヲ爲シ精神病患者トシテ人ヲ監置シ又ハ拘束ノ程度ヲ加重シタル者

二 醫師精神病患者ノ診斷書ニ虛僞ノ事實ヲ記載シ又ハ自ラ診斷セスシテ診斷書ヲ授與シタル者

前項第一號ノ場合ニ於テハ監置又ハ拘束ノ日數十日ヲ過クル毎ニ一等ヲ加フ

第十七條 左ニ掲グル者ハ二月以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以下ノ罰金ヲ附加シ又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス但シ監置又ハ拘束ノ日數十日ヲ過クル毎ニ一等ヲ加フ

一 許可ヲ受ケス又ハ届出ヲ爲サス若ハ命ヲ受ケスシテ精神病患者トシテ人ヲ監置シタル者

二 禁治産ノ宣告又ハ監置ノ許可ヲ取消サレ又ハ監置ノ廢止ヲ命セラレ若ハ假監置ノ期間ヲ經過シタル後監置ヲ廢止セサル者

三 許可ヲ受ケ又ハ届出ヲ爲シ若ハ命ヲ受ケタル程度ヲ超エテ精神病患者ヲ拘束シタル者

第十八條 左ニ掲グル者ハ一月以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以下ノ罰金ヲ附加シ又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

一 精神病患者ノ監置ニ關シ虛僞ノ事實ヲ記載シタル願届其ノ他ノ書類ヲ行政廳ニ提出シタル者

二 監護義務ヲ履行スヘキ順位ニ在ラサル者ニシテ許可ヲ受ケス又ハ命ニ依ルニ非スシテ監置ヲ廢止シ又ハ監置ノ方法ヲ變更改シタル者

三 官吏又ハ行政廳ノ指定シタル醫師ノ臨檢若ハ檢診ヲ拒ミ又ハ其ノ尋問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虛僞ノ答辯ヲ爲シタル者

第十九條 左ニ掲グル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 監置ノ方法若ハ場所ノ變更ヲ命セラレ其ノ命ヲ履行セサル者

二 監護義務者精神病患者ノ監置ヲ命セラレ其ノ命ヲ履行セサル者

三 第八條第三項及第九條第一項ニ違背シタル者

第二十條 第四條及第五條ニ違背シタル者ハ十圓以下ノ罰金ニ處ス

附則
第二十一條 本法ハ明治三十三年七月一日ヨリ之ヲ施行ス
本法施行前ヨリ精神病患者ヲ監置シタル者ニシテ尙之ヲ繼續セムトスルトキハ本法施行ノ日ヨリ二箇月内ニ第三條ノ許可ヲ受ケ又ハ届出ヲ爲スヘシ

本法中市町村長ニ屬スル職務ハ東京市京都市大阪市ニ在リテハ區長、市制町村制ヲ施行セサル地ニ在リテハ市町村長ニ準スヘキ者之ヲ行フ

第二十二條 外國人タル精神病患者ノ監護ニ關シ別段ノ規定ヲ要スルモノハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十三條 人事訴訟手續法第五十條又ハ第六十條ニ依リ裁判所ニ於テ精神病患者ノ監護ニ付必要ナル處分ヲ命シタル場合ニ關シテハ本法ノ規定ヲ適用セス

〔政府委員小松原英太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(小松原英太郎君) 本案ハ昨年本院ニ提出ニナリマシタ案デゴザイマスガ議了ニ至リマセズシテ昨年ハ閉會トナッタノデアリマス、ソレデ昨年提出致シマシタ案ノ中ニハ聊カ不備ナ廉モアリマスルシ又修正ヲ要スル廉モアリマシタノデ、更ニ十分審査ヲ遂ゲマシテ修正ヲ加ヘテ本案ヲ提出致シタノデアリマス、デ本案提出ノ理由ニ附キマシテハ重ネテ委シク申上ゲル

必要ハナイ、既ニ御承知ノコトト存ジマスルガ、畢竟精神病者ノ保護ニ關シマシテハ民法ニモ規定ガアリマスルガ、民法ノ規定ハ主トシテ財産上ニ止ツテ居リマス、ソレ故ニ本法ヲ制定シマシテ身體ヲ保護シ併セテ社會ニ及ボス障害ヲ防ギマシテ精神病者ニ關スル自他ノ保護ヲ全カラシメムトスルノニ外ナラヌノデアリマス、ドウゾ速ニ協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望致シマス

○兒玉淳一郎君 本員ハ政府委員ニ質問ガアリマス此法文ノ第十條、之ニ對シテ第六條、ソコデ此精神病者ヲ保護シマスル費用ハ扶養義務者ノ負擔ニナツテ居リマスガ、是ハ精神病ノ起ルノハ金持バカリニハ限ラヌ、貧ナ人ニモアル、貧ナ人ニ起ツタ場合ニ扶養ノ義務ヲ負擔スル場合ハドノ位ノ程度マデニナサルモノカ、是ガ出來ナイトキハ此扶養義務者ハ如何ヤウナ責任ヲ有ツカ、ソレヲ伺ヒタイ、ソレガ一ツ、ソレカラ第十六條ノ中ニ詐僞ト虛僞ト云フコトガ書イテアル、是ハ人間ノ行爲デアルカラ分リマスルガ、文字ニ書クト虛僞モ詐僞モハツキリ分リマスケレドモ、實例カラ取ルト虛僞ト詐僞ト云フモノハ分リ惡イモノデアリマス、此區別ハドウ云フ様ニ分ケテアルカ政府ノ御見込ヲ伺ヒタイ

〔政府委員小松原英太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(小松原英太郎君) 初ノ御尋ハ第十條ニ關シテ扶養ノ義務者ガ負擔ガ出來ヌ場合ニハドウスルカト云フ御尋デ……

○兒玉淳一郎君 扶養義務者ノ負擔ノ責任ハドコマデ行クカト云フ……

○政府委員(小松原英太郎君) 扶養義務者ニ於テ負擔ノ出來マセヌ場合ハ致シ方ハナイノデアリマスガ、其程度ト云フノハドウ云フ御主意ノ御尋デアリマス

○兒玉淳一郎君 斯ウ云フノデス何レ身内親類ニ狂人が出タトキハ此所ニ書イテアル人ミニマデ扶養ノ義務ガ來ル、其時ニ金ガナイトキハ扶養義務ノ負擔ヲシテ居ル者ハドノ位ノコトマデシテ宜イノデアリマスカ、俗ニ言フ身代限マデシテモ出サネバナラヌカト云フ問デアリマス

○政府委員(小松原英太郎君) ドウモ扶養義務者ノ負擔ハ斯ウ云フ法律デ極メマシタ以上ハ負擔ノ出來得ラレル限りハ勿論負擔セヌケレバナラヌ譯デアリマスルカラ詰リ身代限ナスルマデ行カヌケレバナルマイと思ヒマス

○兒玉淳一郎君 モウ一ツ先キノ虛僞ト詐僞トノ區別ハ字デハ分ツテ居リマスガ實例ハドノ位ノ……

○政府委員(小松原英太郎君) 虛僞ト詐僞トノ區別ハ別ニサウ變ツタコトハナ

カラウト思ヒマスガ……

○兒玉淳一郎君 宜シウゴザイマス、サウナラバ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 定足數が大分缺ケマシタカラ今日ハ是デ閉會ニ致シマス、唯今御委託ニナリマシタ委員ノ氏名ヲ御報道シマス

〔河田書記官朗讀〕

岡山縣下郡廢置法律案特別委員

子爵山口 弘達君 子爵稻垣 太祥君 原田 一道君

男爵中島 錫胤君 柴 原 和君 男爵生駒 親忠君

谷 森 眞男君 千 阪 高雅君 橋本吉兵衛君

明治三十二年法律第九十八號改正法律案特別委員

子爵鍋島 直彬君 子爵平松 時厚君 子爵堤 功長君

福 原 實君 男爵酒井 忠弘君 石井省一郎君

中島 永元君 兒玉淳一郎君 八坂 甚八君

漁業法案特別委員

伯爵吉井 幸藏君 子爵曾我 祐準君 男爵尾崎 三良君

松岡 康毅君 男爵赤松 則良君 男爵船越 衛君

田中 芳男君 村 田 保君 谷 森 眞男君

馬屋原 彰君 長谷川 貞雄君 鎌田 勝太郎君

飯尾 麒太郎君 橋本 吉兵衛君 斯波 與七郎君

○議長(公爵近衛篤磨君) 次ノ日程ハ追ッテ御報道シマス、今日ハ散會

午後三時二十五分散會